

AHD ハイブリッドレコーダー

KB-AHR04C / KB-AHR08C / KB-AHR16C

取扱説明書



お客様へ

このたびは当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

また、お読みになった後は、いつでも確認できるように場所を定めて保管してください。

株式会社 **ケービデバイス**

改訂履歴

日付	版数	改訂内容
2019.4.30	初版	－
2020.1.21	2 版	<p>p.3 パスワードメモ欄を追記。</p> <p>p.1-19 警報機を接続する手順の内容を修正。 本機接点端子台の動作について補足を追記。</p> <p>p.1-35 シャットダウン時の注意事項を追記</p> <p>p.10-3 仕様書のイベント欄(4ch)にてトリガー内容を修正。 仕様書のイベント欄(全モデル)にてトリガー名を変更。</p> <p>保証書 内容を一部修正。</p>
2020.6.2	3 版	<p>p.1-20 接点端子の動作についての内容を修正</p> <p>p.8-2 スマートフォン向けアプリケーションについて内容を修正</p> <p>p.8-5 アプリケーション内の新機能についての記載を追加</p>
2021.4.5	4 版	p.10-1 400 万画素に関する内容を追記

パスワードメモ

本機へのアクセス用のパスワードメモとしてお使いください。

パスワードは、不正アクセス防止のため必ず定期的に変更してください。

また、設定したパスワードは第三者に漏れないよう大切に保管してください。

本機の初期パスワードは初回起動時に設定されます。

初めてパスワードを設定する場合は、「1.6 初回起動時の設定をする(p.1-24)」をご覧ください。

以後、パスワードの変更方法については、「3.4.3 パスワードを変更する(p3-39)」をご覧ください。

パスワード	設定日	備考

目次

限定保証	8
免責事項	8
安全にご使用いただくために	9
使用上のご注意	13
1 章 はじめに	1-1
1.1 概要	1-1
1.2 セット内容	1-2
1.3 本機各部の名称とはたらき	1-4
1.4 リモコンの各ボタンの名称とはたらき	1-8
1.4.1 リモコン ID を登録する	1-10
1.5 各種機種を接続する	1-11
1.5.1 AHD・IP カメラを接続する	1-12
1.5.2 メインモニターを接続する	1-14
1.5.3 SPOT OUT モニターを接続する	1-16
1.5.4 電源コードを接続する	1-17
1.5.5 外部センサーや警報機を接続する	1-18
1.5.6 PTZ カメラを接続する	1-21
1.5.7 音声機器を接続する	1-22
1.5.8 USB デバイスを接続する	1-23
1.5.9 ネットワーク機器を接続する	1-24
1.6 初回起動時の設定をする	1-25
1.7 ログイン・ログアウト・シャットダウンする	1-31
1.7.1 ログインする	1-30
1.7.2 ログインパスワードを忘れたら	1-32
1.7.3 ログアウトする	1-34
1.7.4 シャットダウンする	1-35
2 章 ライブ画面での操作・見方	2-1
2.1 各種アイコンのはたらき	2-1
2.2 タイムラインの見方	2-4
2.3 クイックメニュー	2-5
2.3.1 CH 表示位置を変更する	2-6

2.3.2	表示ずれを修正する	2-7
2.4	分割表示数を変更する	2-8
2.4.1	分割モードを切替える	2-8
2.4.2	シーケンス表示を有効にする	2-8
2.5	映像を拡大表示する	2-9
2.6	その他のライブ機能	2-10
2.6.1	イベントログ表示を表示する	2-10
2.6.2	音声出力 CH を切替える	2-11
2.6.3	アラーム状態を確認する	2-11
2.6.4	ネットワーク接続状態を確認する	2-12
2.6.5	ディスク状態を確認する	2-13

3 章 各種設定 3-1

3.1	カメラ	3-3
3.1.1	カメラタイプ (AHD カメラ) を登録する	3-3
3.1.2	カメラタイプ (IP カメラ) を登録する	3-5
3.1.3	カメラタイトルを変更する	3-11
3.1.4	カメラ映像を調整する	3-12
3.1.5	ライブ映像を非表示にする	3-14
3.1.6	モーション感度・領域を設定する	3-15
3.1.7	PTZ 設定	3-18
3.1.8	プライバシーマスクを表示する	3-19
3.2	ディスプレイ	3-21
3.2.1	ライブ画面の OSD 表示を編集する	3-21
3.2.2	画面切り替え時間を設定する	3-22
3.2.3	HDMI/VGA モニターへの出力画面を編集する	3-23
3.2.4	シーケンス表示パターンを編集する	3-26
3.2.5	SPOT OUT モニターの表示パターンを設定する	3-29
3.3	音声	3-32
3.3.1	スピーカーから音声を出力する	3-32
3.3.2	リモコン操作音を消す	3-34
3.4	ユーザー	3-35
3.4.1	アカウント情報を追加・編集する	3-35
3.4.2	登録したアカウントを削除する	3-38
3.4.3	パスワードを変更する	3-39
3.4.4	アカウントの操作権限を設定する	3-41
3.5	ネットワーク	3-42

3.5.1	ネットワーク機能利用のまえに	3-42
3.5.2	ネットワークアドレスを設定する	3-43
3.5.3	DDNS サーバーを登録する	3-44
3.5.4	メール送信先を設定する	3-46
3.5.5	ネットワークステータスを確認する	3-47
3.5.6	ネットワークセキュリティーを有効にする	3-48
3.5.7	アドレスのアクセス制限を設定する	3-58
3.6	システム	3-60
3.6.1	日付/時刻を変更する	3-60
3.6.2	タイムサーバーと時刻同期する	3-62
3.6.3	タイムゾーン・サマータイムについて	3-64
3.6.4	システム管理一覧	3-65
3.6.5	FW をアップデートする	3-67
3.6.6	全ての設定値を初期化する	3-68
3.6.7	システム情報一覧	3-69
3.6.8	デバイス・リモコン ID を設定する	3-70
3.6.9	二重認証を有効にする	3-71
3.6.10	パスワードの設定条件を強化する	3-73
3.7	ストレージ	3-75
3.7.1	HDD 情報を確認する	3-75
3.7.2	HDD の上書き/フォーマットを行う	3-77
3.7.3	RAID 構築・解除を行う	3-78
3.7.4	HDD の S.M.A.R.T 情報を確認する	3-81
3.8	イベント	3-83
3.8.1	アラーム出力を有効にする	3-84
3.8.2	イベント発生時の各通知手段を設定する	3-86
3.8.3	外部センサー作動時の動作を設定する	3-94
3.8.4	モーション検知時の動作を設定する	3-96
3.8.5	ビデオロス発生時の動作を設定する	3-98
3.8.6	システムイベント発生時の動作を設定する	3-100
3.9	録画設定	3-107
3.9.1	録画モードを選択する	3-108
3.9.2	常時録画時のパラメータ・スケジュールを設定する	3-111
3.9.3	モーション録画時のパラメータ・スケジュールを設定する	3-114
3.9.4	アラーム録画時のパラメータ・スケジュールを設定する	3-114
3.9.5	緊急録画時のパラメータを設定する	3-115
3.9.6	ネット配信時の FPS を設定する	3-116
3.9.7	音声マッピングを割り当てる	3-117

4 章	検索と再生	4-1
4.1	<u>タイムサーチ</u>	4-2
4.2	<u>サムネイルサーチ</u>	4-4
4.3	<u>イベントサーチ</u>	4-6
4.4	<u>再生画面での操作・見方</u>	4-8
4.4.1	各種アイコンのはたらき	4-8
4.4.2	スナップショットを保存する	4-10
4.4.3	バックアップ予約をする	4-12
5 章	バックアップ	5-1
5.1	<u>記録映像をバックアップする</u>	5-2
5.2	<u>リザーブデータをバックアップする</u>	5-6
5.3	<u>バックアップデータを再生する</u>	5-8
5.4	<u>FTB サーバーを登録する</u>	5-10
5.5	<u>PC でのバックアップ映像の再生する</u>	5-11
5.5.1	Windows Media Player での再生する	5-12
5.5.2	専用プレイヤーでの再生する	5-13
5.5.3	専用プレイヤーでの操作・見方	5-15
6 章	PTZ 操作	6-1
6.1	<u>PTZ 操作画面に入るには</u>	6-1
6.2	<u>AHD カメラの OSD 設定</u>	6-3
6.2.1	プロトコルを設定する	6-3
6.2.2	OSD 操作方法	6-4
7 章	PC からの遠隔監視	7-1
7.1	<u>WEB ビューワーからアクセスする</u>	7-2
7.2	<u>WEB ビューワーの操作・見方</u>	7-4
7.2.1	タイムサーチ	7-7
7.2.2	イベントサーチ	7-8
7.2.3	本機の設定を行う	7-9
7.3	<u>遠隔地のレコーダーと音声通話を行う</u>	7-10

8 章	スマートフォンからの遠隔接続	8-1
8.1	<u>nViewer をインストールする</u>	8-2
8.2	<u>レコーダー情報を登録する</u>	8-3
8.3	<u>ライブ画面の操作・見方</u>	8-4
8.4	<u>タイムサーチ</u>	8-6
8.5	<u>再生画面での操作・見方</u>	8-7
8.6	<u>イベントログを表示する</u>	8-8
8.7	<u>遠隔地のレコーダーと音声通話を行う</u>	8-9
8.8	<u>SEQURINET の利用</u>	8-11
8.8.1	SEQURINET をインストール・アカウント登録する	8-11
8.8.2	QR コードから登録を行う	8-13
9 章	トラブルシューティング	9-1
10 章	製品仕様	10-1
11 章	初期設定リスト	11-1
12 章	外形寸法図	12-1
13 章	録画日数表	13-1
13.1	<u>KB-AHR04C での日数表</u>	13-1
13.2	<u>KB-AHR08C/16C での日数表</u>	13-3

限定保証

(株)ケービデバイス(以下当社)は KB-AHR04C / KB-AHR08C / KB-AHR16C(以下、本機)が、頒付されている仕様条件にしたがって製造されたもので、材料上または仕上げ上欠陥がないことを保証いたします。

つきましては、当社へ返送していただいたもので、当社が点検した上で材料および仕上げに欠陥があると判断した場合は、当社の責任の元で修理、もしくは交換をいたします。

なお、この保証は、日本国内で購入され、購入後 5 年間かつ日本国内で使用される本機についてのみの有効なものとなります。

免責事項

- ① 当社は、市場性や市販性に関する保証、特定の目的または用途に関する保証、もしくは特許侵害に対する保証など、保証条件以外のものは一切保証いたしません。
- ② いかなる直接的損害、付帯的もしくは間接的な損害金、あるいは欠陥製品もしくは製品の使用により発生した損失金または費用については何ら責任を負わないものとします。
また、そのような損害の発生があることについてあらかじめ知らされていた場合についても同様なものとします。
- ③ お客様は本機の使用、ならびに本機を使用して得られる結果に関する一切の責任を負うものとします。
この保証は、最初の購入者であるお客様に対して適用され、お客様が本機を転売された第三者には適用されません。
- ④ 当社は、第三者からの、または第三者のためになすお客様からのいかなる要求に関しても責任を負わないものとします。
- ⑤ 下記にあげる項目は、保証の対象外とさせていただきます。
 - ・ 火災、地震、第三者による行為、その他の事故により本機に不具合が発生した場合。
 - ・ お客様が本機に手を加えて改造、修理した場合。
 - ・ 本マニュアルに記載されている内容を守らないことで発生した損害等について。
 - ・ お客様の故意、もしくは過失・誤用が起因して発生した損害等について。
 - ・ アース接続が行われていないことで発生した損害等について。

安全にご使用いただくために

- 本機をご使用になる前に、必ず本書をよくお読みになり正しくお使いください。
- ここに記載している注意事項は、安全に関する重大な内容となりますので、必ずお守りください。
- 本書は必ず保管し、使用上不明な点等がある場合には再読し、ご確認ください。
- 本機の仕様範囲を超える条件において使用された場合については、動作は保証しかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は、宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置など人命、事故にかかわる特別な品質、信頼性等が要求される用途でご使用にならないでください。
- 本機は防犯カメラと組み合わせて使用することで、犯罪の抑止と犯罪行為の証拠の記録を行うものであり、それ自体で犯罪を未然に防ぐものではありません。

【 表示および図記号について 】

本書では機器を安全に正しくご使用いただくために、さまざまな表示をしています。

内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

注意	禁止記号			強制指示記号		
						
一般注意	禁止	接触禁止	分解禁止	強制	電源プラグを 抜いてください	アース接続を してください



警告

正しくご使用いただけない場合、死亡もしくは重傷につながる恐れがあります。

● 水に濡らさない



火災や感電の恐れがあるため、湿気の多い場所や水が本機内部に浸水する可能性がある場所への設置・据付はお止めください。

● 指定の電源電圧を超えない



表示された電源電圧を超える電圧を加えないでください。
火災および感電の恐れがあります。

● アースを接続する



電源コードは、AC100V(50/60Hz)のアース付きコンセントを使用し、必ずアース接続を行ってください。アース接続をしない場合、漏電時や落雷により火災および感電、機器の故障につながる恐れがあります。

● 使用中に異常が発生したとき



以下の場合、直ちに電源を切り、電源コードを抜いて販売店にご相談ください。

- 本機から煙や異臭または異音が発生した場合。
- 本機内部に液体や異物が混入した場合。
- 落下などにより本機または電源コードが損傷・断線した場合。

● 液体や金属片を上には置かない、挿入しない



本機の上に、液体の入った容器や金属製のゴミなどの異物を置いたり挿入したりしないでください。本機内に液体や金属が入ると、火災および感電の恐れがあります。

● 電源コードや配線を傷つけない



電源コードが損傷すると断線し、火災および感電の恐れがあります。以下をお守りください。

- 電源コードの上に重いものを置かない。
- 電源コードや配線に切れ目を入れる、折り曲げる、ねじる、引っ張る、熱する等をしない。

● 分解、改造をしない



本機を分解・改造しないでください。感電や火災の原因になります。

メンテナンスや検査が必要な場合には、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。

● 落雷時は触れない



落雷があったときは、本機や電源コードに触れないでください。感電の恐れがあります。
落雷により異常が発生した場合は販売店にご相談ください。



注意

正しくご使用いただけない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● 誤作動の原因となる場所に設置しない



以下のような場所でのご使用は、誤作動や故障、火災の原因となりますのでお止めください。

- 湿気やほこりが多いところ
- 水平でない場所や振動の激しい場所
- エアコンの前のように温度が急激に変動するところ
- 強い直射日光が当たるところや発熱体の近くなど、温度が高くなる場所
- 密閉させた狭い場所や温度調整機能のない密閉型ハウジングの中
- 引火性溶剤（アルコールやシンナー等）が近くにある場所
- 潮風の当たるところ、温泉地、腐食性ガスの発生する場所
- 電波や磁力が発生している場所（無線受信機や配電盤の近く等）

● 雷サージ対策を行う



本機は、落雷による直撃雷、誘導雷、逆流雷等の影響を受ける可能性があり、誤動作や故障の原因となります。

アース接続や雷サージ用電源タップ等を使用することで、雷サージによる影響を軽減できるため必ず雷サージ対策を行ってください。

● 外部接続のときは外部装置の電源を切る



本機に外部装置をつなげる場合は、外部装置の電源が切れていることを確認してから接続してください。

本機およびカメラからの過電流による感電や故障の恐れがあります。

● 定期的に掃除を行う



内部の清掃については、販売店にご相談ください。

内部にほこりやゴミなどがたまったまま放置すると故障や火災の原因となります。

● 法規に準拠した廃棄を



本機が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄してください。

● 通風口を塞がない



通風口を塞ぐと本機内部に熱がこもり、火災の原因となります。

また、通風口にほこりがたまらないように定期的に掃除してください。



注意

正しくご使用いただけない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● 濡れた手で触れない



濡れた手で本機および電源プラグには触れないでください。

感電の恐れがあります。

● 製品に異物がついたとき



製品に異物がついた場合には、やわらかい布またはハンカチで取り除いてください。

化学薬品やエアゾール等で本機のクリーニングはしないでください。

本機の誤作動や感電の恐れがあります。

● 磁気を帯びたものを置かない



クレジットカード、テレホンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに置かないでください。

● 静電気に注意



静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。本機の各パネルおよびリアパネルの各電子部品に触る前には、体内の静電気を除去してください。

● コードを置いたままにしない



電源コード、その他のケーブルを通路に置いたままにしないでください。

通った人が足を引っ掛けて転ぶ恐れがあります。

使用上のご注意

- 仕様の動作温度、湿度の範囲外の環境で本機を使用しないでください。
- 通風口にほこりがたまった場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、通風口の掃除をしてください。通風口の掃除は年1回程度を目安に行ってください。
- 強力な磁界や電界がある場所に設置しないでください。映像が乱れたり機器が故障したりする恐れがあります。
- 電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、適切に動作しない可能性があります。必ず正しい定格電圧で使用するようになしてください。
- 本機は、停電に備えて設計されていますが、停電によりHDDが損傷を受ける可能性があります。その場合、使用中のデータ損傷や、記録ができなくなることがあるため、無停電電源装置(UPS)を使用することを推奨します。
- 本機はビデオデータをHDDに録画する設計ですので、HDDのエラーまたはその他のエラーにより、製品が正常的に録画できない場合があります。
製品の適切な運転のためには、定期的なメンテナンスが必要です。
- 本機は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。
しかし、ユーザーの設定エラーが、誤作動につながる場合があります。
- 本機は外部機器(カメラ、センサー、USB装置、LAN、HDDなど)と接続して使用しているため、外部要因による誤作動の恐れがあります。安定した運用のため定期的なメンテナンスを推奨します。
- 本機は水平位置で使用するよう設計されています。垂直や傾けての使用はできません。
- HDDが故障した場合、当社では記録したデータの復旧はできません。
データ損失を避けるため、定期的にバックアップすることを強く推奨します。
- 本機で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合がありますので「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることを推奨します。
- 本機は精密機器です。振動や強い衝撃を与えないでください。火災や感電、本機の破損につながります。
- 本機で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合があります。
「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることを推奨します。
- 運送時の落下、振動によって発生した機器の破損についての責任を当社は負うことができません。
あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

- 次の部品は消耗品です。下記寿命時間を目安に交換してください。

ただし、この時間はあくまで目安であり、部品の寿命時間を保証するものではありません。

- HDD : 約 30000 時間 (使用環境温度 25℃)
- 時計用ボタン電池 : 約 40000 時間 (使用環境温度 25℃)
- ファン : 約 40000 時間 (使用環境温度 25℃)

※この時間はあくまで目安であり、各部品の寿命時間を保証するものではありません。

特にHDDの寿命は、使用環境により異なりますが、通電時間が20000時間を越えると、書込みエラーが発生しやすくなり、30000時間を越えると、モーター部の劣化などにより寿命となります。(25℃で使用時)

録画データ保護のためにも、本機の周辺温度を25℃程度に保ち、18000時間を目安に交換することを推奨します。

長期間ご使用の際は、あらかじめ販売店にメンテナンスのご相談をお勧め致します。

- 本機に対し、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。
(ハードウェア、ソフトウェア、文書等)

1章 はじめに

1.1 概要

本機は、AHD カメラ及びアナログカメラに加えて IP カメラ入力にも対応したハイブリットレコーダーです。
AHD・IP カメラ合わせて 4 台 / 8 台 / 16 台までのカメラを接続することができます。

録画には、圧縮率の高い H.264 形式を採用しております。

(KB-AHR04C のみ H.265 にも対応します。)

本機の操作には主にマウスを用います。リモコンでも操作は可能です。

KB-AHR08C 及び KB-AHR16C は、RAID1、RAID5 に対応、信頼性の高い運用が可能です。

1.2 セット内容

以下のものが入っているかをご確認ください。

レコーダー本機 x1



マウス x1



リモコン x1 / リモコン用電池 1.5V x2



(KB-AHR04C 用)

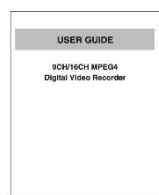


(KB-AHR08C/16C 用)

CD-ROM x1
(取扱説明書など)



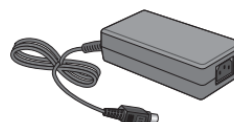
取扱説明書(本書) x1
および
簡易取扱説明書 x1



電源ケーブル x1



AC アダプター x1



ケーブルクリップ x1

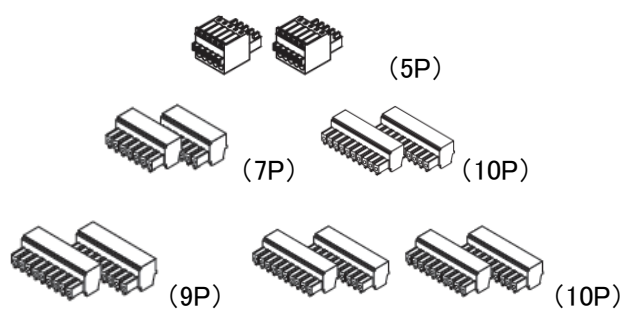


端子ブロック

KB-AHR04C : 5P x2

KB-AHR08C : 7P x2 / 10P x2

KB-AHR16A : 9P x2 / 10P x4



1.3 本機各部の名称とはたらき

【 前面パネル（KB-AHR04C） 】



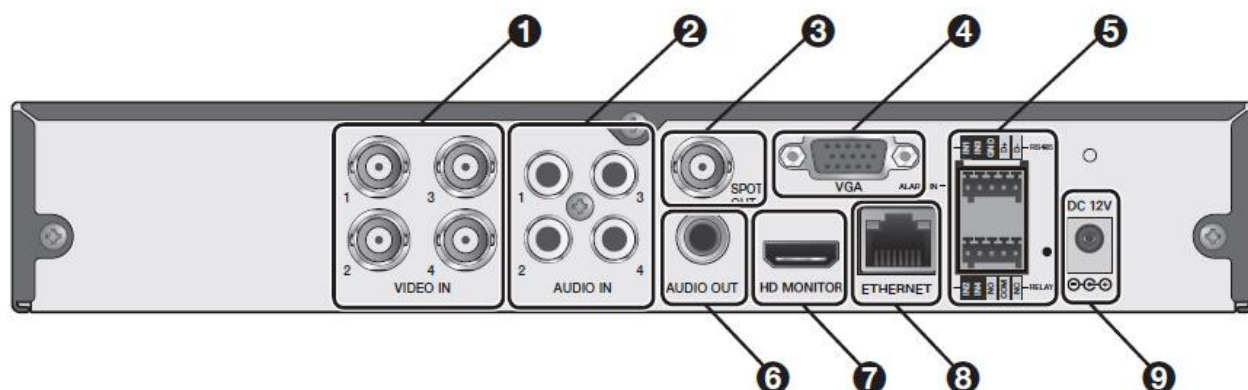
No.	名称	用途
1	電源ランプ	電源が入っている間、点灯します。
2	記録ランプ	カメラ映像を記録中に点灯します。
3	ネットワークランプ	クライアント PC からのネットワークアクセス中に点灯します。
4	アラームランプ	アラーム出力中に点灯します。
5	リモコン赤外線受信部	リモコンからの赤外線信号を受信します。
6	USB ポート	マウスまたは USB メモリーなどを接続します。

【 前面パネル（KB-AHR08C / KB-AHR16C） 】



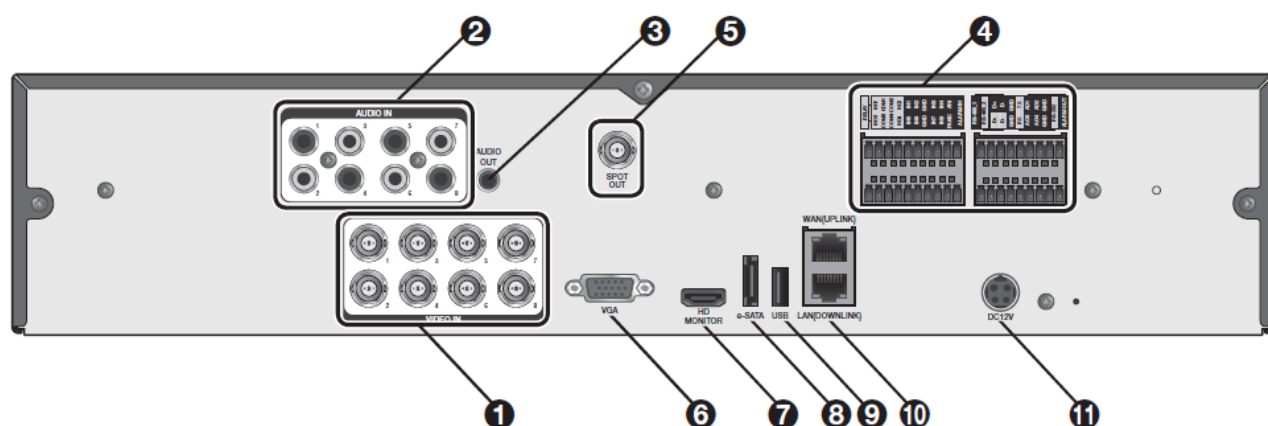
No.	名称	用途
1	電源ランプ	電源が入っている間、点灯します。
2	記録ランプ	カメラ映像を記録中に点灯します。
3	ネットワークランプ	クライアント PC からのネットワークアクセス中に点灯します。
4	アラームランプ	アラーム出力中に点灯します。
5	HDD アクセスランプ	接続中の内蔵 HDD および外付けストレージが点灯します。
6	eSATA ランプ	eSATA ケーブルに異常があった場合に点灯します。
7	リモコン赤外線受信部	リモコンからの赤外線信号を受信します。
7	USB ポート	マウスまたは USB メモリーなどを接続します。

【 背面パネル（KB-AHR04C） 】

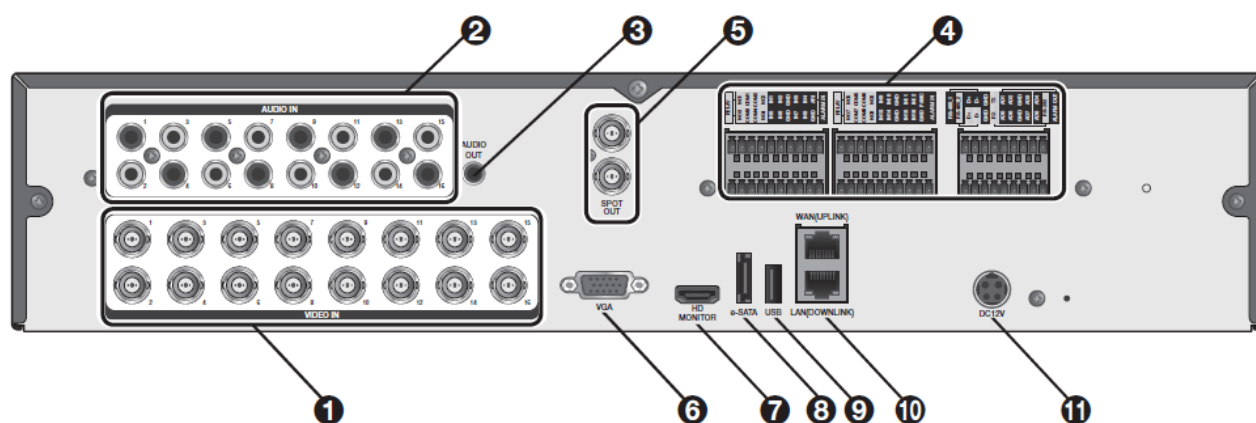


No.	名称	端子名称	用途
1	VIDEO IN	BNC	カメラ映像の入力端子です。 AHD(アナログ)カメラは同軸ケーブルを使用してください。
2	AUDIO IN	RCA	マイクなどを接続する音声入力端子です。
3	SPOT OUT	BNC	1 画面または分割画面对応のスポット映像出力端子です。
4	VGA	D-SUB15pin	モニターに接続する映像出力端子です。 VGA ケーブルを使用してモニターに接続します。
5	ALARM IN	プッシュロック端子	センサー機器などを接続するアラーム入力端子です。
	RELAY	プッシュロック端子	警報機などを接続するアラーム出力端子です。
	RS-485	プッシュロック端子	PTZ カメラやキーボードコントローラーなどを接続する端子です。
6	AUDIO OUT	RCA ピンジャック	スピーカーなどを接続する音声出力端子です。
7	HDMI	HDMI	モニターに接続する映像出力端子です。 HDMI ケーブルを使用してモニターに接続します。
8	LAN(Ethernet)	RJ-45	リモート接続用の LAN ポートです。 LAN ケーブルを使用して PC やルーターに接続します。
9	DC12V	DC ジャック	本機電源入力端子です。 付属の AC アダプターを接続します。

【 背面パネル（KB-AHR08C） 】



【 背面パネル（KB-AHR16C） 】

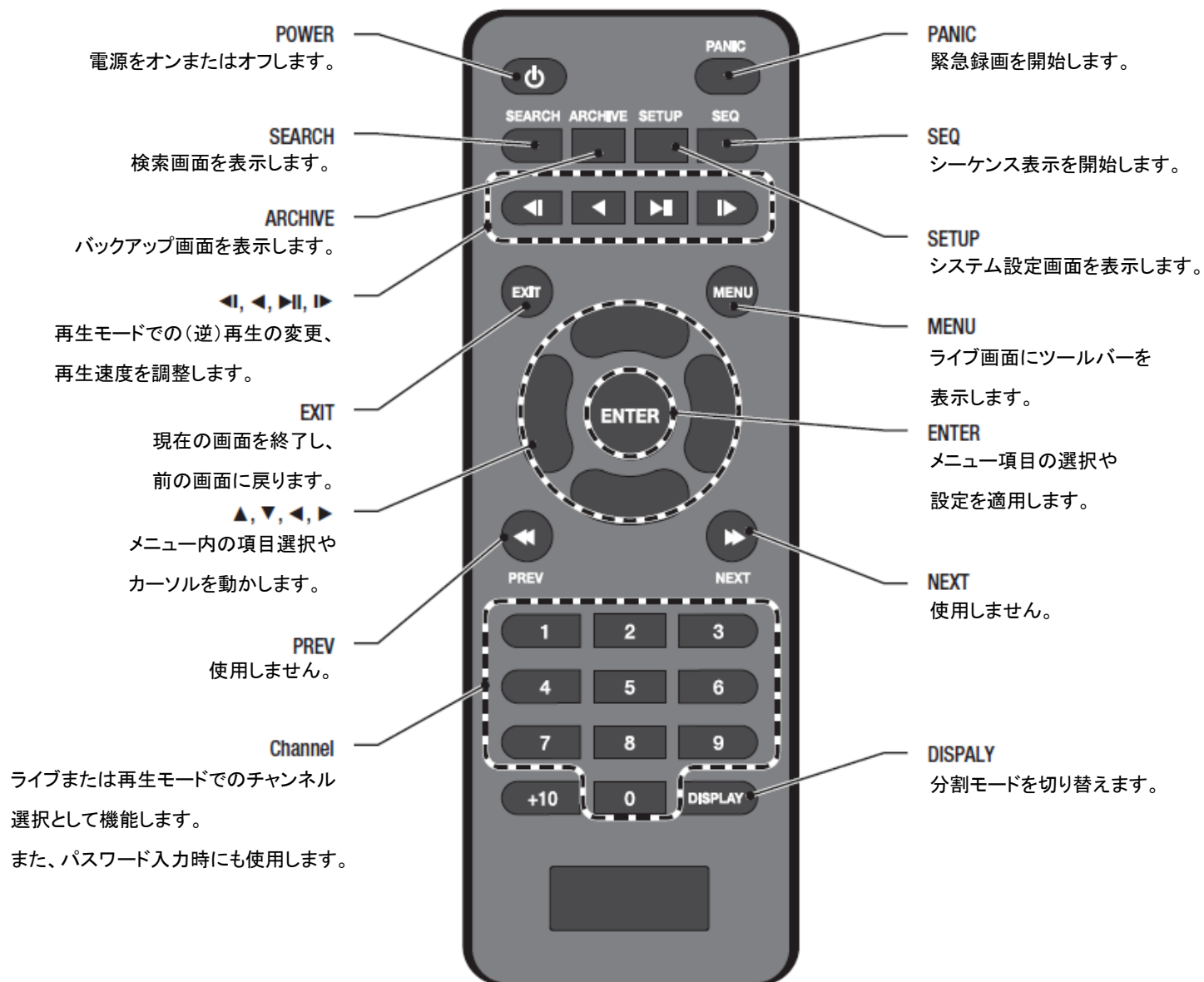


No.	名称	端子名称	用途
1	VIDEO IN	BNC	カメラ映像の入力端子です。 同軸ケーブルでカメラを接続してください。
2	AUDIO IN	RCA	マイクなどを接続する音声入力端子です。
3	AUDIO OUT	RCA ピンジャック	スピーカーなどを接続する音声出力端子です。
4	ALARM IN	プッシュロック端子	センサー機器などを接続するアラーム入力端子です。
	RELAY	プッシュロック端子	警報機などを接続するアラーム出力端子です。
	RS-485	プッシュロック端子	PTZ カメラやキーボードコントローラーなどを接続する端子です。
	RS-232	プッシュロック端子	本機では使用できません。

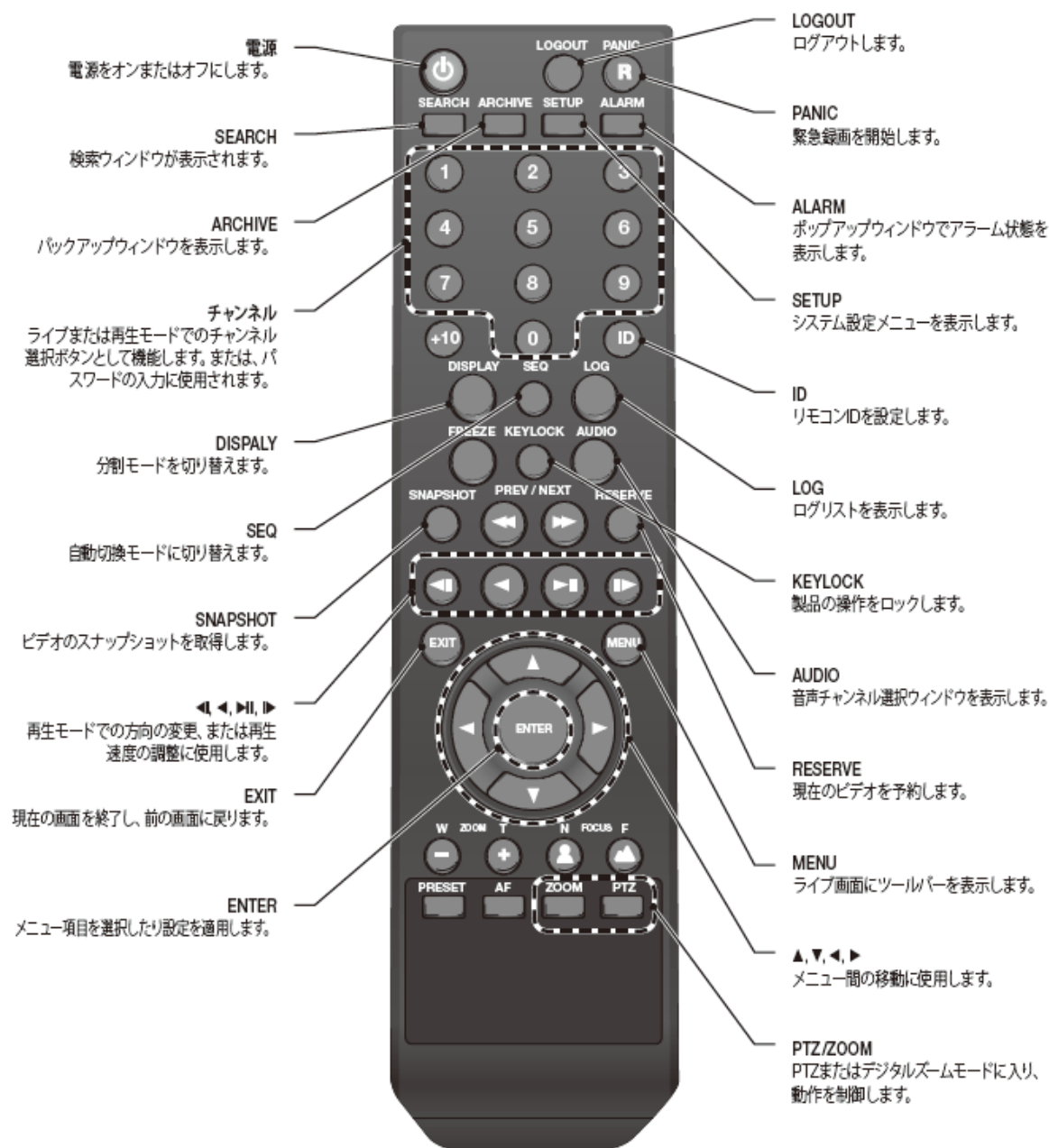
5	SPOT OUT	BNC	1 画面または分割画面对応のスポット映像出力端子です。
6	VGA	D-SUB 15pin	モニターに接続する映像出力端子です。 VGA ケーブルを使用してモニターに接続します。
7	HDMI	HDMI	モニターに接続する映像出力端子です。 HDMI ケーブルを使用してモニターに接続します。
8	e-SATA	eSATA	外付け SATA ストレージ用の接続端子です。
9	USB	USB2.0	マウスや USB メモリーなどを接続します。
10	LAN(DOWNLINK)	RJ-45	ローカル接続用の LAN ポートです。 LAN ケーブルを使用して PC やハブを接続します。
	LAN(UPLINK)		リモート接続用の LAN ポートです。 LAN ケーブルを使用してル PC やルーターを接続します。
11	DC12V	DC ジャック	本機電源入力端子です。 付属の AC アダプターを接続します。

1.4 リモコンの各ボタン名称とはたらき

【 KB-AHR04C のリモコン 】



【 KB-AHR08C / KB-AHR16C のリモコン 】



1.4.1 リモコン ID を登録する

KB-AHR08C および KB-AHR16C は、1 台のリモコンで複数台のレコーダーを操作することができます。
レコーダー本機に設定しているリモコン ID をライブ画面でリモコンから正しく入力すると
そのリモコンでの操作が有効となります。

※本機能は、KB-AHR08C/KB-AHR16C と同梱のリモコンでのみ使用できます。

※ライブ画面で、誤ったリモコン ID を入力すると、リモコン操作が不可能になります。

以下の手順でリモコン ID を設定します。

1. システム設定のデバイス設定で、レコーダー本機のリモコン ID を設定します。
詳細は、「3.6.8 デバイス・リモコン ID を設定する(p.3-70)」をご覧ください。

※操作するレコーダーが複数台ある場合は、リモコン ID が重複しないようにご注意ください。

2. ライブ画面で、リモコンの〈 ID 〉ボタン を押します。
3. リモコンの数字ボタンで 2 桁の ID を指定します。
例) 「 01 」と入力する場合 : 数字の 0 → 1 の順にボタンを押します。

※リモコン ID の初期設定値は、「 00 」です。

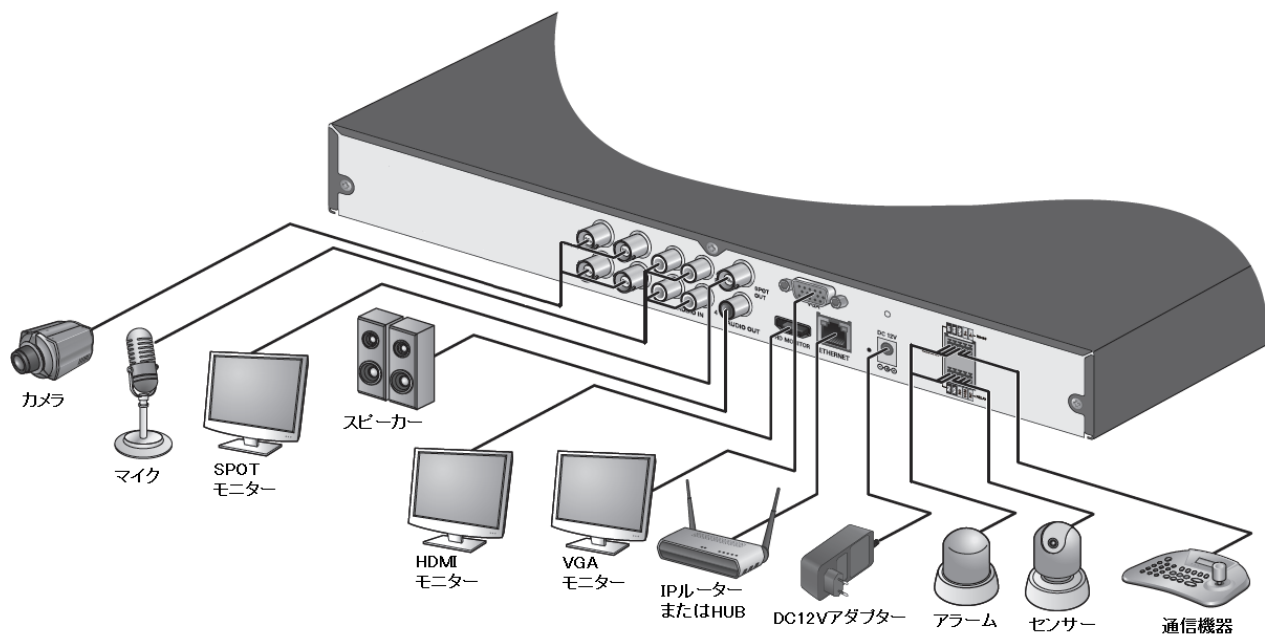
4. リモコンを操作して、リモコン ID が適切に設定されているかを確認してください。

※リモコン ID を「 00 」にリセットする場合は、〈 ID 〉ボタンを押し続けてください。

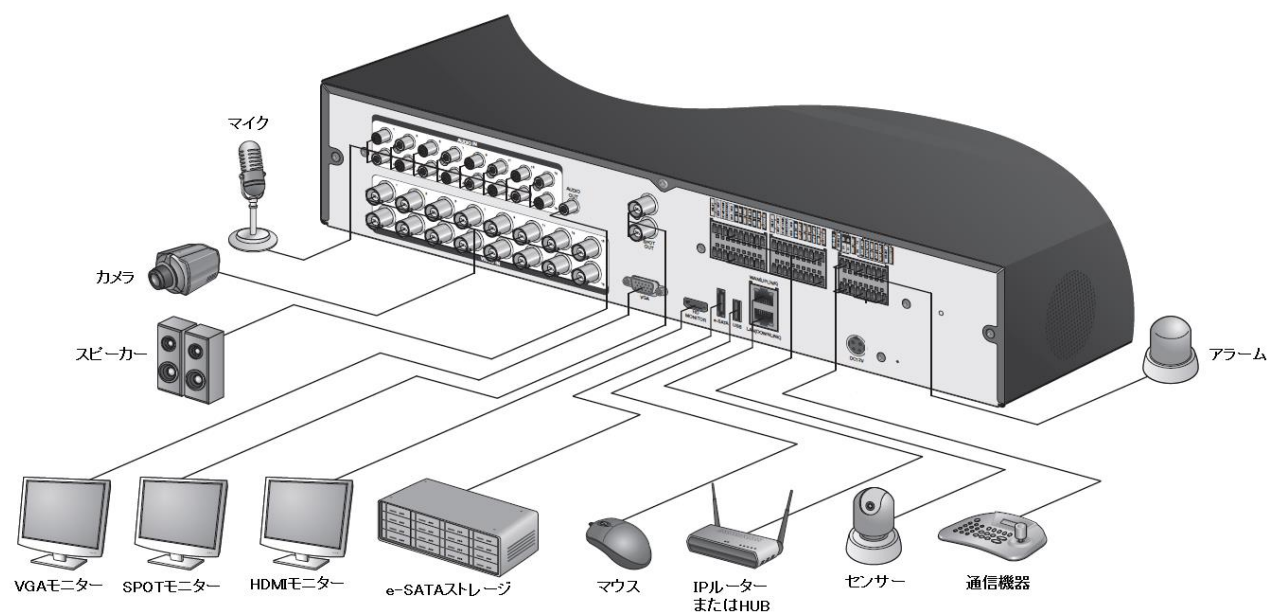
1.5 各種機器を接続する

マイクやスピーカーなど外部機器を使用する場合は、以下の図を参照して本機に接続してください。

【 KB-AHR04C の各種接続イメージ 】



【 KB-AHR08C / KB-AHR16C の各種接続イメージ 】



1.5.1 AHD・IP カメラを接続する

本機は、AHD カメラと IP カメラの入力が可能です。

AHD カメラは BNC 端子ケーブル、IP カメラは LAN ケーブルをそれぞれ使用してください。

本機の初期設定では、全 CH が AHD カメラのみ使用可能となっています。

IP カメラを使用する場合はカメラタイプ設定の変更・カメラアドレスの登録が必要となります。

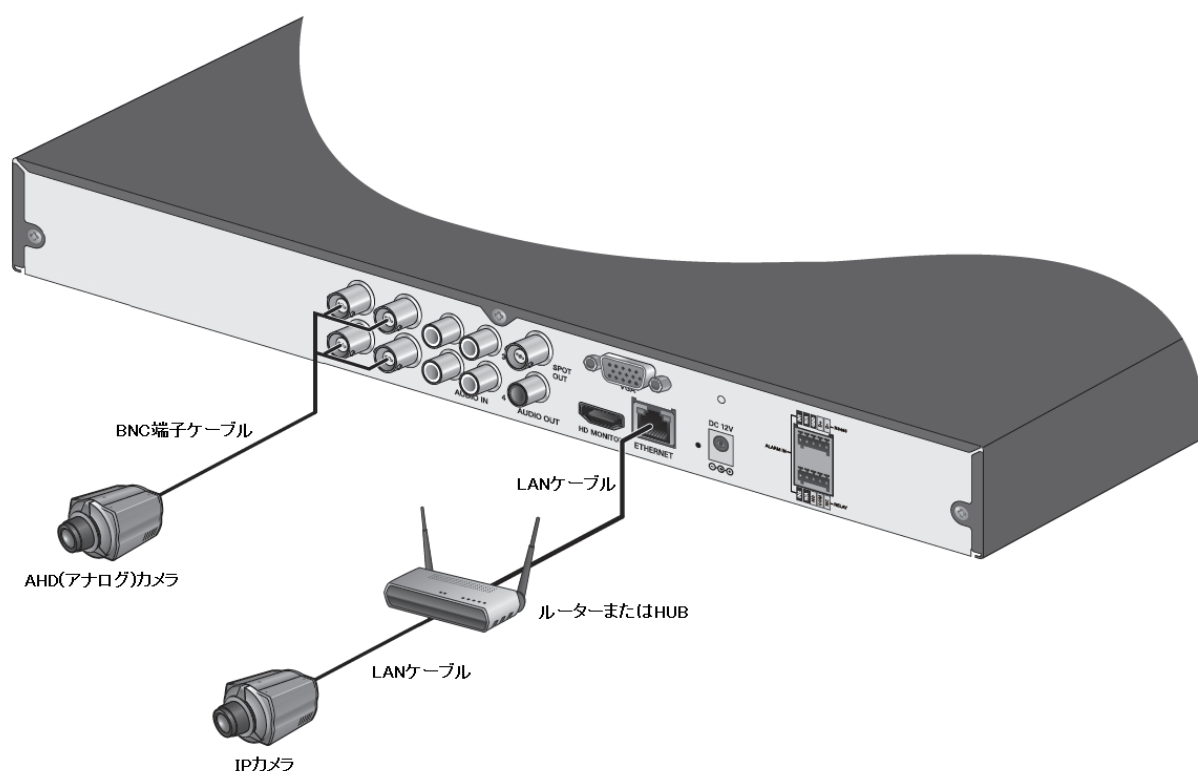
詳しい設定方法については、「3.1.1 カメラタイプ(AHD カメラ)を登録する(p.3-3)」または

「3.1.2 カメラタイプ(IP カメラ)を登録する(p.3-5)」をご覧ください。

【 KB-AHR04C の場合 】

AHD(アナログ)カメラは、本機背面の< VIDEO IN1~4 >ポートに接続してください。

IP カメラは、本機背面の< LAN >ポートに接続してください。



KB-AHR04C は、AHD カメラと IP カメラ合わせて最大 4 台まで入力が可能です。

組み合わせ例 : AHD カメラ 2 台 + IP カメラ 2 台

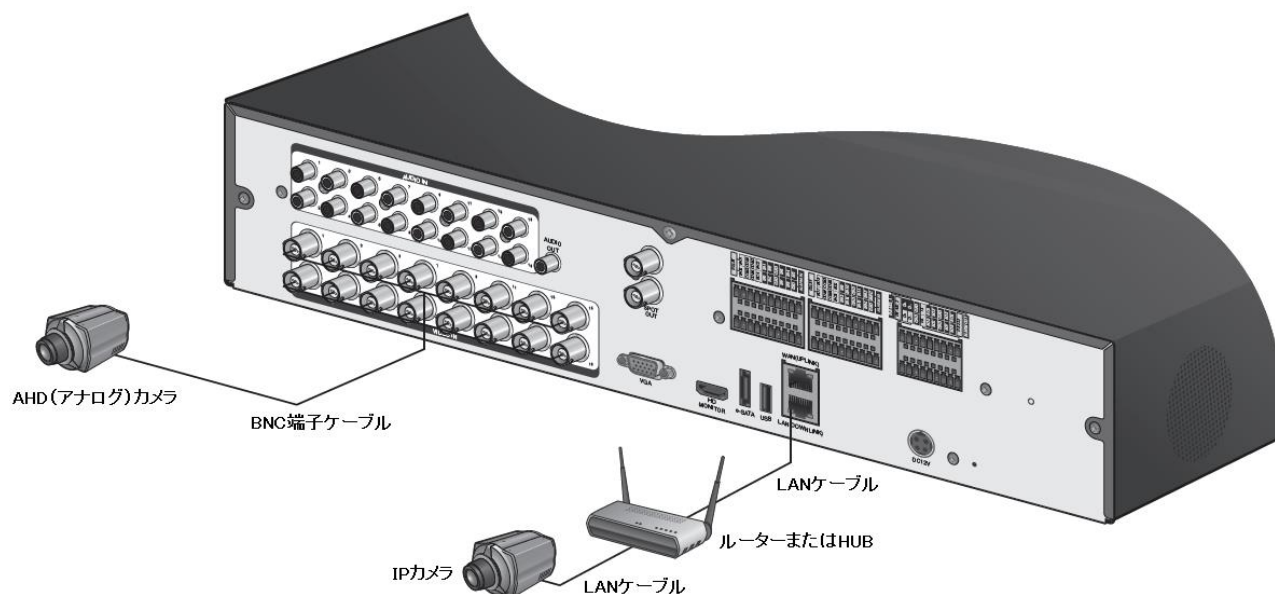
<< 注意 >>

LAN ケーブルは必ずシールド付きのケーブルを使用し、本機もアース接地を行ったうえで運用してください。電氣的ノイズにより機器の動作不良や故障につながる恐れがあります。

【 KB-AHR08C / KB-AHR16C の場合 】

AHD カメラは、本機背面の< VIDEO IN1～8/16 >ポートに接続してください。

IP カメラは、本機背面の< LAN (DOWN LINK) >ポートに接続してください。



KB-AHR08C は、AHD カメラと IP カメラ合わせて最大 8 台まで入力が可能です。

組み合わせ例 : AHD カメラ 4 台 + IP カメラ 4 台

KB-AHR16C は、AHD カメラと IP カメラ合わせて最大 16 台まで入力が可能です。

組み合わせ例 : AHD カメラ 8 台 + IP カメラ 8 台

<< 注意 >>

LAN ケーブルは必ずシールド付きのケーブルを使用し、本機もアース接地を行ったうえで運用してください。電氣的ノイズにより機器の動作不良や故障につながる恐れがあります。

1.5.2 メインモニターを接続する

メインモニターへの接続は HDMI または VGA 端子ケーブルを使用してください。

本機は、HDMI と VGA の同時出力が可能です。

メインモニターの画面では、ライブ画面や検索・再生、本機の各種設定が操作可能です。

各モニターの分割表示設定やメイン・サブモニターの切り替えについては、「3.2.3 HDMI/VGA モニターへの出力画面を編集する(p.3-23)」をご覧ください。

<< 注意 >>

メインモニターは必ず下記のいずれかの入力解像度に対応したモニターをご使用ください。

- 2560 x 1440 (WQHD)
- 1920 x 1080 (FullHD)
- 1280 x 1024 (SXGA)
- 1280 x 720 (720p)

上記のいずれにも対応していないモニターは使用できません。

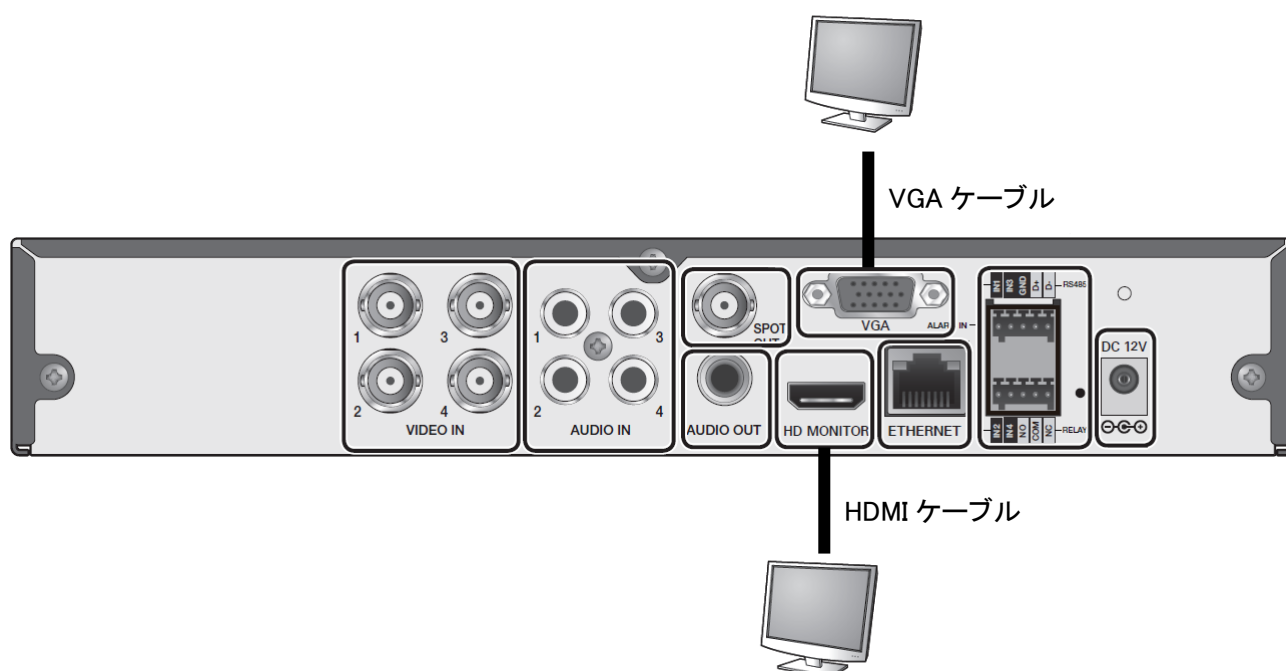
モニターを接続し、本機を起動することで自動的に最適な解像度で映像を表示します。

対応モニターであっても正常に表示されない場合は、本機設定にて手動で解像度を設定してください。

解像度の設定については、「3.2.3 HDMI/VGA モニターへの出力画面を編集する(p.3-23)」をご覧ください。

【 KB-AHR04C の場合 】

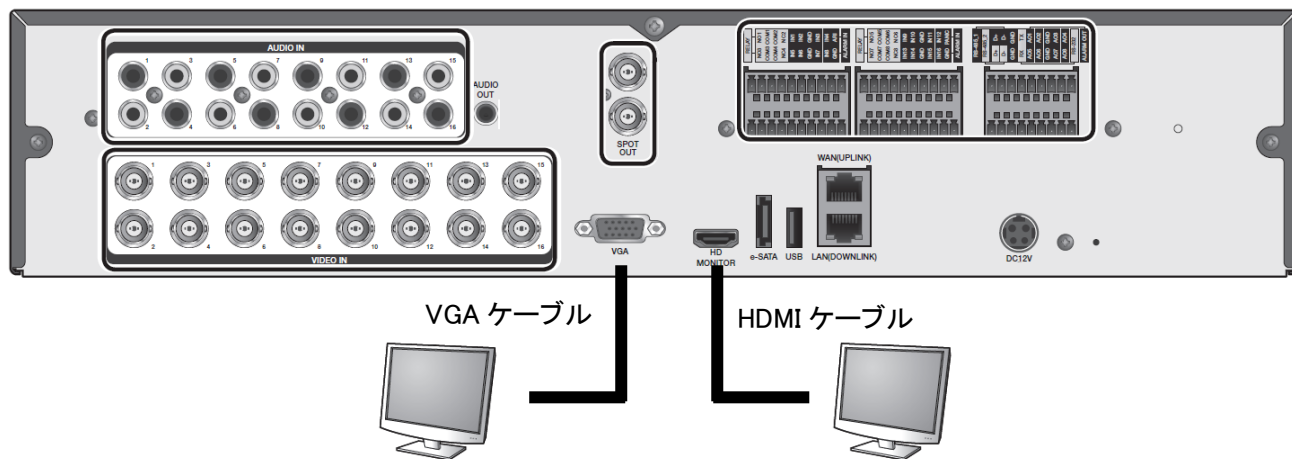
下記の図を参照し、メインモニターを接続してください。



メインモニターを接続する(つづき)

【 KB-AHR08C / KB-AHR16C の場合 】

下記の図を参照し、メインモニターを接続してください。



1.5.3 SPOT OUT モニターを接続する

SPOT モニターへの接続は、BNC 端子ケーブルを使用してください。

HDMI・VGA と合わせて同時出力が可能です。

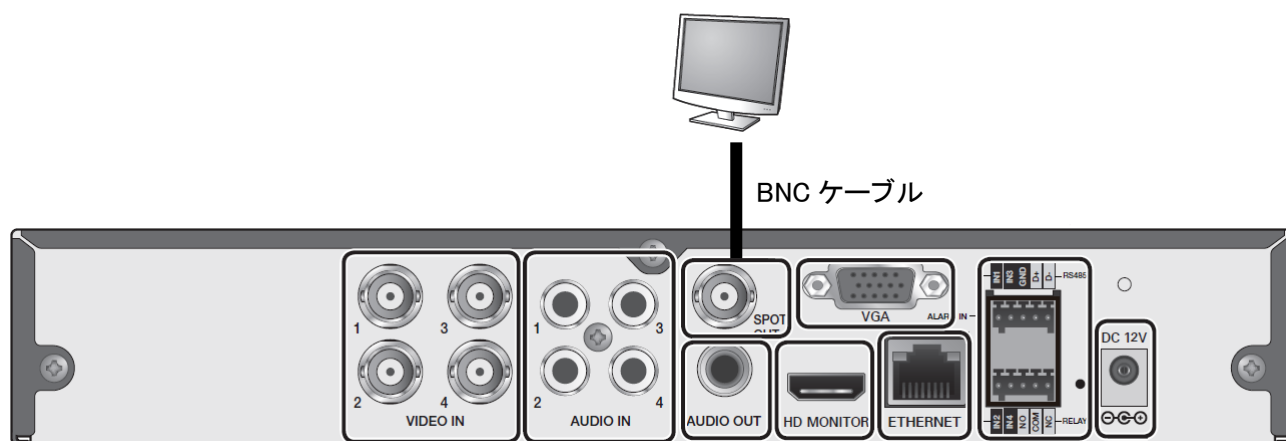
SPOT モニターの画面では、ライブ映像のみの表示となりマウスやリモコンでの操作はできません。

SPOT モニターでの画面表示パターンについては、「3.2.5 SPOT OUT モニターの表示パターンを設定する (p.3-29)」をご覧ください。

【 KB-AHR04C の場合 】

SPOT 端子にスポットモニターを接続してください。

1 画面または 4 分割でライブ画面を表示できます。

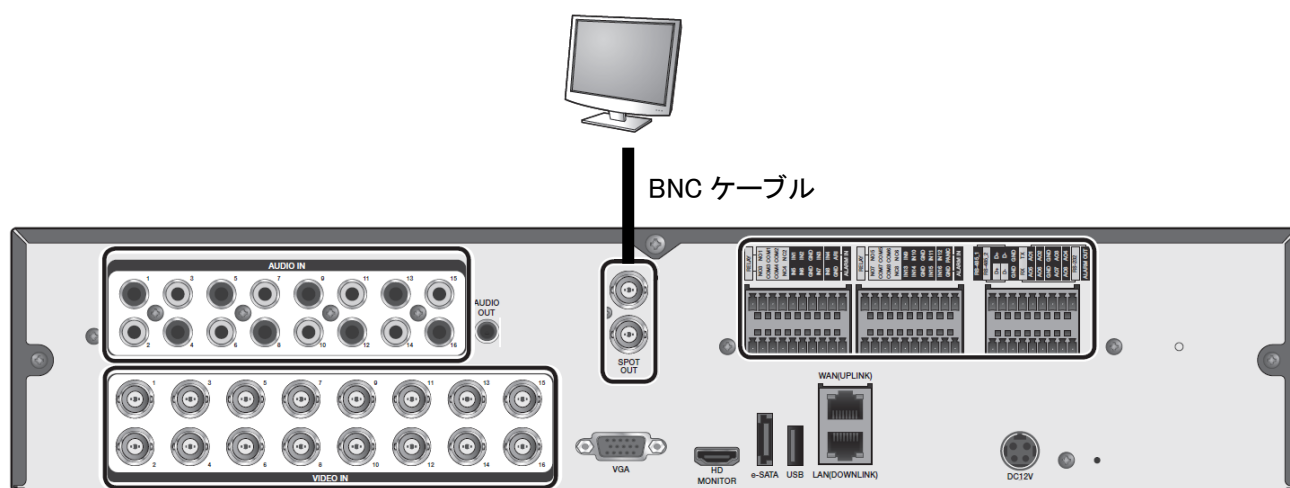


【 KB-AHR08C / KB-AHR16C の場合 】

SPOT 端子にスポットモニターを接続してください。

KB-AHR08C は、1 画面または 4/9 分割でライブ画面を表示できます。

KB-AHR16C は、1 画面または 4/9/16 分割でライブ画面を表示できます。



1.5.4 電源コードを接続する

本機に AC アダプターを以下のように接続してください。

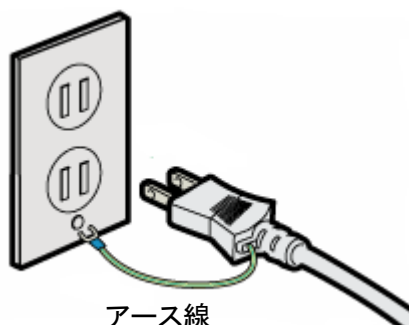
電源コード接続後は、自動的に起動シーケンスに移行します。

起動後の動作については、「1.6 初回起動時の設定をする(p.1-24)」をご覧ください。

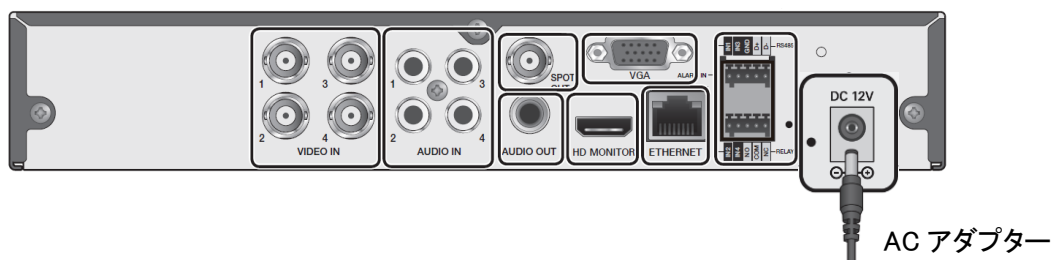
<< 注意 >>

下記事項は必ずお守りください。

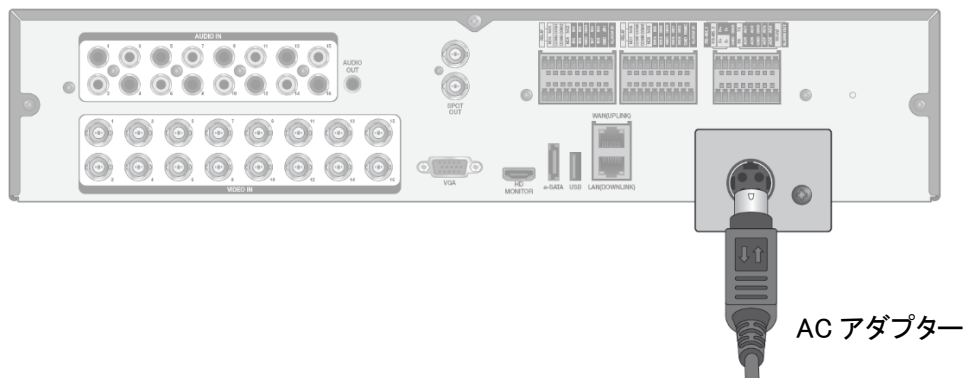
- 電源コードおよび AC アダプターは必ず同梱品のものをご使用ください。
- 電源を投入する前に必ずアース接地工事または、アース接続を行ってください。
落雷や静電気などにより本機が故障するリスクを低減できます。
- アース線は、同梱品の電源ケーブルについているアース線(緑色)をご利用ください。



【 KB-AHR04C の場合 】



【 KB-AHR08C / KB-AHR16C の場合 】



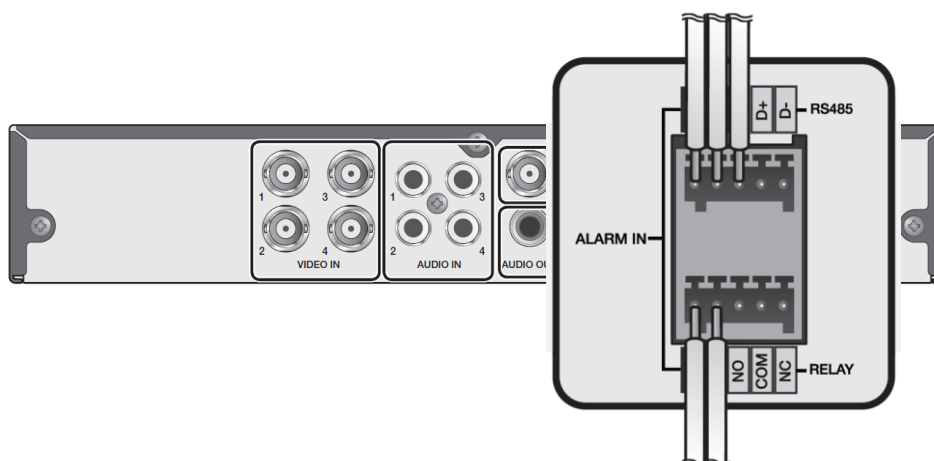
1.5.5 外部センサーや警報機を接続する

本機は、外部センサーや警報機器と連動し、様々なイベント通知を行うことができます。

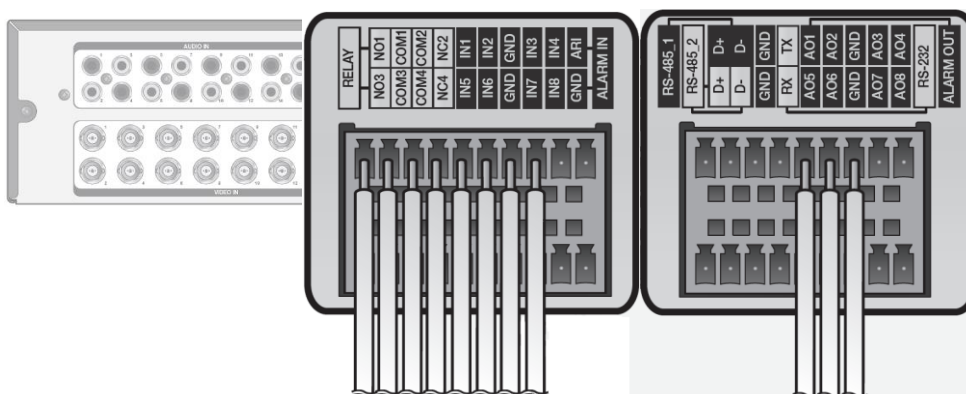
付属の端子ブロックに信号線を接続してから本機へ装着してください。

※端子ブロックへの接続間違いにご注意ください。

【 KB-AHR04C の場合 】



【 KB-AHR08C / KB-AHR16C の場合 】



- 外部センサー(アラーム入力信号)を接続するには・・・

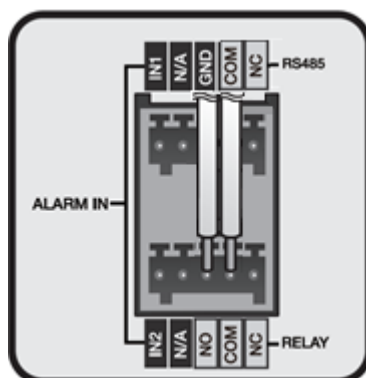
1. アラーム入力機器の信号線の＋極を本機背面の 〈 ALARM IN 〉ポートに差し込みます。
2. アラーム入力機器の信号線の－極を本機背面の 〈 GND 〉ポートに差し込みます。
3. 差し込み後、2本の線を引っ張り、抜けないことを確認します。

外部センサーや警報機を接続する(つづき)

- 警報機(アラーム出力信号)を接続するには・・・
 1. アラーム出力機器の信号線の＋極を
本機背面の〈 RELAY 〉ポートの〈 N/O 〉または〈 N/C 〉端子に差し込みます。
 2. アラーム信号線の一極を〈 COM 〉端子に差し込みます。
 3. 差し込み後、2本の線を引っ張り、抜けないことを確認します。

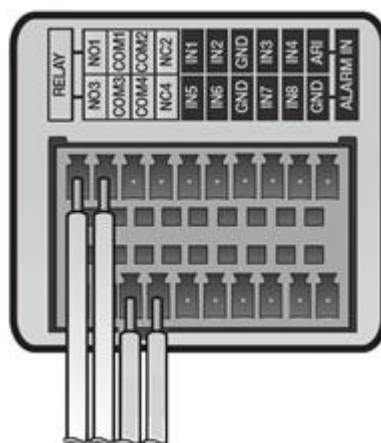
<< 接続例 >>

- KB-AHR04C の場合



4CH の場合は、NO と COM または NC と COM にそれぞれ制御線を接続してください。

- KB-AHR08C / KB-AHR16C の場合



8/16CH の場合は、NO1 と COM1、NC2-COM2、NO3-COM3 ……と NO/NC 端子と COM 端子はセットで制御線を接続してください。

※NO1 と COM2 のような組み合わせでは、警報機が正しく動作しませんので接続間違いにご注意ください。

外部センサーや警報機を接続する(つづき)

<< 接点端子の動作について >>

各モデルによって接続する端子とアラーム設定によって出力状態が異なります。

各モデルの端子は以下の表のように動作します。

機種	接続する端子		アラーム出力設定	動作		
	一方	もう一方		定常時	イベント発生時	非通電時
KB-AHR04C	COM	NO	NO	オープン	ショート	オープン
			NC	ショート	オープン	オープン
		NC	NO	ショート	オープン	ショート
			NC	オープン	ショート	ショート
KB-AHR08C KB-AHR16C	COM1,COM3,COM5,COM7	NO1,NO3,NO5,NO7	NO	オープン	ショート	オープン
			NC	ショート	オープン	オープン
	COM2,COM4,COM6,COM8	NC2,NC4,NC6,NC8	NO	オープン	ショート	ショート
			NC	ショート	オープン	ショート

→アラーム出力設定については、「3.8.1 アラーム出力を有効にする(p.3-84)」をご覧ください。

<< 注意 >>

アラーム出力信号の設定変更後、設定内容を適用した時点で一度接点が作動します。

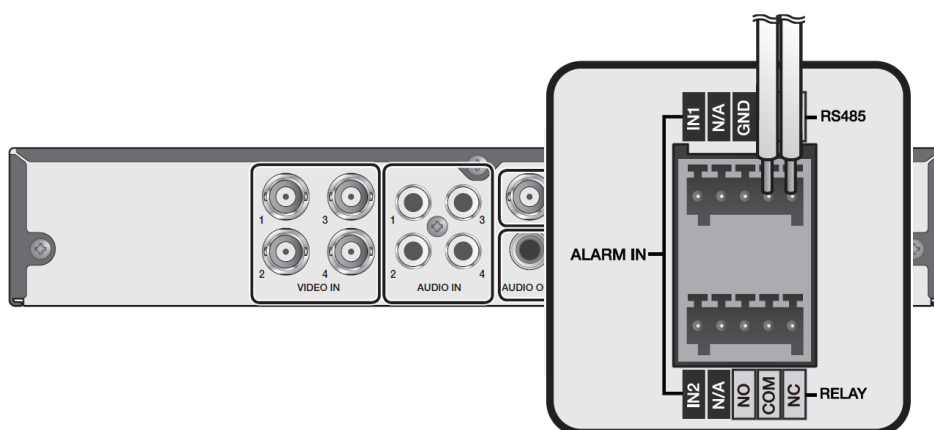
外部機器によっては、作動する場合がありますのでご注意ください。

1.5.6 PTZ カメラを接続する

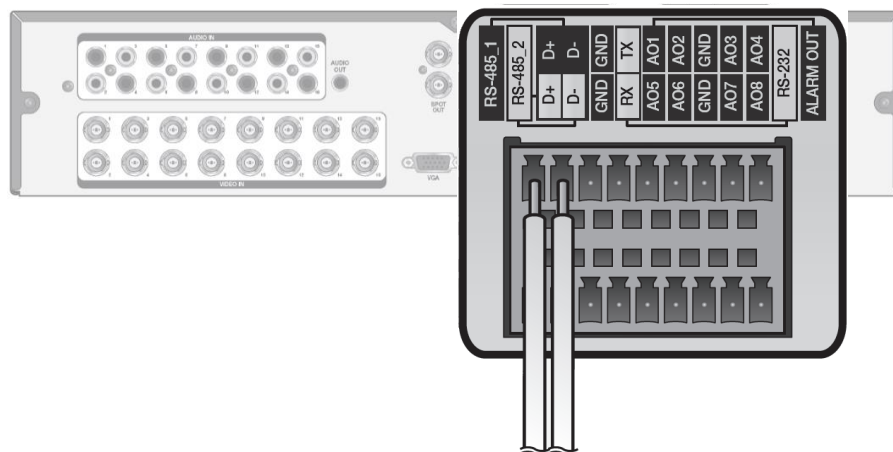
PTZ カメラを接続して制御線にて制御する場合は、RS-485 端子に接続します。

付属の端子ブロックに信号線を接続してから本機へ装着してください。

【 KB-AHR04C の場合 】



【 KB-AHR08C / KB-AHR16C の場合 】



- RS-485 を接続するには・・・
 1. 本機背面の 〈 D+ 〉 に PTZ カメラの 〈 D+ 〉 を差し込みます。
 2. 本機背面の 〈 D- 〉 に PTZ カメラの 〈 D- 〉 を差し込みます。

→PTZ カメラの設定については、「3.1.7 PTZ 設定 (p.3-18)」をご覧ください。

※RS-485 接続については、PTZ カメラのユーザーマニュアルをご覧ください。

1.5.7 音声機器を接続する

音声機器との接続には、RCA 端子ケーブルを使用してください。

マイクなどの音声入力機器は、背面の〈 AUDIO IN 〉ポートに接続してください。

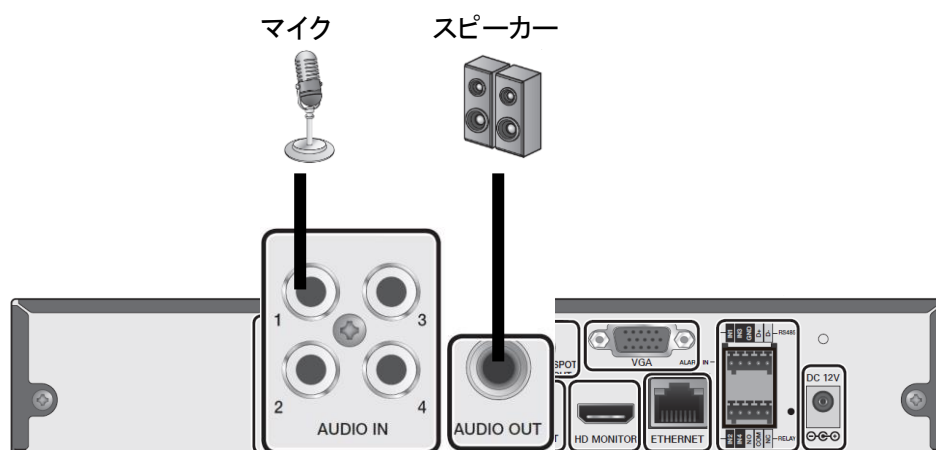
スピーカーなどの音声出力機器は、背面の〈 AUDIO OUT 〉ポートに接続してください。

※本機は、ラインレベル入力のみ対応しています。

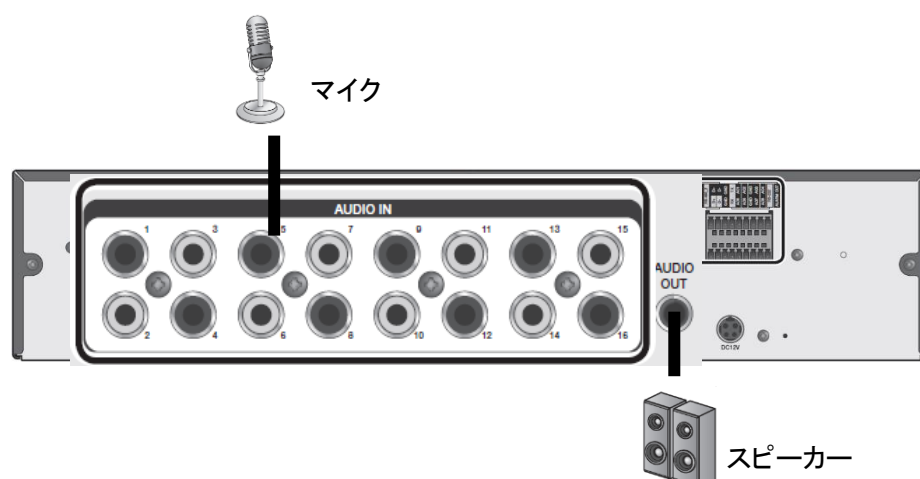
<< 注意 >>

IP カメラを登録している CH は、ライブ音声のみ視聴することができますが、マイクによる録音はできません。
あらかじめご了承ください。

【 KB-AHR04C の場合 】



【 KB-AHR08C / KB-AHR16C の場合 】

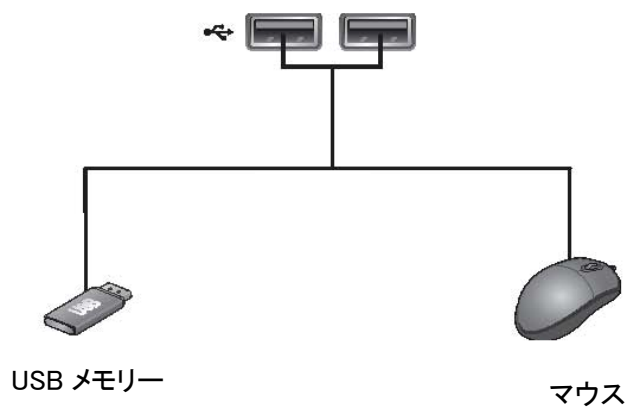


音声出力の設定については、「2.6.2 音声出力 CH を切替える(p.2-11)」または、「3.3.1 スピーカーから音声を出力する(p.3-32)」をご覧ください。

1.5.8 USB デバイスを接続する

付属のマウスや USB メモリーは USB 端子へ接続してください。

USB メモリーを接続すると、記録映像のバックアップやシステム設定の保存(読み込み)、ファームウェアのアップデートを行うことができます。



電力消費の多い外部ストレージを接続する場合は、そのストレージ用に個別の電源を使用することを推奨します。

<< 注意 >>

本機に接続する USB メモリーや HDD のファイルシステムは、「FAT32」に設定した上でご使用ください。
NTFS などその他ファイルシステムで構築されている場合、本機ではご使用になれません。

1.5.9 ネットワーク機器を接続する

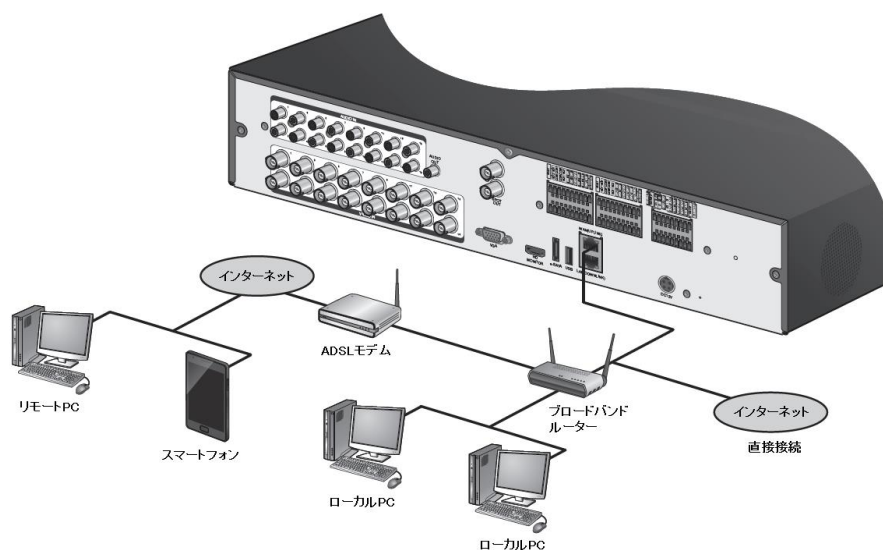
本機をネットワークに接続することで PC またはスマートフォンから遠隔接続し、レコーダーを制御または操作することができます。

<< 注意 >>

ネットワーク接続での利用にあたり、本機情報提供に同意する必要があります。

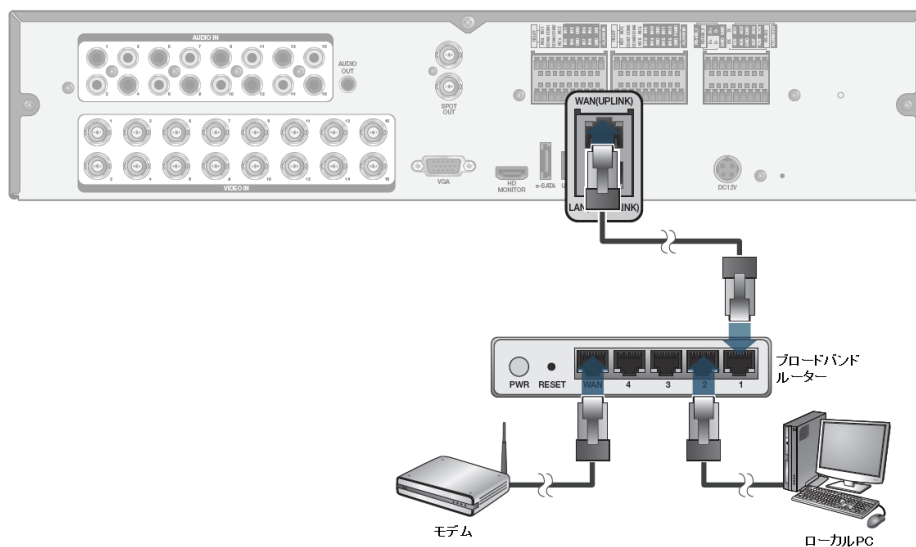
詳しくは、「3.5.1 ネットワーク機能利用のまえに(p.3-42)」をご覧ください。

【 ネットワーク機器の接続イメージ 】



• ネットワーク機器を接続するには・・・

1. 背面パネルの 〈 WAN(UPLINK) 〉ポートにルーターまたはハブを接続します。



2. ローカル PC をルーターまたはハブに接続します。

※ネットワーク設定については、「3.5 ネットワーク(p.3-42)」をご覧ください。

1.6 初回起動時の設定をする

本機は、初回起動時にログインパスワードやネットワーク情報を設定する必要があります。
以下の手順にしたがって、本機を起動し、パスワード設定してください。

<< 注意 >>

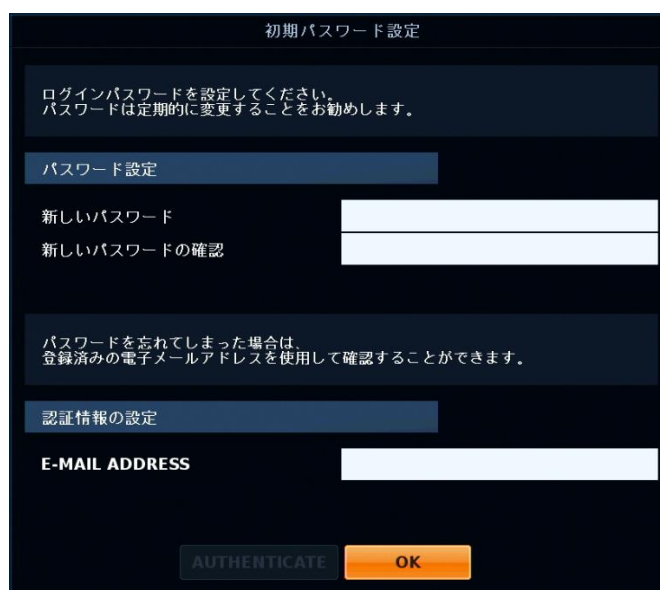
下記事項を必ずお守りください。

- パスワードは定期的に変更し、設定した値はメモをとるなど忘れないように管理をしてください。
※パスワードの変更については、「3.4.3 パスワードを変更する(p.3-39)」をご覧ください。

1. 本機背面に電源ケーブルを差し込みます。
接続については、「1.5.4 電源コードを接続する(p.1-17)」をご覧ください。
2. ビープ音が鳴り、前面の LED が点灯します。
数秒後にロゴ画面が表示されます。



3. 起動プロセスが完了すると、初期パスワード設定画面が表示されます。

A screenshot of the 'Initial Password Setting' screen. The screen has a dark background with white text. At the top, it says '初期パスワード設定'. Below that, a message reads: 'ログインパスワードを設定してください。パスワードは定期的に変更することをお勧めします。'. There are two input fields for '新しいパスワード' (New Password) and '新しいパスワードの確認' (Confirm New Password). Below these, another message reads: 'パスワードを忘れてしまった場合は、登録済みの電子メールアドレスを使用して確認することができます。'. There is an input field for 'E-MAIL ADDRESS'. At the bottom, there are two buttons: 'AUTHENTICATE' and 'OK'.

初回起動時の設定をする(つづき)

4. 「新しいパスワード」欄をダブルクリックし、パスワードを設定します。
バーチャルキーボードで入力後、「OK」をクリックしてください。
設定したパスワードは、メモをとるなどし忘れないように管理してください。
p.3 のパスワードメモをご活用ください。



<< 注意 >>

パスワードを設定する際は、下記をお守りください。

- ・ 「1234」は初期パスワードとして設定することはできません。
- ・ 第3者から容易に推測される数字や文字はさけてください。
- ・ パスワードは最大8文字まで入力できます。

5. 「新しいパスワードの確認」欄に同じ値を入力します。
入力間違いにご注意ください。
6. 「認証情報の設定」欄にパスワードを忘れた場合の確認用メールアドレスを入力します。
7. パスワード設定後、「OK」をクリックします。



初回起動時の設定をする(つづき)

ネットワーク設定ウィザード以降の設定は、後からでも設定・変更ができます。

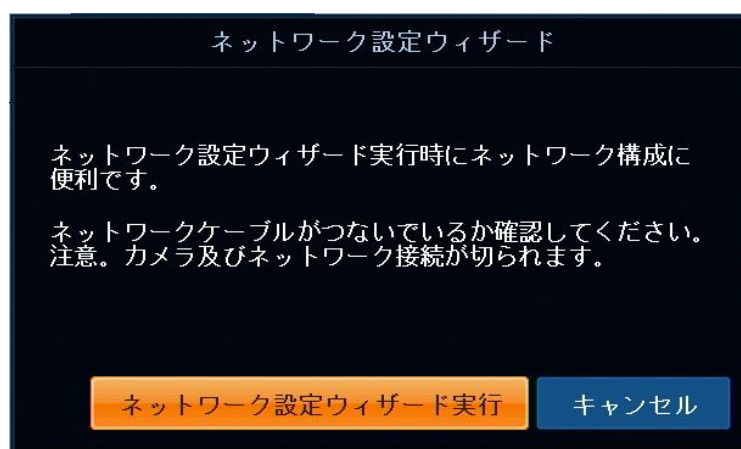
「キャンセル」をクリックすると、初回起動時の設定は完了し、ログイン画面に移行します。

ログイン手順については、「1.7.1 ログインする(p.1-30)」をご覧ください。

また、後からネットワーク設定を行う場合は、「3.5 ネットワーク(p.3-42)」をご覧ください。

8. 続けて本機のネットワークアドレスを設定できます。

IP アドレスなどを設定する場合は、「ネットワーク設定ウィザード実行」をクリックします。



9. 本機の IP アドレスを設定し、「次」をクリックします。

「DHCP」・・・ DHCP サーバーから自動的に各アドレス情報を受け取ります。

「固定 IP」・・・ 手動で本機の各アドレス情報を入力します。

同一ネットワーク内にある他機器の IP アドレスと重複しないようにご注意ください。

IPv4 アドレス	192.168.200.11
ゲートウェイ	192.168.200.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DNSサーバー1	8.8.8.8
DNSサーバー2	0.0.0.0

At the bottom are buttons: '?', '以前', '次' (orange), and '終了'.

初回起動時の設定をする(つづき)

10. ポート番号を設定し、「次」をクリックします。

同一ネットワーク内にある他機器のポート番号と重複しないようにご注意ください。

ネットワーク設定ウィザード (2 / 4)

サービスポート設定

RTSPポート	6000
WEBサーバーポート	9350

☐ 自動ポートフォワーディング使用

? 戻る 次 終了

お使いのルーターやモデムが自動ポートフォワーディング機能に対応していない場合は、「自動ポートフォワーディング使用」のチェックは外してください。

11. DDNS サーバーの利用をはじめ、ネットワーク機能サービスを利用するにあたり、本機の情報提供に同意していただく必要があります。

「機器情報提供に同意します。」にチェックを入れると通知画面が表示されます。

内容をよくお読みの上、「閉じる」をクリックしてください。

DDNSを始めとしてネットワーク関連サービスは機器の情報を活用します。
サービス利用のために、機器情報提供に関する同意が必要です。

☒ 機器情報提供に同意します。



付加サービスのための機器情報提供同意

本機器は、**DDNS**などのサービスを提供するために機器の一部の情報をサーバーに伝送します。

機器が伝送する情報の種類
IPアドレス、**MAC**アドレス、**FW**バージョン、**DDNS**アドレス、**HTTP/RTSP**ポート。

収集した情報を利用する方法
収集された機器の情報は、**DDNS**、モバイル遠隔接続、不法複製品の判別などのために使用されるし、現サービスを維持及び、保護、改善するために使用されます。

収集された情報の保管期間
サービス提供が必要ない場合は、収集された情報は、顧客の要請があるまで安全に保管します。
収集された情報は、顧客の要請によって永久破壊できます。

閉じる

初回起動時の設定をする(つづき)

12. 「機器情報提供に同意します。」チェックをいれて、「次」をクリックします。

DDNS 機能を使用する場合は、「オン」をクリックしてください。

The screenshot shows the 'ネットワーク設定ウィザード (3 / 4)' (Network Setup Wizard (3 / 4)) screen. The 'DDNS設定' (DDNS Settings) section is active. It features two radio buttons: 'オフ' (Off) and 'オン' (On), with 'オン' selected. Below this, there are input fields for 'DDNSサーバー' (DDNS Server), 'ユーザー名' (Username), 'パスワード' (Password), 'レコーダー名' (Recorder Name), and 'DVR接続アドレス' (DVR Connection Address). The 'DDNSサーバー' dropdown is set to 'dvrlink.net'. The 'レコーダー名' field contains 'testddns', and the 'DVR接続アドレス' field shows 'testddns.dvrlink.net'. At the bottom, there are four buttons: a help icon (?), '以前' (Previous), '次' (Next), and '終了' (End).

- DDNS サーバー … 「dvrlink.net」のみ選択してください。
- レコーダー名 … DDNS のドメイン名を入力します。
- DVR 接続アドレス … 本機の遠隔接続時のアドレスが表示されます。

【DDNS サービスのご利用について(免責事項)】

DDNS サービスのご利用の際は下記内容に同意した上でご利用ください。

- DDNS サービスのご利用はお客様のもとでご利用ください。
- DDNS サービスを利用することにより発生した損害、または第3者に対して損害を与えた場合について弊社は一切の責任を負わないものとし、損害賠償する義務はないものとします。

13. シキュリネット設定の利用を選択し、「次」をクリックします。

The screenshot shows the 'ネットワーク設定ウィザード (4 / 4)' (Network Setup Wizard (4 / 4)) screen. The 'シキュリネット設定' (Securinet Settings) section is active. It contains the text: 'シキュリネットとは？ シキュリネットサービスは、スマートフォンで手軽に接続できるようにサポートしてくれます。シキュリネットを通じて新たな経験を楽しんでください。' (What is Securinet? Securinet service is supported by a smartphone to make it easy to connect. Enjoy new experiences through Securinet.) Below this, it asks 'シキュリネットを利用しますか？' (Do you use Securinet?). There are two radio buttons: 'Yes' (selected) and 'No'. At the bottom, there are three buttons: '以前' (Previous), '次' (Next), and '終了' (End).

シキュリネットの使い方については、「8.8 SECURINET の利用(p.8-11)」をご覧ください

初回起動時の設定をする(つづき)

14. QR 画面が表示されたら「OK」をクリックします。



15. ネットワーク設定情報が表示されたら「終了」をクリックし、初回起動時の設定は全て完了です。
ライブ画面での操作や見方については、「2.1 ライブ画面での操作・見方(p.2-1)」をご覧ください。



1.7 ログイン・ログアウト・シャットダウンする

以下の手順でログイン・ログアウトまたはシャットダウンができます。

1.7.1 ログインする

起動完了後、ライブ画面に切り替わりログイン画面が表示されます。

1. ログイン画面の表示後、ユーザーID を選択します。

初期設定時は、「ADMIN」のみ選択できます。

ユーザーID を複数登録している場合は、プルダウンボタンをクリックして、該当 ID を選択してください。



ログイン画面のスクリーンショット。タイトルは「ログイン」です。ユーザーIDのプルダウンメニューには「ADMIN」が選択されています。パスワードの入力欄は空で、右側には「お忘れですか？」というリンクがあります。画面下部には「OK」と「キャンセル」のボタンがあります。背景にはキーボードのレイアウトが描かれています。

2. 選択したユーザーID に対応したパスワードを入力します。

ADMIN の初期パスワードは、初回起動時に設定した値となります。



ログイン画面のスクリーンショット。ユーザーIDは「ADMIN」のままです。パスワードの入力欄には4つの星（****）が表示されています。右側の「お忘れですか？」リンクは消えています。下部には「OK」と「キャンセル」のボタンがあります。背景にはキーボードのレイアウトが描かれています。

3. 「OK」をクリックし、ライブ画面が表示されたらログイン成功です。

ライブ画面での操作や見方については、「2.1 ライブ画面での操作・見方 (p.2-1)」をご覧ください。

「パスワードが正しくありません。」と表示された場合は選択中のユーザーID またはパスワードの入力に間違いがないかご確認ください。

1.7.2 ログインパスワードを忘れたら

ログインパスワードを忘れてしまった場合は、あらかじめ登録したメールアドレスに認証コードを送信できます。

1. ログイン画面にて、「お忘れですか？」をクリックします。



2. 登録済みのメールアドレスを入力します。

※「初回起動時の設定」の手順6で設定したアドレスまたは、「3.4.1 アカウント情報を追加・編集する」の手順2で設定したメールアドレスを入力してください。

※メールアドレスを登録していない場合は、認証コードを送信することはできません。



3. アドレス入力後、「認証コード送信」をクリックします。



4. 「認証コード送信成功」という確認画面表示後、「OK」をクリックします。

5. 指定したアドレスに届いた認証コードを「認証コード入力」欄に入力します。
※認証コードの受付時間は、10 分間となります。
10 分以上経過した場合は、再度新しく認証コードの送信を行ってください。



パスワード確認

登録された携帯電話/電話番号または、Eメールで確認過程を経た後、パスワードを変更できます。

ユーザーID: ADMIN

メール: samada@khddevice.com

認証コード入力: [入力欄] 9:45

適用 キャンセル

入力後は、「適用」をクリックします。

6. 新しくログインパスワードを設定します。



パスワード変更

ユーザーID: ADMIN

新しいパスワード: [入力欄]

新しいパスワードの確認: [入力欄]

適用 キャンセル

7. 再設定後、「適用」をクリックして新しく設定したパスワードでログインしてください。



ログイン

ユーザーID: ADMIN

パスワード: [入力欄] お忘れですか?

~ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 - = ←

q w e r t y u i o p { } \ DEL

a s d f g h j k l . " ENTER

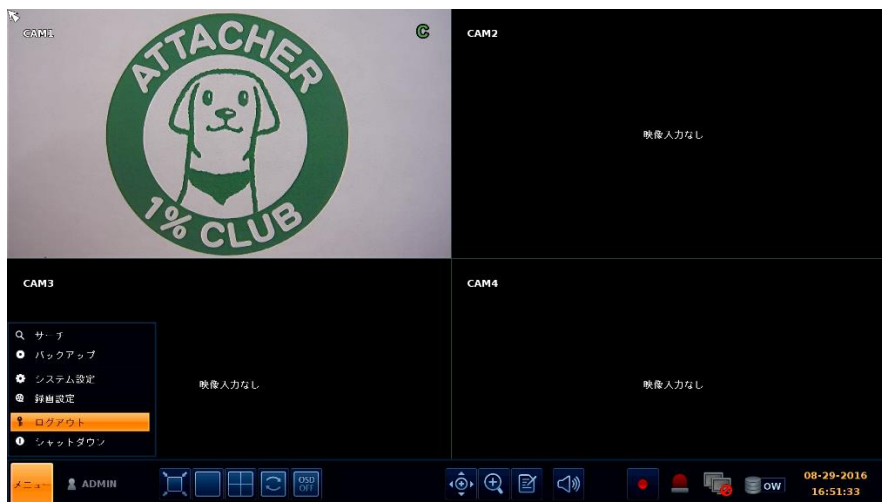
z x c v b n m < > ? SPACE SHIFT

OK キャンセル

1.7.3 ログアウトする

不正アクセスを防止するため、画面から離れる場合はログアウトすることを推奨します。

1. ライブ画面にて、画面下部にカーソルを移動させ、ステータスバーを表示します。



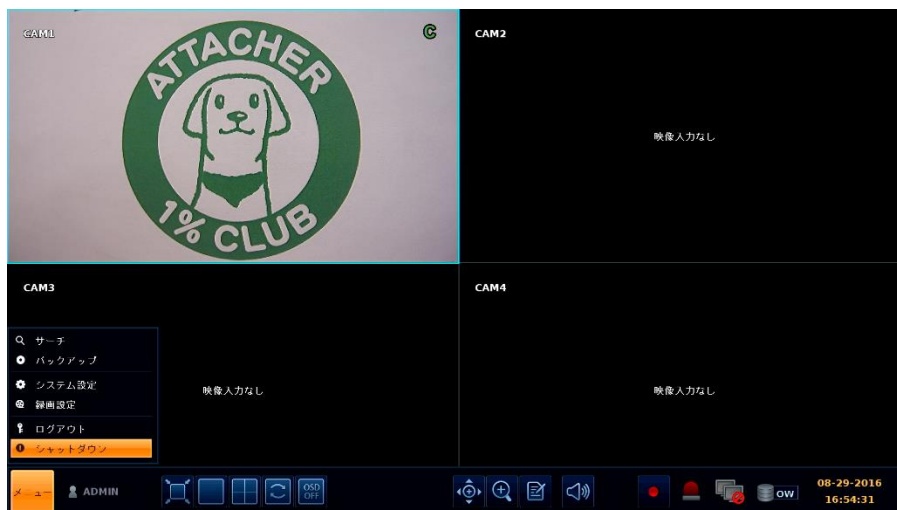
2. 画面左下の「メニュー」>「ログアウト」の順にクリックするとログアウトします。
リモコン操作の場合は、「LOGOUT」ボタンを押すとログアウトします。



1.7.4 シャットダウンする

本機の電源を切る場合は、以下の手順でシャットダウンを行ってください。

1. ライブ画面にて、画面下部にカーソルを移動させ、ステータスバーを表示します。



2. 画面左下の「メニュー」>「シャットダウン」の順にクリックします。
リモコン操作の場合は、「電源」ボタンを押します。
3. キーボードの文字をクリックし、パスワードを入力します。
パスワード入力後は、「OK」をクリックしてください。



4. 本機からビープ音がなったら、本機から AC アダプターを取り外します。

⚠ 注意

シャットダウンは必ず上記の方法で行ってください。

システム動作中に電源コードを抜くなどの正常ではない方法で電源を切ると、データ消失やディスクの寿命短縮につながる恐れがあります。

計画停電などでシャットダウンを行う際は、必ず電源コードをコンセントから取り外してください。
また、復電させる際は、あらかじめ電源コードを本機に接続してから起動を行ってください。

2章 ライブ画面での操作・見方

本機を起動すると、ライブ画面（現在のカメラ映像を閲覧する画面）が表示されます。
各種設定や検索・バックアップなどは、ライブ画面から選択して操作します。

2.1 各種アイコンのはたらき

ライブ画面内では、現在の録画状態やカメラタイトルなどさまざまなアイコンが表示されています。
各アイコンと内容については、次ページの表をご覧ください。

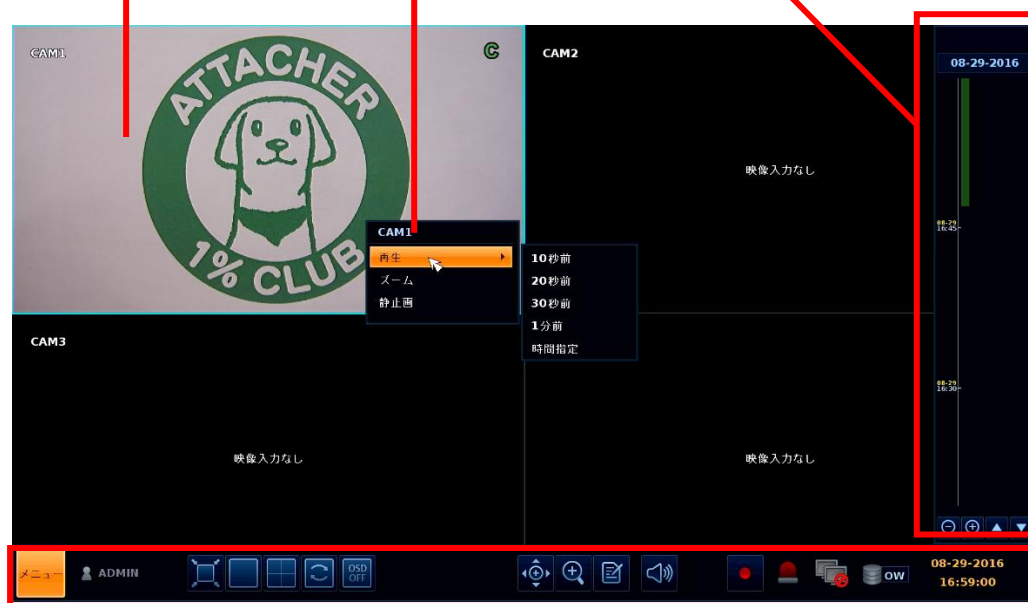
クイックメニュー

→詳細は、「2.3 クイックメニュー(p.2-5)」をご覧ください。

映像表示エリア

タイムライン



→詳細は、「2.2 タイムラインの見方(p.2-4)」をご覧ください。








ステータスバー

→詳細は、「2.1 各種アイコンのはたらき(p.2-2)」をご覧ください。

画面表示アイコン

アイコン	アイコン名	効果・内容
CAM1	カメラタイトル	カメラタイトルを表示します。
	録画モード アイコン	イベント録画の待機中に表示されます。
C		連続録画の状態を表示します。
A		アラーム発生時の録画状態を表示します。
M		モーションイベント発生時の録画状態を表示します。
P		手動録画(パニック録画)の状態を表示します。
	状態表示アイコン	MOTION(動き)検知中に表示します。

ステータスバーアイコン

アイコン	アイコン名	効果・内容
	メニュー	検索・バックアップやシステム設定など各種設定 設定画面へ移行できます。
 ADMIN	ユーザーID	現在ログインしているユーザーIDを表示します。
	画面制御	状態バーとタイムラインの両方が常時表示 されるように画面レイアウトを変更します。
		分割モードを選択します。
		自動切替えまたは特殊分割モードに切替えます。

ステータスバーアイコン

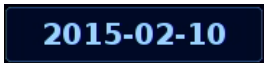
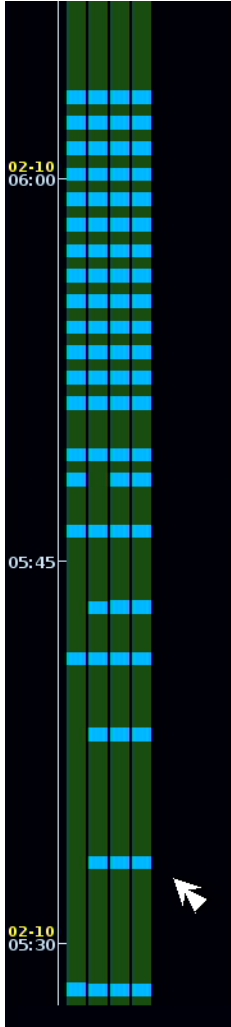
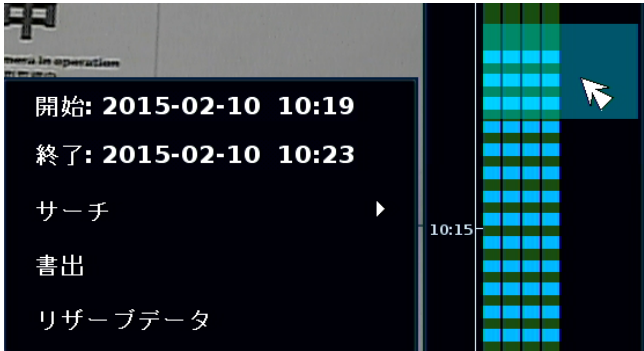


アイコン	アイコン名	効果・内容
	画面制御	カメラタイトルと録画モードアイコンの表示・非表示を切替えます。
	PTZ制御	PTZ画面に移動します。 PTZカメラまたはUTC機能によるコントロールができます。 →詳細は、「3.1.7 PTZ設定 (p.3-18)」をご覧ください。
	ズーム	デジタルズーム画面に移動します。 →詳細は、「2.5 映像を拡大表示する (p.2-9)」をご覧ください。
	ログ	最新の録画イベントのログを表示します。
	オーディオCH 選択ボタン	音声入力しているCHを選択して、ライブ音声を聞くことができます。
	手動録画	手動(パニック)録画を開始します。 クリックすることで、緊急録画の開始・終了を切替えます。
	アラーム インジケータ	イベントが発生すると通知されます。 クリックすると発生したイベント情報を確認できます。
	ネットワーク 接続状況	外部PCまたはモバイル端末によるネットワーク接続が行われているかを確認します。 クリックするとネットワーク接続状況を確認できます。
	ディスク容量	ディスク容量の情報を表示します。 上書き中は「OW」と表示されます。 クリックするとディスク状態の詳細を確認できます。
	日時表示	現在の日付と時刻を表示します。

2.2 タイムラインの見方

画面の右側にマウスカーソルを移動すると、タイムラインが表示されます。

タイムラインでは、簡易的に記録映像の検索やバックアップを行うことができます。

タイムラインアイコン

アイコン	アイコン名	効果・内容
	タイムライン日付	現在のタイムラインの日付を表示します。 クリックするとカレンダーが表示され、タイムラインの日付を選択できます。
	タイムラインバー	録画データを時間で表示します。 録画モードごとに色分けされて表示されます。 緑: 連続録画 / 赤: アラーム録画 青: モーション録画 / 黄: 手動(パニック)録画 <ul style="list-style-type: none"> ・ タイムラインをダブルクリックすると、その時刻の再生画面に移動します。 ・ タイムライン上でドラッグ & ドロップで範囲を選択して右クリックすると、メニューが表示されます。  <p><u>サーチ(イベントサーチ)</u> : 選択された範囲の中で、イベントサーチを行います。</p> <p><u>書出し</u> : 選択範囲の映像をバックアップします。</p> <p><u>リザーブデータ</u> : 選択範囲の映像をリザーブデータに追加します</p>
	タイムラインの拡大/縮小	タイムラインをズームイン/ズームアウトします。
	タイムライン上下	タイムラインを上下にスクロールします。 マウスホイールでも同様の操作が可能です。

2.3 クイックメニュー

ライブ画面の各 CH の上でマウスを右クリックすると、クイックメニューが表示されます。
クイックメニューより、各 CH のデジタルズームや静止画を取得することができます。



クイックメニューの項目

項目	効果・内容
CH番号	選択中のカメラタイトルが表示されます。
再生	時刻を選択し、その時点からの映像を再生します。 →再生画面での操作については、 「4章 検索・再生画面での操作・見方 (p.4-1)」をご覧ください。
ズーム	選択したチャンネルのデジタルズーム画面に移動します。 →詳細は、「2.5 映像を拡大表示する (p.2-9)」をご覧ください。
静止画	ライブ映像のスナップショットをUSBメモリーに保存します。 →詳細は、「4.4.2 スナップショットを保存する (p.4-10)」をご覧ください。
チャンネル位置 変更	選択したCHと表示位置を交換します。 →詳細は、「2.3.1 CH表示位置を変更する (p.2-6)」をご覧ください。
目盛	ご使用のモニターによって表示エリアがずれた場合に微調整できます。 →詳細は、「2.3.2 表示ずれを修正する (p.2-7)」をご覧ください。

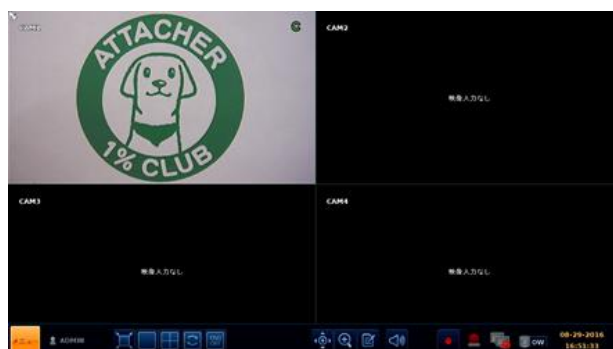
2.3.1 CH 表示位置を変更する

ライブ画面の CH 表示レイアウトを自由に変更できます。

1. 変更したい CH の表示エリア上で右クリックし、「チャンネル位置変更」を選択します。
2. 変更先の CH を選択し、クリックします。



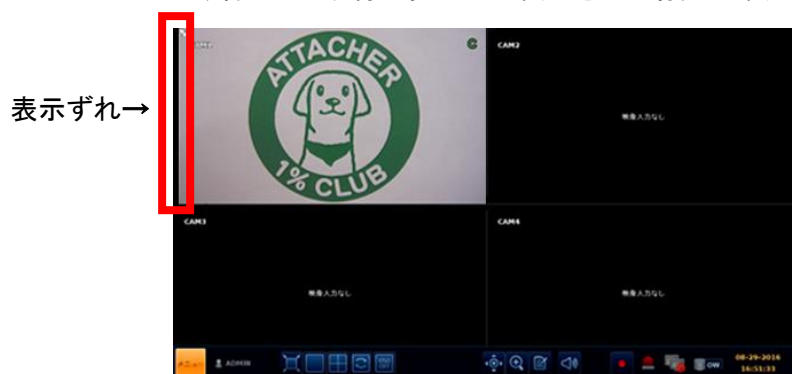
3. 選択した CH 同士が入れ替わります。



CH の表示エリアをドラッグ & ドロップすることでも同様に表示レイアウトを変更できます。

2.3.2 表示ずれを修正する

お使いのモニターによっては、各 CH の映像が見切れて表示される場合があります。



下記の手順で、表示ずれの修正を行ってください。

1. 見切れが発生した CH 上で右クリックし、「目盛」をクリックします。

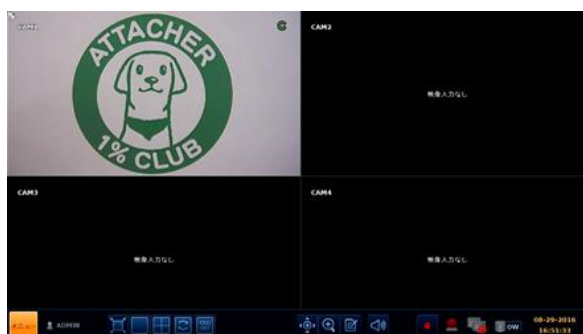


2. 修正画面に切り替わり、上下左右のボタンを押してカメラ映像が正しく見えるように位置を修正します。



ホームアイコンをクリックすると、もとの位置に戻ります。

3. 修正後は、「保存して終了」をクリックして完了です。



2.4 分割表示数を変更する

画面分割モードの切り替えや、シーケンス表示の設定を行うことができます。

2.4.1 分割モードを切替える

ステータス画面のアイコンからそれぞれの分割モードをクリックすると、画面表示が切替わります。

リモコン操作の場合は、「DISPLAY」ボタンを押します。

※ 押す度に、画面表示が切り替わります。



- KB-AHR04C は、1 画面または 4 分割画面が選択できます。
- KB-AHR08C は、1 画面または 4 / 6 / 8 / 9 分割画面が選択できます。
- KB-AHR16C は、1 画面または 4 / 6 / 8 / 9 / 16 分割画面が選択できます。

2.4.2 シーケンス表示を有効にする

ステータス画面のアイコンから「自動切替え」をクリックすると、シーケンス表示モードになります。

リモコン操作の場合は、「SEQ」ボタンを押します。

※押す度に、シーケンス表示機能を ON / OFF します。




シーケンス表示では表示パターンや切替えまでの時間を自由に設定できます。

詳細は、「3.2.2 画面切替え時間を設定する(p.3-22)」および「3.2.4 シーケンス表示パターンを編集する(p.3-26)」をご覧ください。

2.5 映像を拡大表示する

ライブ画面にて、拡大表示したい箇所のデジタルズームを行うことができます。

1. ライブ画面にて、以下のいずれかの手順でデジタルズーム画面に移行します。

- ステータスバーよりズームアイコン  をクリックします。
- 各 CH 上で右クリックし、「ズーム」をクリックします。
- リモコン操作の場合は、「ZOOM」ボタンを押します。

※デジタルズーム画面に移行します。







全体画面

黄色の枠をドラッグ&ドロップすることで、表示箇所を移動できます。

マウスホイールのスクロールで、ズームイン / ズームアウトを行います。

2. デジタルズーム画面では、以下のように操作を行います。

アイコン	説明
	デジタルズームを行うCHを選択します。 リモコンの場合 … 各CHボタン
	ズームアウトを行います。 リモコンの場合 … 巻戻しボタン
	ズームインを行います。 リモコンの場合 … 早送りボタン
	ライブ画面に戻ります。 リモコンの場合 … 〈 EXIT 〉ボタン


2.6 その他のライブ機能

その他、さまざまな機能をライブ画面のステータスバーより操作できます。

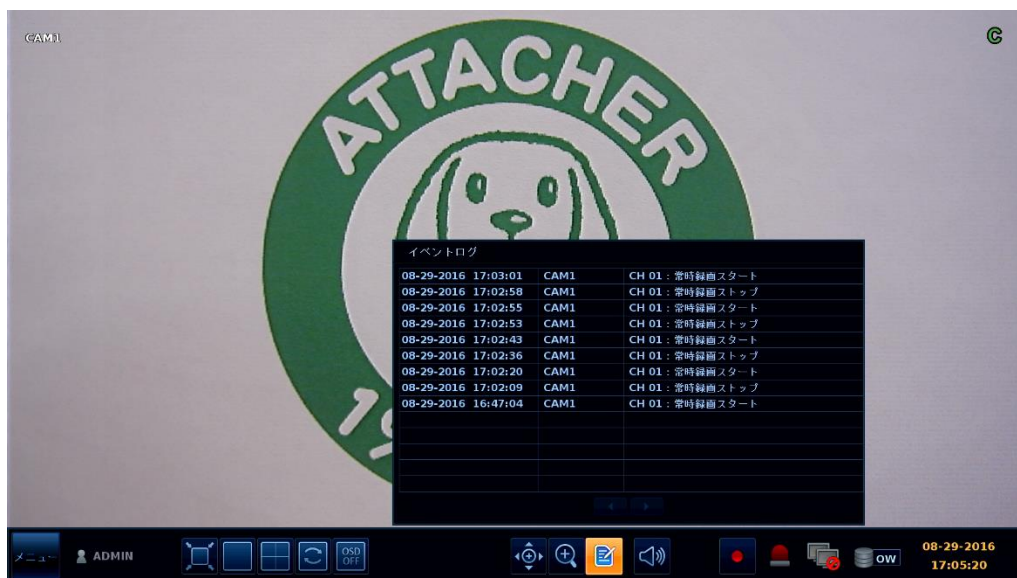
2.6.1 イベントログを表示する

以下の手順で、発生したイベントのログを確認することができます。



1. ステータスバーのイベントログアイコン  をクリックし、イベントログウィンドウを表示します。
リモコン操作の場合は、「LOG」ボタンを押します。

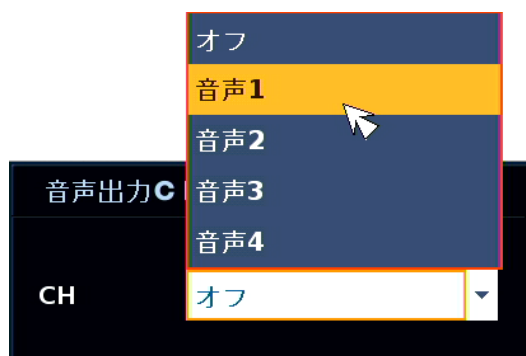
2. ログの項目をダブルクリックすると、映像が再生されます。



2.6.2 音声出力 CH を切替える

ライブ画面にて、どの CH の音声を出力するかを選択します。

ステータスバーより音声アイコン  をクリックし、出力したい CH を選択します。

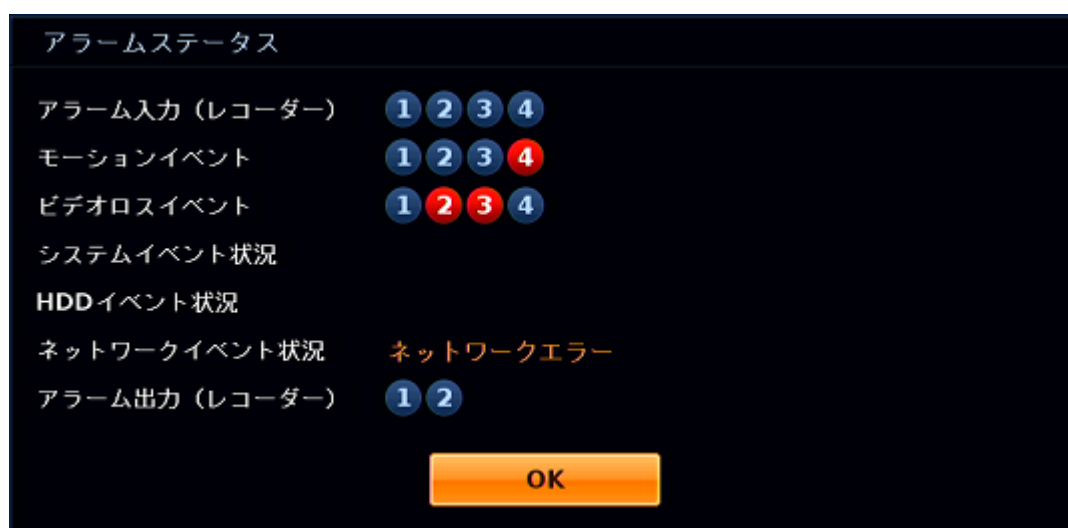


再度アイコンをクリックすると、ウィンドウを閉じます。

2.6.3 アラーム状態を確認する

発生したイベント情報を確認することができます。

ステータスバーより、アラームアイコン  をクリックすると、アラームステータスが表示されます。
イベント発生中の CH は、赤色で表示されます。



「OK」をクリックすると、ウィンドウを閉じます。

2.6.4 ネットワーク接続状態を確認する

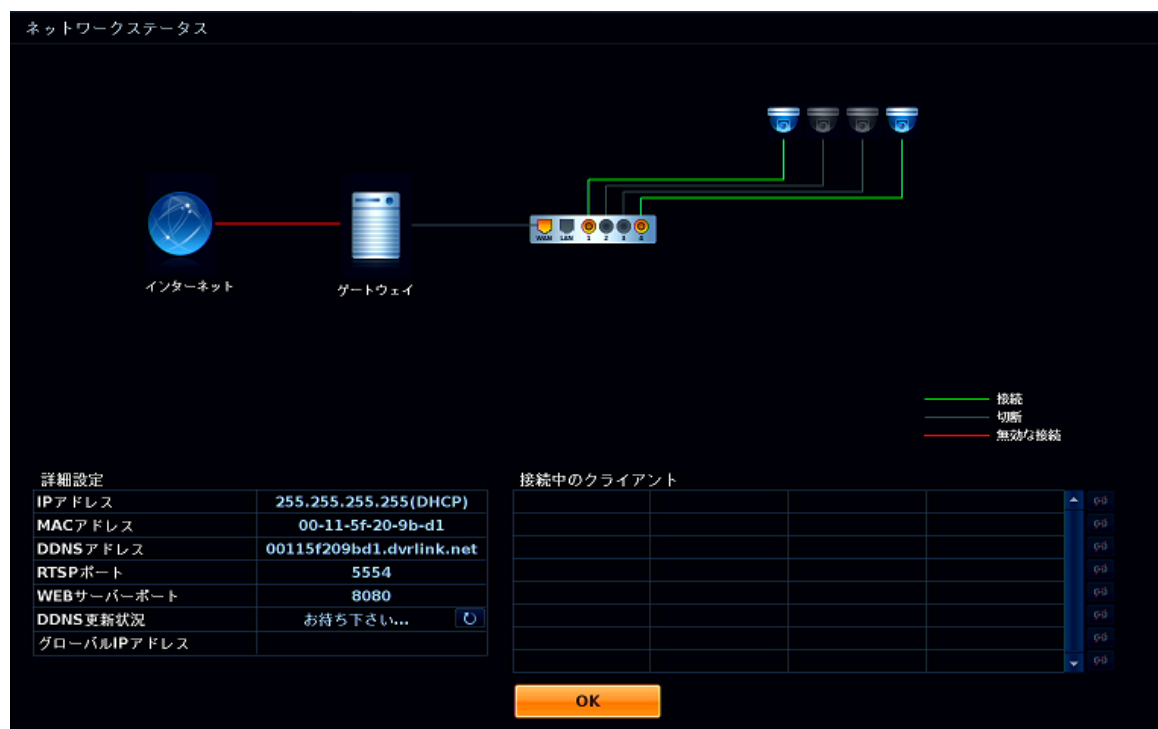
機器のネットワーク接続状態を確認することができます。

ステータスバーよりネットワークステータスアイコン



をクリックすると、ネットワークステータスが

表示されます。



緑線 ... 対象と接続中(通信中)です。

緑点線 ... 対象と接続・通信準備中です。

灰線 ... 接続・通信していません。

赤線 ... 接続・通信していません。

「OK」をクリックすると、ウィンドウを閉じます。

2.6.5 ディスク状態を確認する

現在のストレージ容量などを確認することができます。

ステータスバーより HDD ステータスアイコン



をクリックすると、HDD ステータスが

表示されます。

HDD ステータス

内蔵ディスク

外部記憶装置

	開始時刻	終了時刻	状況	容量	モデル	HDDステータス
すべて	2019-01-09 16:33:33	2019-01-10 13:55:57	-	-	-	-
ディスク1	-	-	使用中	1.8 TB	TOSHIBA MD03	正常
ディスク2	2019-01-09 16:33:33	2019-01-10 13:55:57	使用中	1.8 TB	TOSHIBA DT01	正常
ディスク3	-	-	使用中	1.8 TB	TOSHIBA MD03	正常
ディスク4	-	-	使用中	1.8 TB	TOSHIBA MD03	正常
ディスク5	-	-	使用中	1.8 TB	TOSHIBA MD03	正常

OK

「OK」をクリックすると、ウィンドウを閉じます。

3章 各種設定

本機をお使いいただく上でのさまざまな設定を行います。

以下の手順で、システム設定画面に移行できます。

マウス



リモコン1



リモコン2






それぞれのメニューを選択します。



【 設定を終えるとき 】

設定値を保存するときは、画面下の〈 適用 〉を選択してください。

画面下のアイコン	内容
	クリックすると設定値を破棄し、変更前の状態に戻ります。
	クリックすると変更した設定値を更新し、保存します。
	クリックすると設定メニューを閉じてライブ画面に戻ります。

3.1 カメラ

3.1.1 カメラタイプ(AHD カメラ)を登録する

➤ メニュー > システム設定 > カメラ > カメラタイプ設定



本機の各 CH に入力するカメラタイプを設定します。

カメラタイプによって登録手順が異なりますのでご注意ください。

IP カメラの登録手順については、「3.1.2 カメラタイプ(IP カメラ)を登録する(p.3-5)」をご覧ください。

<< 注意 >>

AHD カメラを登録した CH には、IP カメラを登録・運用することはできませんのでご注意ください。

以下の手順で AHD カメラを設定・登録してください。

1. 接続したい CH の各項目を下記のように選択します。

- カメラタイプ … ANALOG
- モード … 自動
- 信号タイプ … AHD ※モードが自動の場合は変更できません。
- 解像度 … 2MP ※本項目は変更できません。

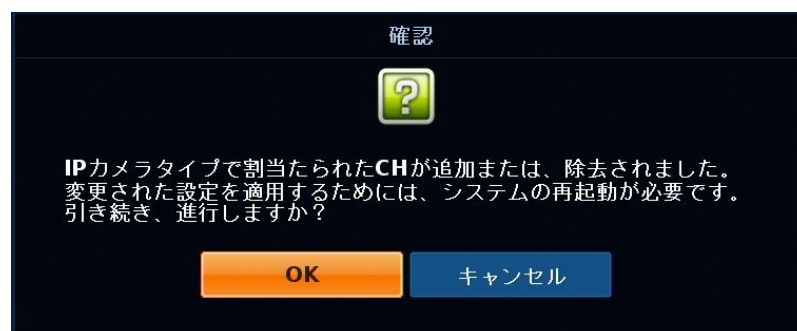
CH	カメラタイプ	モード	信号タイプ	解像度
1 CAM1	ANALOG	自動	AHD	2MP

カメラタイプ(AHD カメラ)を登録する(つづき)

2. 設定後、< 適用 >をクリックします。

カメラタイプを変更した場合、本機の再起動が必要になります。

表示された確認画面で< OK >をクリックすると、自動的に再起動を行います。



3. 再起動後、登録した CH に AHD カメラからの映像を表示します。



3.1.2 カメラタイプ(IP カメラ)を登録する

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ カメラ ＞ カメラタイプ設定

本機の各 CH に入力するカメラタイプを設定します。

カメラタイプによって登録手順が異なりますのでご注意ください。

AHD カメラの登録手順については、「3.1.1 カメラタイプ(AHD カメラ)を登録する(p.3-3)」をご覧ください。

<< 注意 >>

IP カメラを登録した CH には、AHD カメラは登録・運用できませんのでご注意ください。

以下の手順で IP カメラを設定・登録してください。

1. あらかじめ本機のネットワーク情報を設定します。

設定方法については、「3.5.1 ネットワークアドレスを設定する(p.3-42)」をご覧ください。

※初回起動時の設定にて既にネットワーク設定が済んでいる場合は、次手順に進んでください。

2. 接続する IP カメラのアドレスを設定します。

IP カメラのアドレス変更方法については、IP カメラの取扱説明書をご覧ください。

カメラタイプ(IP カメラ)を登録する(つづき)

3. 接続したい CH の各項目を下記のように選択します。

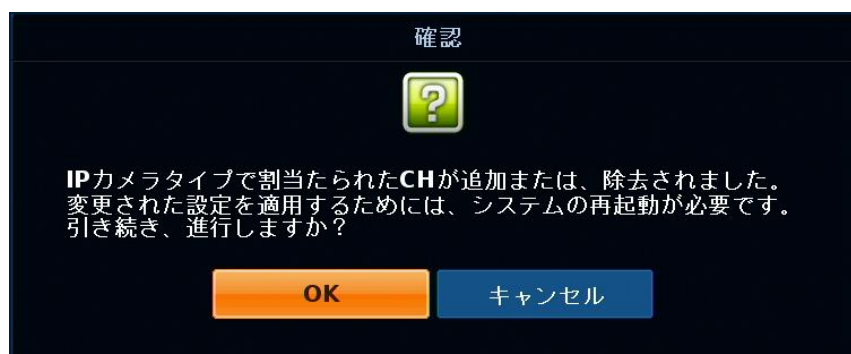
- カメラタイプ … IP カメラ
- モード … 変更できません。
- 信号タイプ … 変更できません。
- 解像度 … 変更できません。

CH	カメラタイプ	モード	信号タイプ	解像度
1 CAM1	IPカメラ	-	-	-

4. 設定後、< 適用 >をクリックします。

カメラタイプを変更した場合、本機の再起動が必要になります。

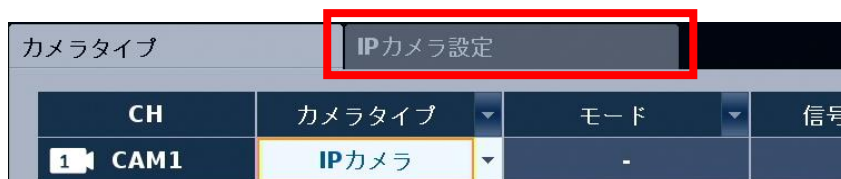
表示された確認画面で< OK >をクリックすると、自動的に再起動を行います。



5. 再起動完了後、再度 メニュー > システム設定 > カメラ > カメラタイプ設定 の順にクリックします。

カメラタイプ(IP カメラ)を登録する(つづき)

6. 設定した CH のカメラタイプが < IP カメラ > であることを確認し、< IP カメラ設定 > タブをクリックします。



< カメラリスト > に登録予定の IP カメラアドレスが表示されていることを確認してください。
表示されない場合は、下記をご確認ください。

- < サーチ > をクリックし、IP カメラの再検索を行う。
- < 追加 > をクリックし、登録予定の IP カメラのアドレスを直接入力する。
- IP カメラと本機が正しく接続できているか。
- IP カメラのアドレスは固定 IP アドレスで正しく設定できているか。

7. < CH 割り当て > 欄に任意の CH を選択します。

< カメラタイプ > 欄で < IP カメラ > と設定した CH が選択対象となります。



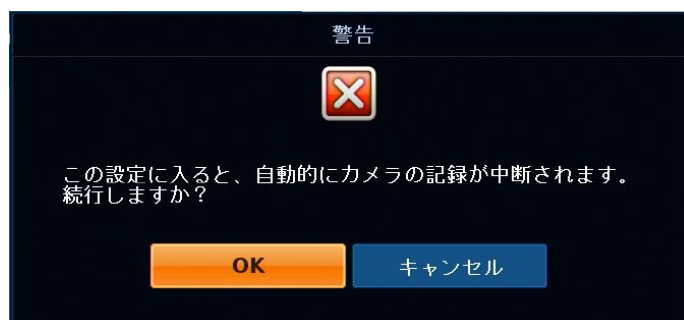
< 割り当てない > を選択した場合は、ライブ映像には表示されません。

カメラタイプ(IP カメラ)を登録する(つづき)



8. 設定アイコン をクリックし、カメラ登録画面を開きます。

※カメラ登録画面中は、自動的にカメラの記録が中断します。下記メッセージが表示されたら、〈OK〉をクリックして、先に進んでください。



IPカメラの設定

設定

カメラ名

IPv4アドレス: 192.168.200.30 [IP設定]

HTTPポート: 80 [ポート設定]

RTSPポート: 0 [ポート設定]

ユーザーID

パスワード [ログイン]

プレビュー

接続テスト [テスト]

診断ツール

IPカメラリセット [リセット]

ネットワークテ... [PINGテスト]

カメラ情報

MACアドレス :

F/Wバージョン :

閉じる

9. < ユーザーID >と< パスワード >欄をダブルクリックし、IP カメラのログイン用 ID とパスワードを入力します。

IP カメラ用のログイン ID とパスワードについては、IP カメラの取扱説明書をご覧ください。

設定	
カメラ名	
IPv4アドレス	192.168.200.30
HTTPポート	80
RTSPポート	0
ユーザーID	admin
パスワード	*****

10. 入力後、< ログイン >をクリックし、< 成功 >と表示されたら< 閉じる >をクリックします。

設定	
カメラ名	LC-N620A
IPv4アドレス	192.168.200.30
HTTPポート	80
RTSPポート	554
ユーザーID	admin
パスワード	*****



カメラリスト			
モデル	アドレス	状況	CH割り当て
LC-N620A	192.168.200.30	OK	CAM 1

登録が成功すると、< 状況 >欄に< OK >と表示されます。

ログインに失敗した場合は、カメラのユーザーID やパスワードに間違いがないかご確認ください。

カメラタイプ(IP カメラ)を登録する(つづき)

11. < 適用 >をクリックし、ライブ画面まで戻ります。

適用後、登録した CH に IP カメラからの映像を表示します。

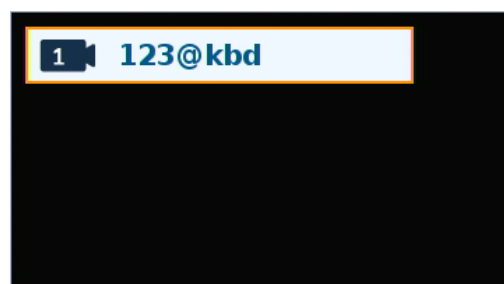


3.1.3 カメラタイトルを変更する

➤ メニュー › システム設定 › カメラ › カメラタイトル



1. 各 CH 左上のカメラ名をダブルクリックします。
2. 表示されるキーボードでカメラタイトルを入力し、< OK >をクリックします。
カメラタイトル文字は、最大 16 文字(英数字、記号)まで設定できます。
※記号は、() @ # _ . が使用可能です。



<< Web ブラウザ上での注意 >>

Web ブラウザからカメラタイトルを設定する場合も、最大 16 文字(英数字、記号のみ)内で設定してください。

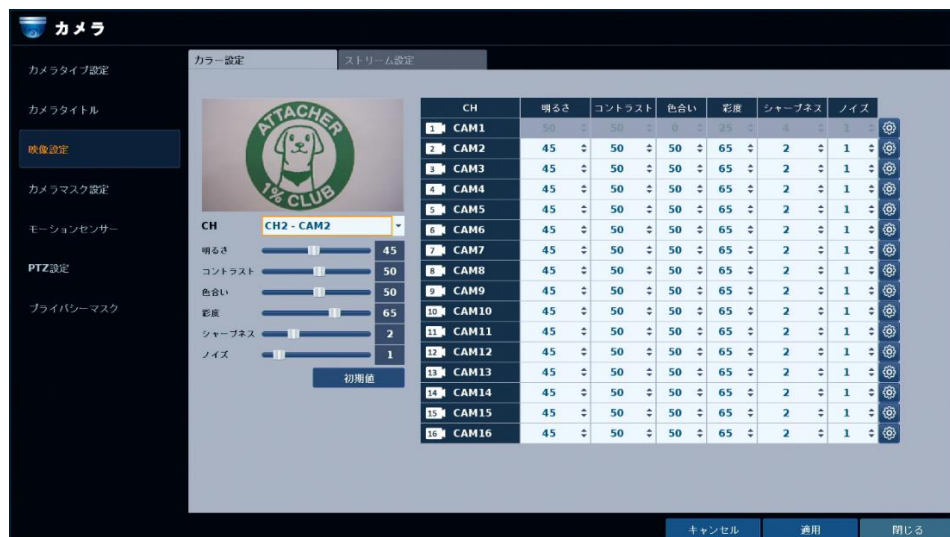
ひらがなや特殊記号を使用すると、文字化けの原因となります。

3. 設定後は、画面右下の< 適用 >をクリックします。
適用後、新しく設定したカメラタイトルが表示されます。

3.1.4 カメラ映像を調整する

【 カラー設定 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ カメラ ＞ 映像設定 ＞ カラー設定



各 CH のカメラ映像の明るさ・コントラストなどの設定やレンズのフォーカス調整を行うことができます。
※ご使用のカメラによっては、調整できない項目があります。

カラー設定メニューの項目

項目	説明
CH	設定を行うカメラ CH を選択します。
明るさ	映像の明るさを調節します。(設定範囲 : 0 ~ 100)
コントラスト	画面のコントラストを調節します。(設定範囲 : 0 ~ 100)
色合い	画面の色相を調節します。(設定範囲 : 0 ~ 100)
彩度	画面の鮮やかさを調節します。(設定範囲 : 0 ~ 100)
シャープネス	画面のシャープネスを調節します。(設定範囲 : 0 ~ 8)
ノイズ	ノイズ除去レベルを調整します。(設定範囲 : 0 ~ 9)
プレビュー	クリックすると大きな画面で映像を表示しながらカラー調整ができます。
初期値	設定した数値を全て、初期値に戻します。

カメラ映像を調整する(つづき)

【 ストリーム設定 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ カメラ ＞ 映像設定 ＞ ストリーム設定



IP カメラを登録している CH に対して表示解像度やフレームレートを設定できます。

※お使いのカメラによっては、設定できない項目があります。

ストリーム設定メニューの項目

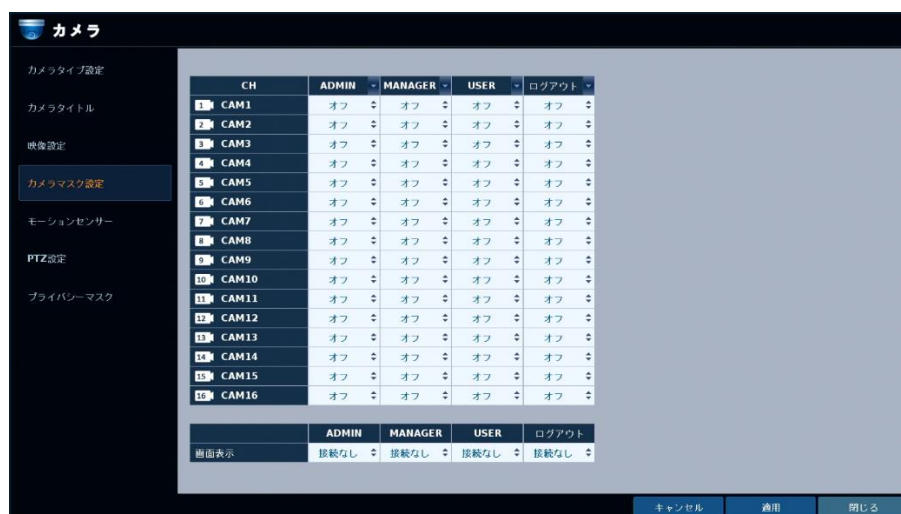
項目	説明
CH	設定を行うカメラ CH を選択します。
コーデック	圧縮方式を設定します。
解像度	ライブ映像で表示する出力解像度を設定します。
最大 FPS	ライブ映像で表示するフレームレートを設定します。
ビットレート制御	ビットレート制御モードを設定します。
最大ビットレート(kbps)	カメラの最大ビットレートを設定します。 ビットレート値については、ご使用のカメラに合わせて設定してください。
最小ビットレート(kbps)	カメラの最小ビットレートを設定します。 ビットレート値については、ご使用のカメラに合わせて設定してください。

ストリーム設定は IP カメラが登録・接続されている CH に対してのみ有効です。

AHD カメラが登録・接続中の CH ではストリーム設定は使用できません。

3.1.5 ライブ映像を非表示にする

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 カメラ 〉 カメラマスク設定



特定のユーザーグループに対して各 CH のライブ映像を非表示にすることができます。

カメラマスク設定メニューの項目

項目	説明
ADMIN	〈 オン 〉にした CH は、ADMIN グループのユーザーは映像を見ることはできません。
MANAGER	〈 オン 〉にした CH は、MANAGER グループのユーザーは映像を見ることはできません。
USER	〈 オン 〉にした CH は、USER グループのユーザーは映像を見ることはできません。
ログアウト	〈 オン 〉にした CH は、本機がログアウト状態の時は映像を見ることはできません。
画面表示	マスク中の CH のライブ画面上での表記を設定します。 〈 接続なし 〉の場合は、「 接続なし 」と表示します。 〈 マスク 〉の場合は、「 マスク 」と表示します。

※ 各権限の欄をクリックすると、全ての CH を同じ設定にすることができます。

3.1.6 モーション感度・領域を設定する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 カメラ 〉 モーションセンサー



CH ごとにモーション(動き)の感度や検知領域を設定できます。

モーションセンサー設定メニューの項目

項目	説明
有効	＜ オン ＞にすると、モーション検知機能が有効になります。
表示	＜ オン ＞にすると、モーション検知中にライブ画面上にアイコンを表示します。
感度	モーションを検知する感度を設定します。 ダブルクリックすると、感度設定画面が表示されます。 →詳細は、「感度設定(p.3-16)」をご覧ください。
領域編集	モーション検知をおこなう領域を設定します。 クリックすると、領域編集画面が表示されます。 →詳細は、「領域編集設定(p.3-17)」をご覧ください。

【 感度設定 】

デイ / ナイトそれぞれで、動きを検知する感度の設定ができます。

感度

CH 1. CAM1

デイ 09:00 ~ 18:00

感度

レベル

デイ 15

ナイト 15

OK キャンセル

感度設定メニューの項目

項目	説明
CH	感度設定を行うチャンネルを選択します。
デイ	デイ(昼間)と定義する時間帯を設定します。 初期値は、「 9:00 ~ 18:00 」
感度 / レベル	デイ(昼間)とナイト(夜間)それぞれのモーション検知感度を設定します。 数値が大きい程、感度がよくなります。(1:低感度 / 15:中感度 / 30:高感度) 初期値は、「 デイ(昼間):15 / ナイト(夜間):15 」

※ 設定値を保存する場合は、メニュー画面の「OK」をクリックしてください。

【 領域編集設定 】

モーションを検知するエリアを自由に設定することができます。

1. 画面上でドラッグ&ドロップ操作して、モーション検知エリアを選択します。
2. 色付きブロックが、モーション検知が有効となるエリアです。
※ 動きを検知したエリアは、青色で表示します。
3. 画面上で右クリックするとクイックメニューを表示します。



クイックメニューの項目

項目	説明
CH	モーション領域設定をおこなうチャンネルを選択します。
全て選択	画面の全領域をモーション有効にします。 有効範囲は、オレンジ色の枠で表示されます。
全て解除	画面の全領域をモーション無効にします。
感度	感度設定画面を表示します。 →設定画面については、「感度設定 (p.3-16)」をご覧ください。
保存	現在の領域設定を保存します。
保存して終了	現在の領域設定を保存し、前画面へ戻ります。
キャンセル	現在の領域設定を破棄し、前画面へ戻ります。

3.1.7 PTZ 設定

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 カメラ 〉 PTZ 設定



本機に RS-485 制御の PTZ カメラを接続した場合、以下の設定を行います。

※ PTZ カメラ側の設定値と同じになるように設定してください。

PTZ 設定メニューの項目

項目	説明
RS485	RS485 にて制御を行う場合は、チェックを入れてください。
アドレス	PTZ カメラの ID を設定します。(0 ~ 255)
プロトコル	PTZ カメラのプロトコル(カメラモデル名)を選択します。 ・AHD カメラの OSD 制御の場合は、「COAXTIRON」を選択してください。 ・IP カメラの ONVIF 制御の場合は、「COAXTIRON」を選択してください。
＜＜ 注意 ＞＞ お使いのカメラによっては制御できない項目がある場合があります。	
ボーレート	PTZ カメラのボーレート(通信速度)を選択します。 (2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200)

3.1.8 プライバシーマスクを表示する

➤ メニュー › システム設定 › カメラ › プライバシーマスク



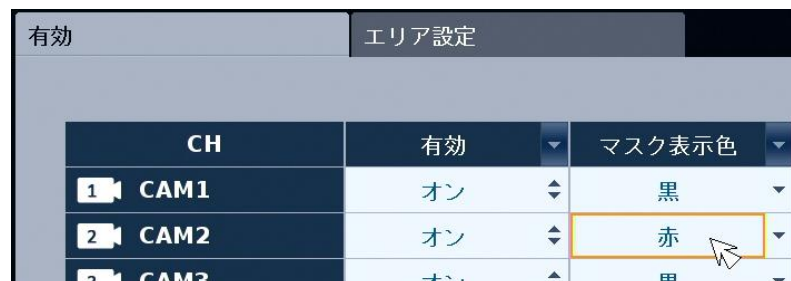
プライバシー保護のため、各 CH のカメラ映像の一部にマスク(目隠し)をかけることができます。
下記手順にそって、マスク機能を設定してください。

1. マスク機能を有効にしたい CH の「有効」欄を「オン」に設定します。



2. 「マスク表示色」欄で任意の色を選択し設定します。

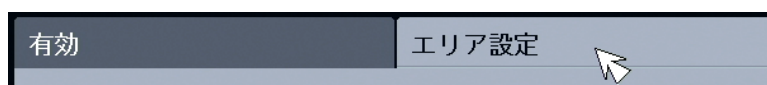
例：「赤」の場合は、マスクエリアが赤色で表示されます。



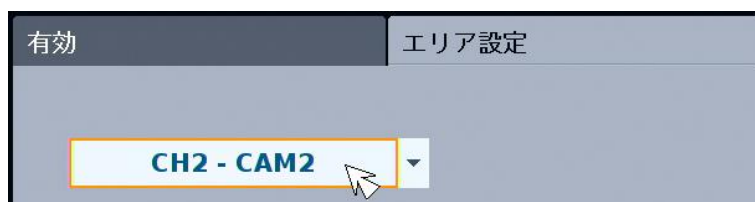
3. 画面右下「適用」をクリックして、設定を保存します。

プライバシーマスクを表示する(つづき)

4. < エリア設定 >タブをクリックします。

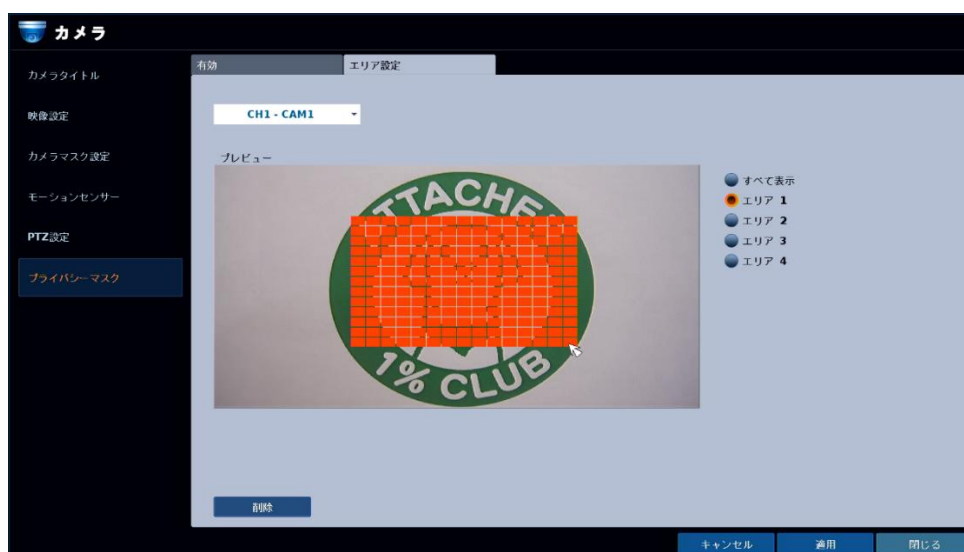


5. 設定するカメラ CH を選択します。



6. 画面右< エリア 1～4 >から選択し、プレビュー画面上にてドラッグドロップ操作でマスクエリアを設定します。

※マスクエリアは、色付きブロックで表示されます。



設定したエリアを削除する場合は、< エリア 1～4 >から選択し、< 削除 >をクリックしてください。

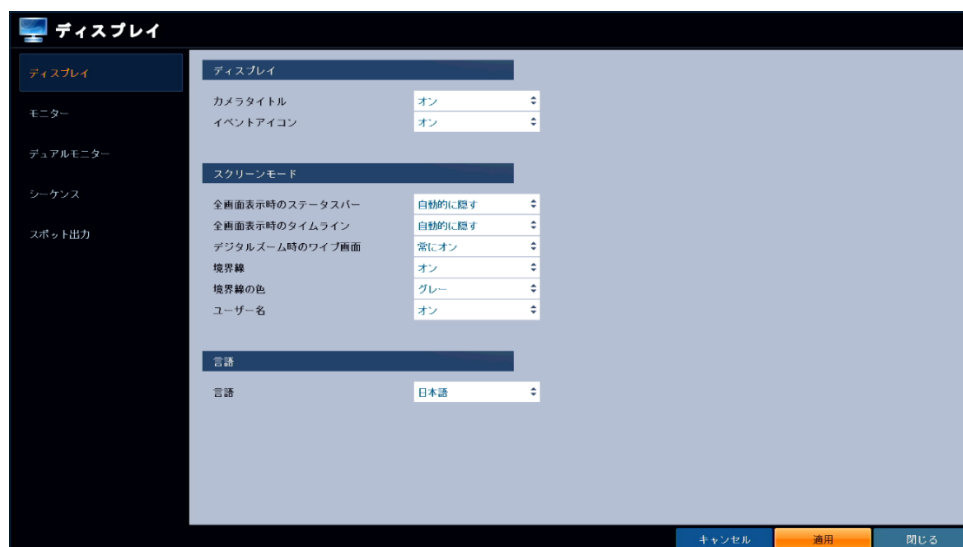
7. 設定が完了したら、< 適用 >をクリックして完了です。
適用後、ライブ画面上にマスクエリアが表示されます。



3.2 ディスプレイ

3.2.1 ライブ画面の OSD 表示を編集する

➤ メニュー › システム設定 › ディスプレイ › ディスプレイ



ライブ画面上のアイコン表示や言語設定の変更ができます。

ディスプレイ設定メニューの項目

項目	説明
カメラタイトル	カメラタイトルの表示の有効(オン)/無効(オフ)を選択します。
イベントアイコン	イベントアイコンの表示の有効(オン)/無効(オフ)を選択します。
全画面表示時の ステータスバー	ライブ画面でステータスバーを表示させる時間を設定します。 (自動的に隠す/常にオン/ 5 秒/ 10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/1 分)
全画面表示時の タイムライン	ライブ画面でタイムラインを表示させる時間を設定します。 (自動的に隠す/常にオン/ 常にオフ)
デジタルズーム時の ワイプ画面	デジタルズーム画面の右下に表示されるウィンドウ表示を自動的に隠すか、 常に表示するかを設定します。(常にオン/1 秒/3 秒/5 秒)
境界線	各 CH 間の境界線の表示(オン)/非表示(オフ)を選択します。
境界線の色	各 CH 間の境界線の色を選択します。(グレー/黄/青/緑/赤/白)
ユーザー名	ログイン中のユーザー名の表示の有効(オン)/無効(オフ)を選択します。
言語	システムの表示言語を選択します。

3.2.2 画面切替え時間を設定する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ディスプレイ 〉 モニター



メイン/スポットモニターの画面切替え時間を設定することができます。

モニター設定メニューの項目

項目	説明
シーケンス切替時間	メインモニター側の画面切替え時間を設定します。 (3 秒/5 秒/ 10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒) メインモニターでの表示パターンの設定については、 「3.2.4 シーケンス表示パターンを編集する(p.3-26)」をご覧ください。
スポット画面切替時間	スポットモニター側の画面切替え時間を設定します。 (3 秒/5 秒/ 10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒) スポットモニターでの表示パターンの設定については、 「3.2.3 HDMI/VGA モニターへの出力画面を編集する(p.3-23)」を ご覧ください。

3.2.3 HDMI/VGA モニターへの出力画面を編集する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ディスプレイ 〉 デュアルモニター



HDMI と VGA にて同時出力する際に、メイン・スポットモニターのどちらで表示するか設定できます。
また、スポットモニター側のライブ画面の表示パターンを設定できます。

デュアルモニター設定メニューの項目

項目	説明
表示モード	ディスプレイ複製 ：同じ操作画面を両モニターへ同時出力します。 どちらのモニターでも各種設定を行えます。 メインモニター＋SPOT ：メインとスポットモニターをそれぞれ割り当てて出力します。
画面タイプ	表示モードが「メインモニター＋SPOT」の場合に、メインまたはスポットモニターの割り当てを行います。 SPOT を選択したモニターには、ライブ画面のみが表示されます。 →詳細は、「スポット画面を編集するには(p.3-24)」をご覧ください。
モニター解像度	※「ディスプレイ複製」の場合は、どちらもメインモニターで固定されます。 お使いのモニターに合わせて最適な解像度を選択してください。 << 注意 >> 2560 * 1440 以上の出力解像度は、表示モードが「ディスプレイ複製」時のみ選択できます。

※ 表示モードを変更した場合、本機を再起動する必要があります。

「適用」をクリック後、通知画面が表示されます。画面に従って、本機の再起動を行ってください。

HDMI/VGA モニターへの出力画面を編集する(つづき)

【 スポット画面を編集するには 】

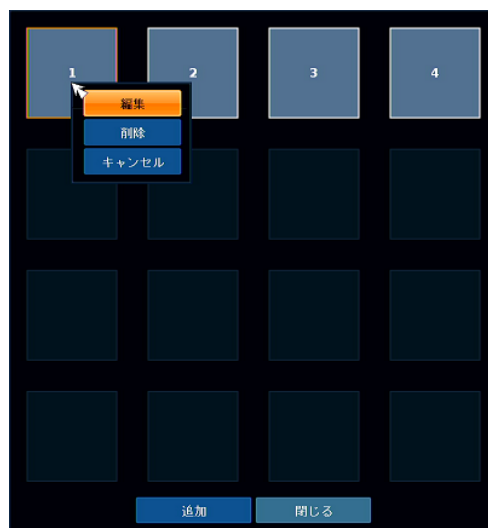
スポットモニターでは、ライブ画面のみが表示され、メインモニターとは別にライブ画面の表示パターンを設定できます。

以下の手順でスポットモニターの表示パターンを設定してください。

1. 画面タイプにてスポット出力するモニターを選択し、＜ 編集 ＞をクリックします。



2. 表示 CH 上で右クリックし、＜ 編集 ＞をクリックします。
新しく表示したい CH を追加する場合は、「追加」をクリックします。



表示項目が複数ある場合は、シーケンス表示となります。

スポット画面での画面切替え時間については、「3.2.2 画面切替え時間を設定する(p.3-22)」をご覧ください。

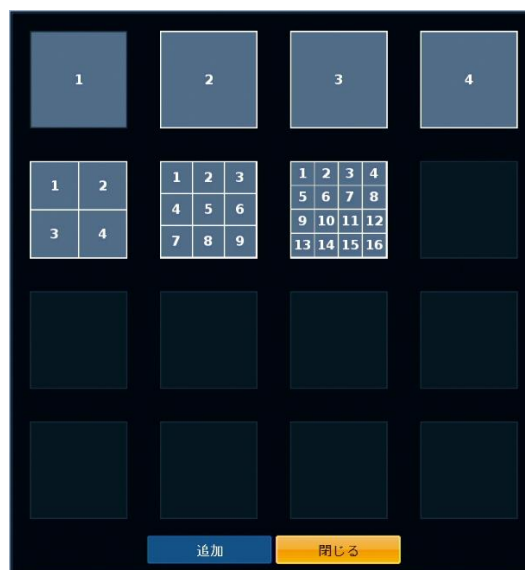
＜ 削除 ＞をクリックすると、選択中の CH を削除します。

HDMI/VGA モニターへの出力画面を編集する(つづき)

【 スポット画面を編集するには(つづき) 】

3. < ビューアーモード >の中から、分割表示数を選択し< 確認 >をクリックします。

分割画面の場合は、< 画面配置 >の左右矢印をクリックして CH のレイアウトを指定できます。



4. 設定完了後は、< 閉じる >をクリックし、< 適用 >をクリックします。

適用後、スポットモニター側に設定した表示パターンでライブ映像を出力します。

3.2.4 シーケンス表示パターンを編集する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ディスプレイ 〉 シーケンス



メインモニター側のライブ画面にてシーケンス表示を行う場合の表示パターンを設定できます。
※初期設定では、各 CH を順番に 1 画面表示する〈 DEFAULT 〉が登録されています。
なお DEFAULT は、削除できません。

シーケンス設定メニューの項目

項目	説明
有効	シーケンス表示機能の有効(オン) / 無効(オフ)を表示します。 有効にできるシーケンスパターンは 1 つのみです。 有効/無効の設定は、〈 編集 〉で行います。
リスト	シーケンスパターンを一覧で表示します。 パターン名の変更は、〈 編集 〉で行います。 リストを追加する場合は、画面右下の「追加」をクリックしてください。 →詳細は、「リストを追加するには(p.3-27)」をご覧ください。
編集	シーケンスのレイアウトやリストに表示する名前の変更などを行います。 →詳細は、「リストを追加するには(p.3-27)」をご覧ください。

シーケンス表示パターンを編集する(つづき)

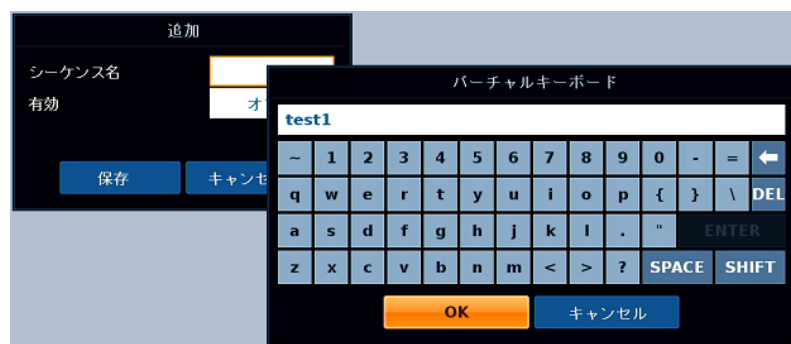
【 リストを追加するには 】

以下の手順で、新しくシーケンスパターンを追加することができます。

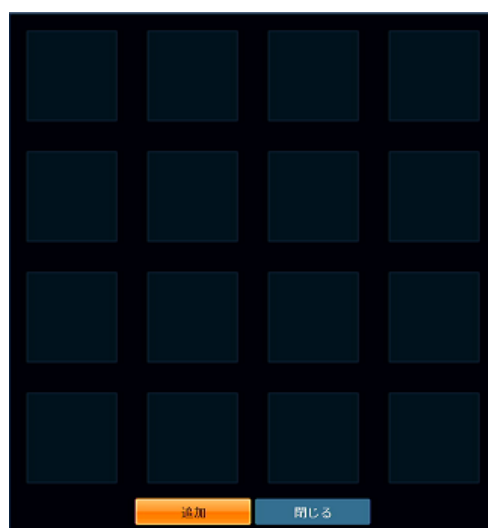
1. 画面右下の「追加」をクリックします。



2. 「シーケンス」欄をダブルクリックし、リスト上に表示する名前を設定します。
また、追加したシーケンスを使用する場合は、「有効」欄を「オン」に設定します。
設定後は、「保存」をクリックします。



3. 「保存」をクリックすると、新しく表示レイアウト画面が表示されます。
レイアウト画面表示後、「追加」をクリックします。



シーケンス表示パターンを編集する(つづき)

【 リストを追加するには(つづき) 】

4. 〈ビューアーモード〉の中から、表示する画面の分割モードを選択します。
分割画面の場合は、〈画面配置〉の左右の矢印をクリックして、CHのレイアウトを指定します。



5. 〈確認〉をクリックします。
シーケンスリスト一覧に追加されているのを確認します。

有効	リスト	
<input type="checkbox"/>	DEFAULT	編集
<input checked="" type="checkbox"/>	test1	編集

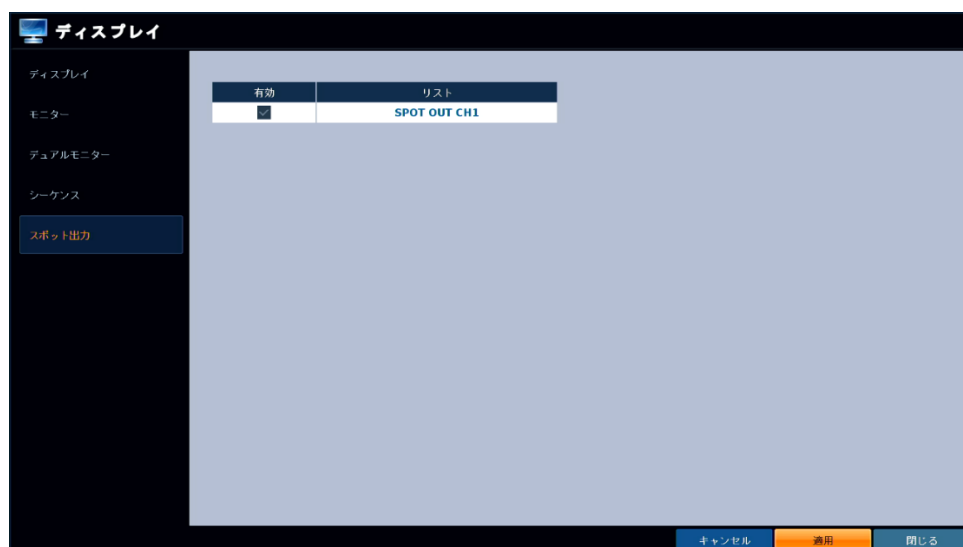
〈編集〉をクリックすると、編集画面が表示されます。
編集画面からシーケンスパターンの変更やリストからの削除を行うことができます。



6. 上記 3～5 を操作してシーケンスパターンを作成します。
※登録した画面レイアウトを選択すると、その画面レイアウトの設定変更および削除ができます。
7. 〈閉じる〉を選択し、作成を終了します。
適用後、メインモニター側でシーケンス表示した際に設定した表示パターンでライブ映像を出力します。

3.2.5 SPOT OUT モニターの表示パターンを設定する

➤ メニュー › システム設定 › ディスプレイ › スポット出力



本機背面にある SPOT 端子から出力する画面の表示パターンを設定できます。

SPOT OUT モニターには、ライブ映像のみが表示されます。

※SPOT OUT 端子の接続については、「1.5.3 SPOT OUT モニターを接続する(p.1-16)」をご覧ください。

【 SPOT OUT 画面を編集するには 】

1. リスト欄をダブルクリックし、編集画面を表示します。

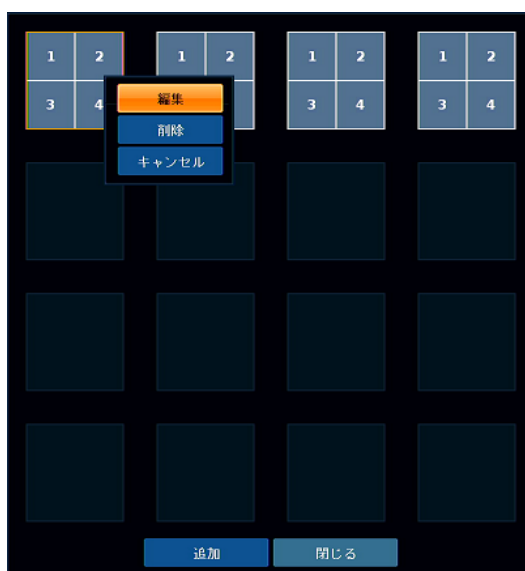


2. < スポット名 > 欄をダブルクリックすると、リストに表示する名前を変更します。
スポット出力機能を使用する場合は、< 有効 > 欄を< オン > に設定します。

SPOT OUT モニターの表示パターンを設定する(つづき)

【 SPOT OUT 画面を編集するには(つづき) 】

3. < 編集 >をクリックすると、表示レイアウト画面が表示されます。
新しく表示タイルを追加する場合は、< 追加 >をクリックします。
すでに登録されている表示タイルを編集する場合は、表示タイルを右クリックし
< 編集 >をクリックします。



※ 表示タイルを削除する場合は、表示タイルを右クリックし、< 削除 >をクリックします。

4. < ビューアーモード >の中から、表示する画面の分割モードを選択します。
分割画面の場合は、< 画面配置 >の左右の矢印をクリックして、CH のレイアウトを指定できます。

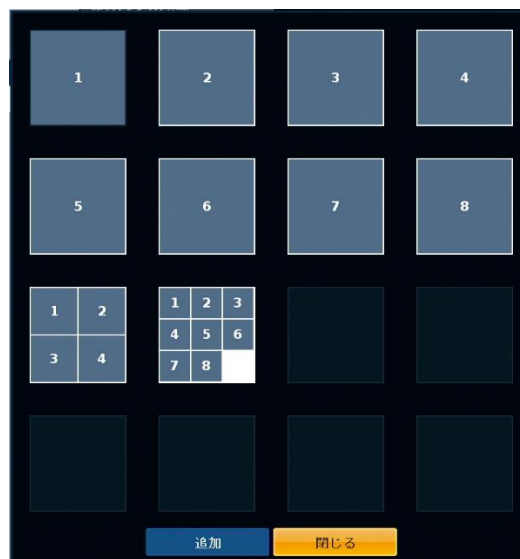


5. < 確認 >をクリックします。
上記 3～4 を繰り返して表示パターンを作成します。

SPOT OUT モニターの表示パターンを設定する(つづき)

【 SPOT OUT 画面を編集するには(つづき) 】

6. 表示パターンを設定後、〈 閉じる 〉をクリックし、〈 適用 〉をクリックします。
適用後、SPOT OUT モニター側に設定した表示パターンでライブ映像を出力します。



3.3 音声

3.3.1 スピーカーから音声を出力する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 音声 〉 音声



ライブ音声出力やネットワーク音声双方向通信を設定できます。

音声設定メニューの項目

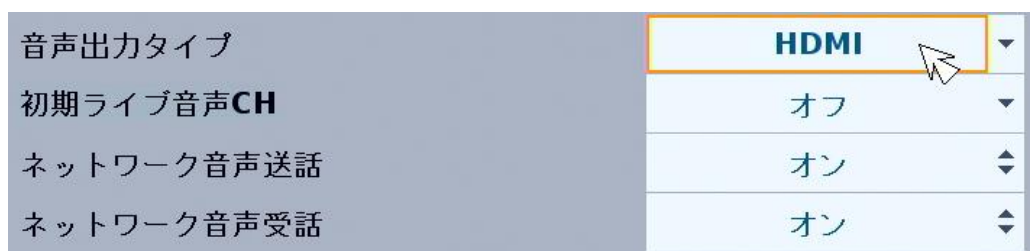
項目	説明
音声出力タイプ	音声出力を RCA 端子から出力するか、HDMI ケーブルに重畳して出力するかを設定します。(RCA/HDMI)
初期ライブ音声 CH	ライブ画面で出力する音声の初期 CH を指定します。 (オフ/音声 1～16)
ネットワーク音声送信	遠隔監視時、クライアント PC への音声送信の有効(オン)/無効(オフ)を設定します。
ネットワーク音声受信	遠隔監視時、クライアント PC からの音声受信の有効(オン)/無効(オフ)を設定します。

ライブ音声出力の手順については、次ページをご覧ください。

スピーカーから音声出力する(つづき)

【ライブ映像の音声出力するには】

1. 本機背面の< AUDIO IN/OUT >端子にマイク及びスピーカーを接続します。
本機とマイク/スピーカーの接続については、「1.5.7 音声機器を接続する(p.1-21)」をご覧ください。
2. メニュー > システム設定 > 音声 > 音声 の順にクリックし、< 音声出力タイプ >を選択します。



RCA ... RCA 端子ケーブルを使用してスピーカーから出力する場合

HDMI ... HDMI ケーブルに映像と重畳させて出力する場合

3. 出力タイプを選択後、< 適用 >をクリックします。
4. ライブ画面にて、< 音声出力 >アイコンをクリックし、出力したい音声 CH を選択します。

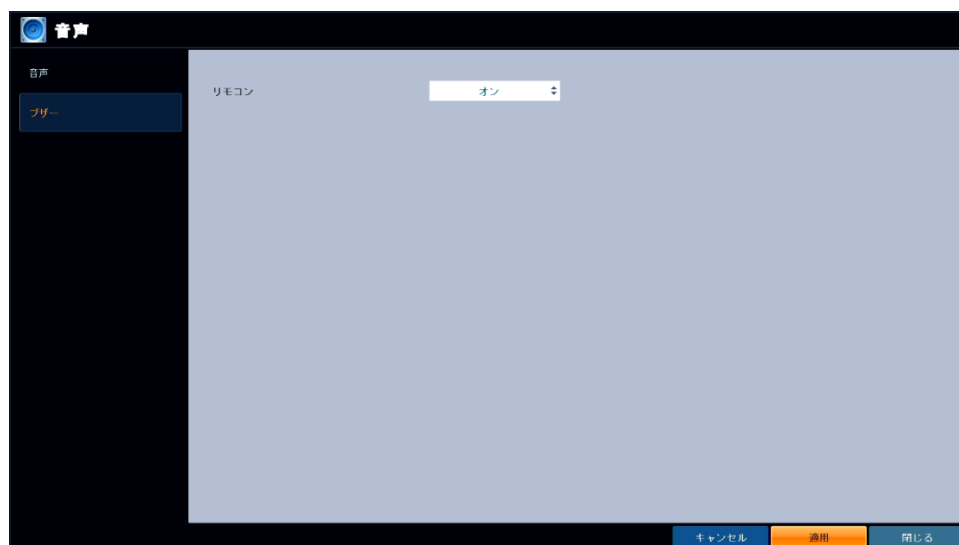


例：本機背面の< AUDIO IN 16 >端子にマイクを接続している場合は、< 音声 16 >を選択します。

5. 出力 CH 選択後、スピーカーからライブ音声出力されます。
※ライブ音声出力されない場合は、下記項目をご確認ください。
 - 本機とスピーカーが正しく接続されているか
 - スピーカーのボリュームが小さくないか
 - 音声出力タイプが正しく設定されているか
 - お使いのモニターが音声出力に対応しているか
 - 1 画面表示になっているか

3.3.2 リモコン操作音を消す

➤ メニュー > システム設定 > 音声 > ブザー



リモコン操作時の確認音をミュートにできます。

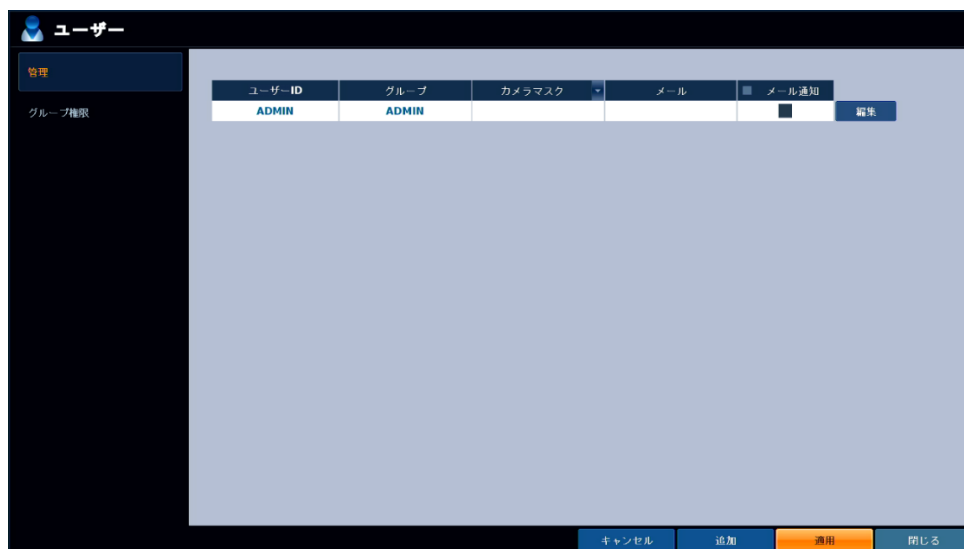
ブザー設定メニューの項目

項目	説明
リモコン	リモコン操作時にブザー音を鳴らす(オン)または、鳴らさない(オフ)を選択します。

3.4 ユーザー

3.4.1 アカウント情報を追加・編集する

➤ メニュー > システム設定 > ユーザー > 管理



アカウントの新規登録やパスワードを編集することができます。

1. < 追加 >をクリックします。



既に登録したアカウントを編集する場合は、< 編集 >をクリックします。



アカウント情報を追加・編集する(つづき)

2. 各項目をダブルクリックして設定値を入力します。

追加

ユーザーID user1

パスワード ****

グループ ADMIN

メール test@kbdevic...

メール通知 オフ

カメラマスク

☐ すべて

☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4

☐ 5 ☐ 6 ☐ 7 ☐ 8

☐ 9 ☐ 10 ☐ 11 ☐ 12

☐ 13 ☐ 14 ☐ 15 ☐ 16

OK キャンセル

項目	説明
ユーザーID	登録するアカウント名を入力します。 ユーザーID 設定ルールを変更している場合は、設定値に条件が付与されます。詳細は、「3.6.10 パスワードの設定条件を強化する (p.3-73)」をご覧ください。
パスワード	ログインパスワードを入力します。 ※パスワードは定期的に変更してください。 パスワードの変更については、「3.4.3 パスワードを変更する (p.3-39)」をご覧ください。 パスワード設定ルールを変更している場合は、設定値に条件が付与されます。詳細は、「3.6.10 パスワードの設定条件を強化する (p.3-73)」をご覧ください。
グループ	作成するアカウントのグループを選択します。 ※グループ権限によって操作可能な内容が異なります。 グループ権限の設定については、「3.4.4 グループ権限を設定する (p.3-41)」をご覧ください。
メール	イベントメールなどのメール送信先アドレスを入力します。 また、ログインパスワードを忘れた場合の認証コード送信先のアドレスとしても使用します。 ※認証コードについては、「1.7.2 ログインパスワードを忘れたら (p.1-31)」をご覧ください。

アカウント情報を追加・編集する(つづき)

項目	説明
メール通知	メール送信機能の有効/無効を選択します。 有効にする場合は、< オン >を選択してください。
カメラマスク	ライブ画面で閲覧させない CH を選択します。 チェックを入れた CH が閲覧不可能になります。 < すべて >を選択すると全 CH が閲覧不可能となります。

3. < 適用 >をクリックします。

適用後は、アカウントリストに新しく作成した情報が追加表示されます。

キャンセル	追加	適用	閉じる
-------	----	----	-----

↓

ユーザーID	グループ	カメラマスク	メール	メール通知	
ADMIN	ADMIN			<input type="checkbox"/>	編集
user1	MANAGER		test@kbdevice.com	<input type="checkbox"/>	編集 削除

3.4.2 登録したアカウントを削除する

➤ メニュー > システム設定 > ユーザー > 管理



登録済みのアカウント情報を削除します。

ただし、< ADMIN >は削除できません。

1. 削除したいアカウント行の< 削除 >をクリックします。



2. 削除後、< 適用 >をクリックします。
適用後は、アカウントリストから消去されます。



ユーザーID	グループ	カメラマスク	メール	メール通知	編集
ADMIN	ADMIN			<input type="checkbox"/>	

3.4.3 パスワードを変更する

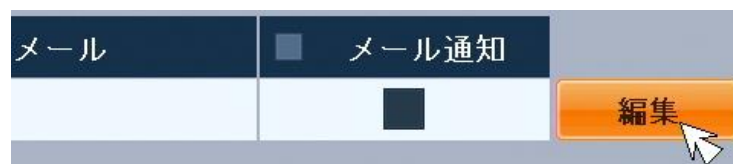
➤ メニュー > システム設定 > ユーザー > 管理



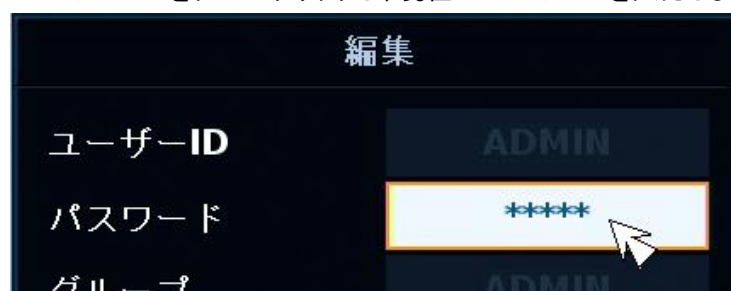
各アカウントのパスワードを変更します。

パスワードは定期的に変更し、メモとるなど忘れないよう管理を行ってください。

1. 変更したいアカウント行の「編集」をクリックします。



2. 編集画面のうち、「パスワード」をダブルクリックし、現在のパスワードを入力します。



パスワードを変更する(つづき)

3. 新しいパスワードと確認用のパスワードを入力します。



パスワード変更	
ユーザーID	ADMIN
新しいパスワード	*****
新しいパスワードの確認	*****
<div>適用 キャンセル</div>	

パスワード設定ルールを変更している場合は、設定値に条件が付与されます。
詳細は、「3.6.10 パスワードの設定条件を強化する(p.3-73)」をご覧ください。

4. 再設定後、< 適用 >をクリックし、設定を保存します。
以降は、新しく設定したパスワードでログインを行ってください。

3.4.4 アカウントの操作権限を設定する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ユーザー 〉 グループ権限



＜ 管理 ＞にて＜ MANAGER ＞または＜ USER ＞のグループで作成したアカウントの操作権限を設定することができます。

以下の項目の操作を制限することができます。

チェックを外した項目は、その権限では操作ができなくなります。

ADMIN 以外のアカウント権限の設定間違いには十分ご注意ください。

グループ権限設定メニューの項目

項目	説明
サーチ	過去映像の検索を行う権限です。
バックアップ	映像のバックアップを行う権限です。
システム設定	システム設定の変更を行う権限です。
録画設定	録画設定の変更を行う権限です。
イベント動作の制御	アラーム等のイベント発生時にアラーム出力やブザー制御を行う権限です。
音声出力	カメラの音声を聞く権限です。
リモートログイン	ネットワークから本機に遠隔接続を行う権限です。
シャットダウン	本機をシャットダウンする権限です。

3.5 ネットワーク

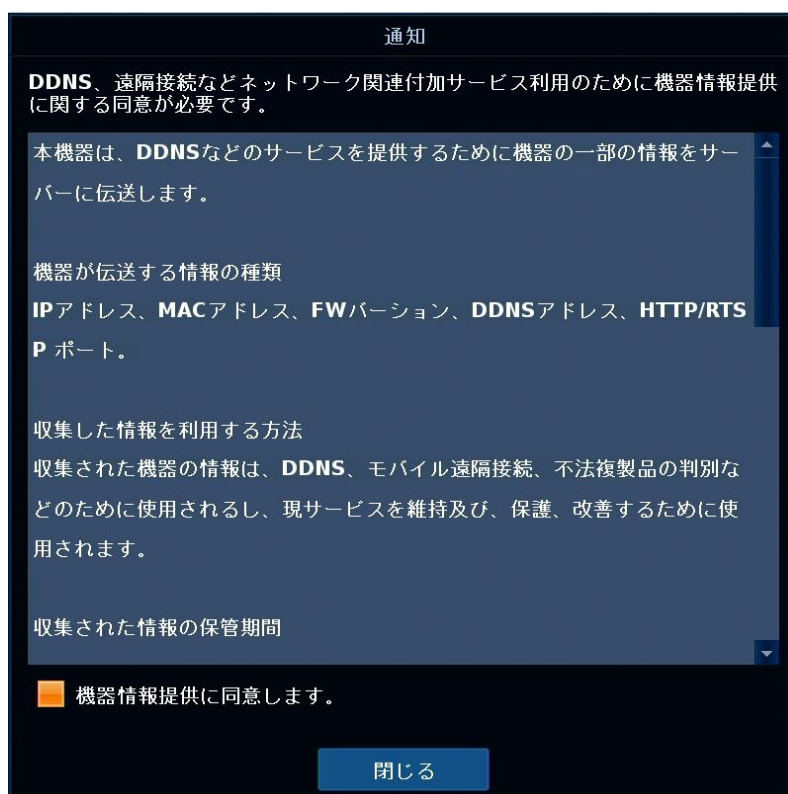
3.5.1 ネットワーク機能利用のまえに

本機にて、ネットワーク機能をご利用になる場合は、あらかじめ機器情報のご提供に同意していただく必要があります。

※同意されない場合は、本機のネットワーク機能が使用できませんのであらかじめご了承ください。

ご提供いただいた情報は、DDNS サーバーを含めたネットワーク接続サービスの維持・改善、または不法複製品の判別などに使用されます。

同意を求める通知画面が表示された場合は、内容をよく読みの上「機器情報提供に同意します。」にチェックを入れてください。



同意後、撤回する場合は、「メニュー ＞ システム設定 ＞ システム管理 ＞ 工場初期化」にて本機システムを初期化することで情報提供を中断できます。

3.5.2 ネットワークアドレスを設定する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ネットワーク 〉 IP 設定

本機のネットワークステータスを設定できます。

IP 設定メニューの項目

項目	説明
DHCP	チェックを入れると、利用可能な IP アドレスを自動取得します。 チェックを入れてない場合は、〈 更新 〉はクリックすることはできません。
IPv4 アドレス	固定 IP アドレスを使用する際は、ここに IP アドレスを入力します。
ゲートウェイ	固定 IP アドレスを使用する際は、ここにゲートウェイを入力します。
サブネットマスク	固定 IP アドレスを使用する際は、ここにサブネットマスクを入力します。
DNS サーバー 1	固定 IP アドレスを使用する際は、ここに優先 DNS サーバーを入力します。
DNS サーバー 2	固定 IP アドレスを使用する際は、ここに代替 DNS サーバーを入力します。
自動ポートアップデート	使用しません。
自動ポートステータス	使用しません。
RTSP ポート	ネットワークストリーミングに使用するポート番号を指定します。 ※同一ネットワーク内の他機器の設定と重複しないようにご注意ください。
WEB サーバーポート	WEB ブラウザおよび同梱のクライアントソフトから本機にアクセスする際に使用するポート番号を指定します。 ※同一ネットワーク内の他機器の設定と重複しないようにご注意ください。
ネットワーク送信速度	ネットワーク接続時の最大速度を設定します。

3.5.3 DDNS サーバーを登録する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ネットワーク 〉 DDNS 〉 DDNS 設定

当社指定の DDNS サーバーを使用して、本機の IP アドレスを任意のドメイン名に変換することができます。

DDNS 設定メニューの項目

項目	説明
DDNS	DDNS を利用する場合は「オン」に設定します。
DDNS サーバー	使用する DDNS サーバーが表示されます。 <u>※「dvrlink.net」以外は使用できません。</u> (当社指定のサーバーを使用します。)
レコーダー名	DDNS のドメイン名を入力します。 ※ 初期値は本機の MAC アドレスが入力されています。 <u>DDNS を利用する場合は、入力後に必ず「DDNS 登録テスト」をクリックして下さい。</u> <u>サーバーにホスト名が登録完了すると、「成功」と表示されます。</u>
ユーザー名	使用しません。
パスワード	使用しません。
DVR 接続アドレス	本機のドメイン名が表示されます。 外部からの接続時、IP アドレスがこのドメイン名となります。 <u>DDNS を利用する場合は、入力後に必ず「DDNS 接続テスト」をクリックして下さい。</u>

DDNS サーバーを登録する(つづき)

【 DDNS を利用した遠隔接続時の注意】

※例として「レコーダー名」を「kbdevice」と設定した場合、本機の IP アドレスは、「kbdevice.dvrlink.net」に変換されます。

この場合、Internet Explorer でアクセスする時の URL は、<http://kbdevice.dvrlink.net:8080/>となります。
(ポート番号が 8080 の場合)

※ DDNS サービスのご利用について(免責事項)

DDNS サービスのご利用の際は下記の内容に同意したうえでご利用ください。

- ・DDNS サービスのご利用はお客様のもとでご利用ください。
- ・DDNS サービスを利用することにより発生した損害、または第 3 者に対して損害を与えた場合について当社は一切の責任を負わないものとし、損害賠償する義務はないものとします。

3.5.4 メールサーバーを設定する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ネットワーク 〉 メール

メールサーバー情報を設定することができます。

送信先メールアドレスの登録については、「3.8.2 イベント発生時の各通知手段を設定する【メール】(p.3-88)」をご覧ください。

メール設定メニューの項目

項目	説明
サーバー	メール送信に使用するメールサーバーを入力します。
ポート	メール送信に使用するポート番号を入力します。
ネットワーク セキュリティ	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合、 「オン」に設定します。
ユーザー	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合、 ユーザーを入力します。
パスワード	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合、 パスワードを入力します。
テストメールアドレス	テストメール用の送信先アドレスを入力します。
テスト	「テスト」をクリックすると、上記アドレスにテストメールが送信されます。

3.5.5 ネットワークステータスを確認する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ネットワーク 〉 ネットワークステータス



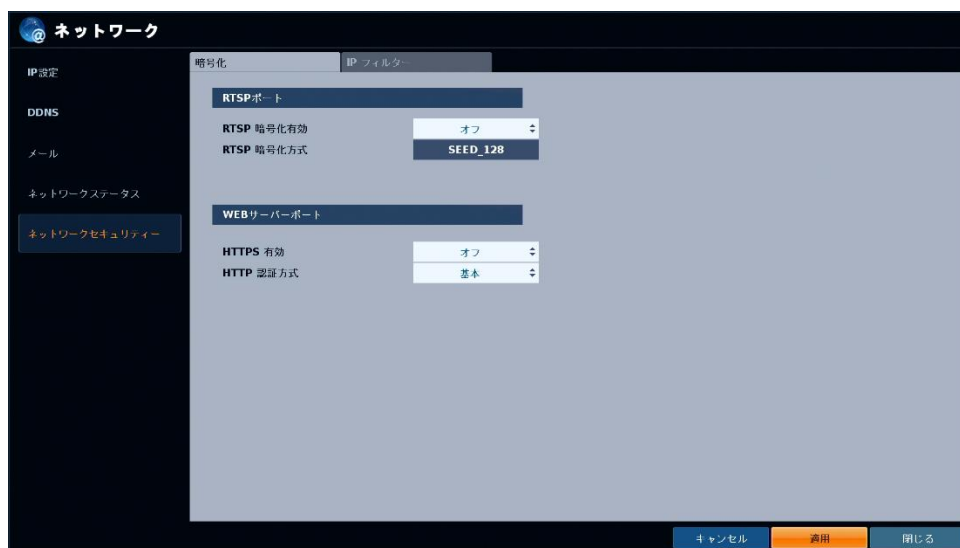
本機を含め、ネットワークの接続状況を確認することができます。

ネットワークステータスの項目

項目	説明
IPv4 アドレス	本機のローカル IP アドレスを表示します。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスを表示します。
DDNS アドレス	本機の DDNS アドレスを表示します。
RTSP ポート	本機の RTSP ポートを表示します。
WEB サーバーポート	本機の WEB サーバーポートが表示されます。
DDNS 更新状況	DDNS 更新の状況が表示されます。
グローバル IP アドレス	本機のグローバル(WAN 側)IP アドレスが表示されます。
SEQRINET	SEQRINET 機能の有効/無効を表示します。

3.5.6 ネットワークセキュリティを有効にする

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ ネットワーク ＞ ネットワークセキュリティ ＞ 暗号化



ストリーム配信時のセキュリティ強度を設定できます。

ネットワークセキュリティの項目

項目	説明
RTSP 暗号化有効	「オン」にすると、VLC Media Player などの汎用プレイヤーでの再生ができなくなります。
HTTPS 有効	「オン」にすると、Web ブラウザで本機へアクセスする際に HTTPS で接続が可能になります。 なお、オンにした場合は、http での遠隔接続ができなくなります。 HTTPS での接続時には、証明書の作成が必要となります。 証明書の作成については、「HTTPS 証明書を作成する(p.3-49)」をご覧ください。
HTTP 認証方式	本項目は設定を変更しないでください。 初期設定は、「基本」となります。

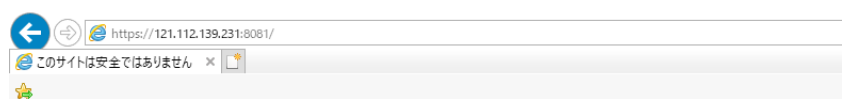
ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

【 HTTPS 証明書を作成する 】

1. 「HTTPS 有効」を「オン」に設定します。



2. Internet Explorer を起動し、「https://本機アドレス:ポート」を入力して本機へアクセスします。
※アクセスすると警告画面が表示されます。



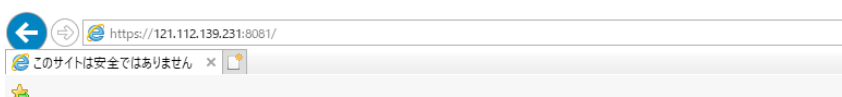
このサイトは安全ではありません

だれかが利用者を騙そうとしているか、サーバーに送信されたデータを盗み取ろうとしている可能性があります。このサイトをすぐに閉じてください。

[このタブを閉じる](#)

[詳細情報](#)

3. 「詳細情報」をクリックし、「Web ページに移動(非推奨)」をクリックします。



このサイトは安全ではありません

だれかが利用者を騙そうとしているか、サーバーに送信されたデータを盗み取ろうとしている可能性があります。このサイトをすぐに閉じてください。

[このタブを閉じる](#)

[詳細情報](#)

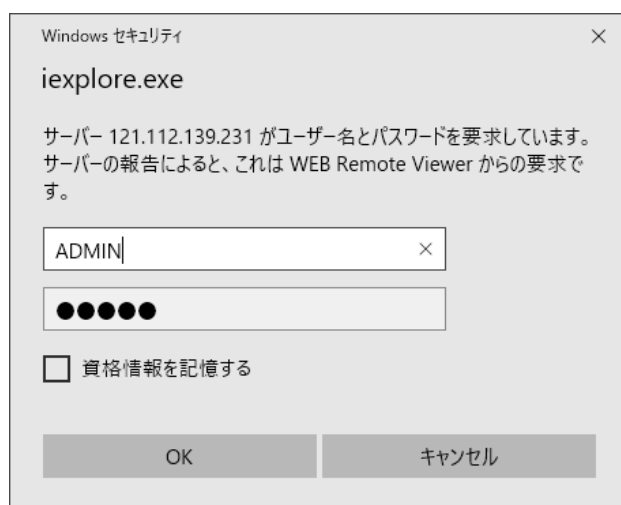
お使いの PC はこの Web サイトのセキュリティ証明書を信頼しません。
Web サイトのセキュリティ証明書のホスト名が、参照しようとしている Web サイトと異なります。

エラー コード: DLG_FLAGS_INVALID_CA
DLG_FLAGS_SEC_CERT_CN_INVALID

[Web ページに移動 \(非推奨\)](#)

ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

4. 本機の遠隔接続時のログイン ID およびパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



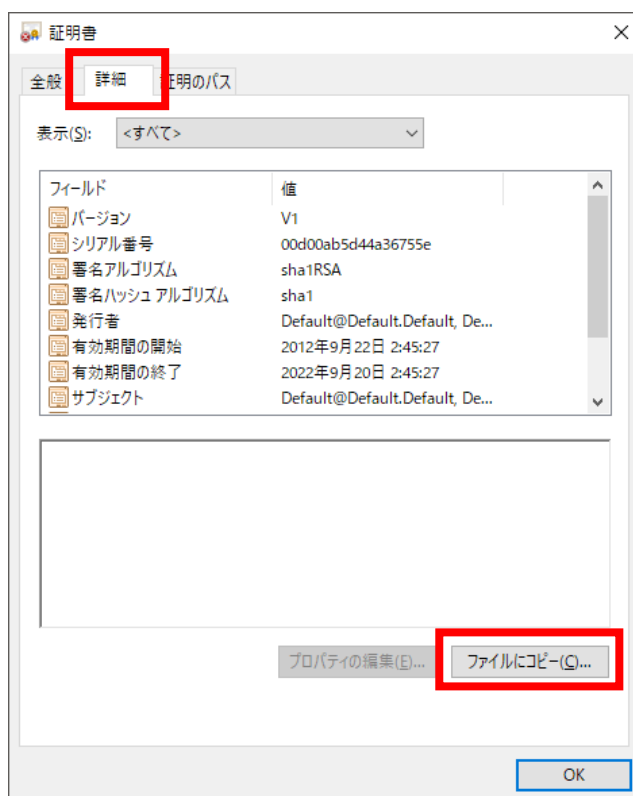
5. Web 画面上の「証明書エラー」をクリックし、「証明書の表示」をクリックします。



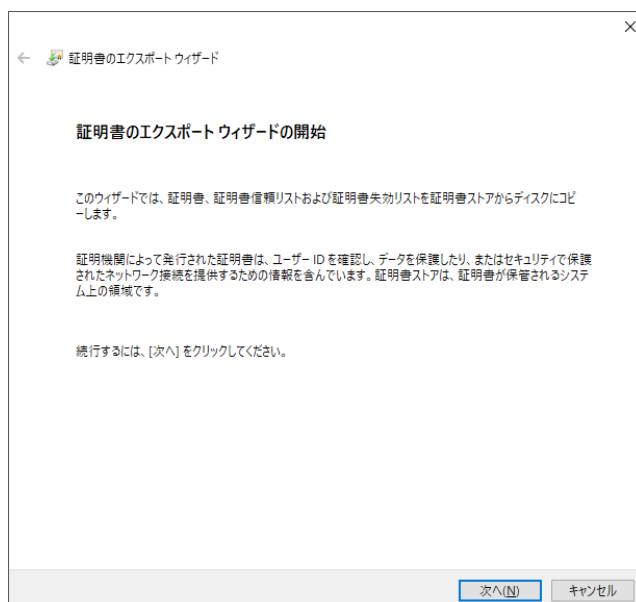
証明書の設定画面が表示されます。

ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

6. 「詳細」タブをクリックし、「ファイルにコピー」をクリックします。



7. 「次へ」をクリックします。



ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

8. 「Base 64 encoded X.509(.CER)」を選択し、「次へ」をクリックします。

エクスポート ファイルの形式
さまざまなファイル形式で証明書をエクスポートできます。

使用する形式を選択してください:

- ☐ DER encoded binary X.509 (.CER)(D)
- ☒ Base 64 encoded X.509 (.CER)(S)
- ☐ Cryptographic Message Syntax Standard - PKCS #7 証明書 (.P7B)(C)

9. エクスポートするファイル名(任意)を入力し、「次へ」をクリックします。

証明書のエクスポートウィザード

エクスポートするファイル

エクスポートするファイルの名前を入力してください

ファイル名(F): kb-ahr16c

参照(R)...

次へ(N) キャンセル

10. 「完了」をクリックします。

証明書のエクスポートウィザード

証明書のエクスポートウィザードの完了

証明書のエクスポートウィザードが正常に完了しました。

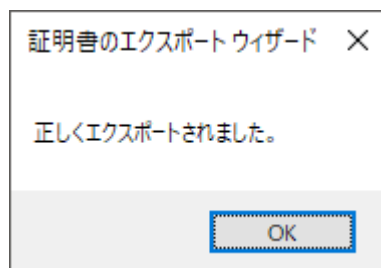
次の設定が指定されました:

ファイル名	C:\Users\KKB-CSP\...
キーのエクスポート	いいえ
証明のパスにあるすべての証明書を含める	いいえ
ファイルの形式	Base 64 Encoded X...

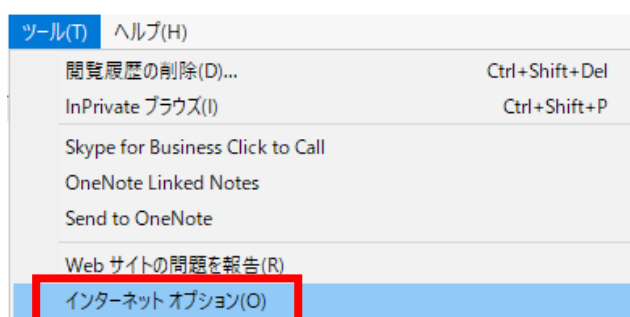
完了(F) キャンセル

ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

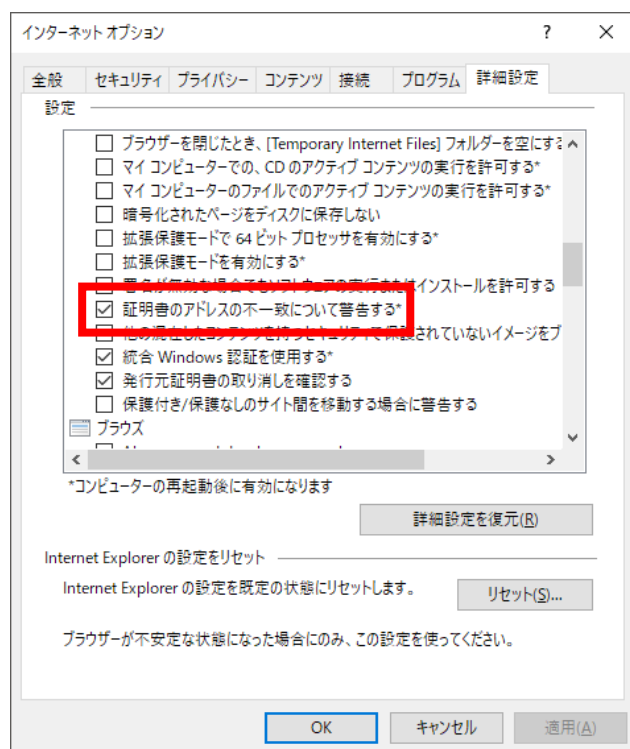
11. 表示された確認画面で「OK」をクリックします。



12. 「インターネットオプション」を開きます。



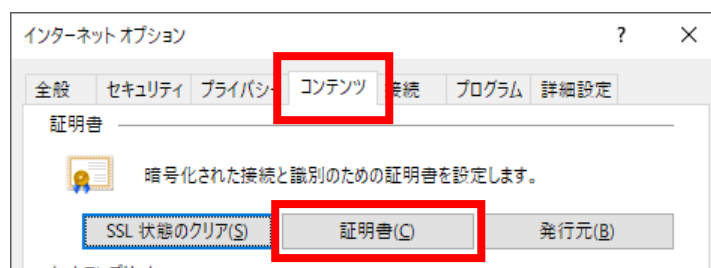
13. 「詳細設定」タブをクリックし、「証明書のアドレス不一致について警告する」のチェックを外します。



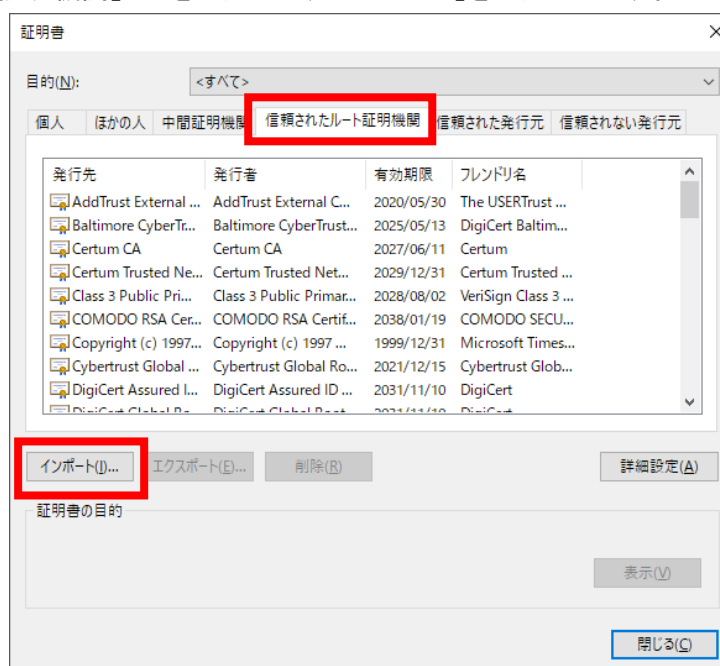
14. 設定変更後、「適用」をクリックします。

ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

15. 「コンテンツ」タブをクリックし、「証明書」をクリックします。



16. 「信頼されたルート証明機関」タブをクリックし、「インポート」をクリックします。

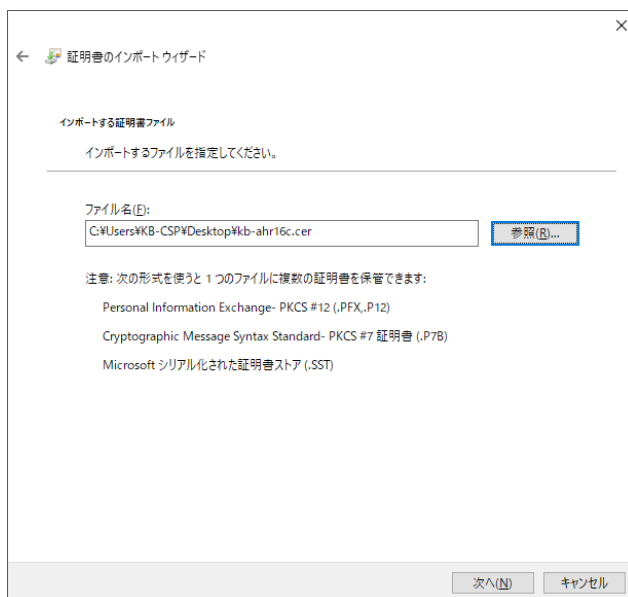


ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

17. 「次へ」をクリックします。

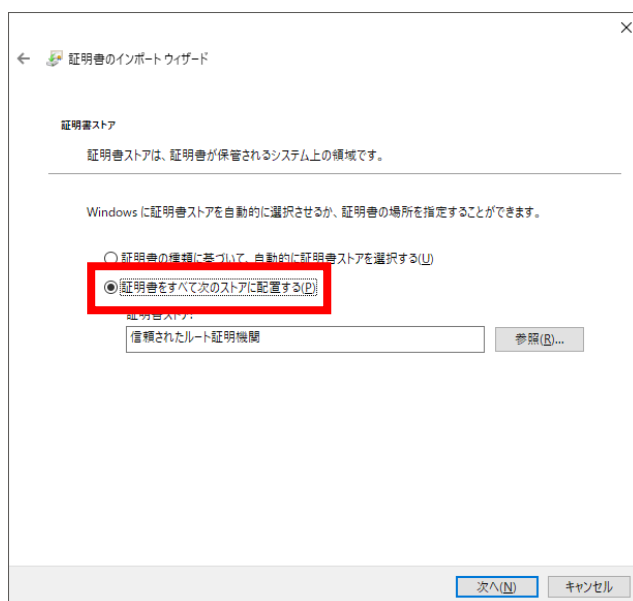


18. 手順 9 にて作成したファイルを選択し、「次へ」をクリックします。

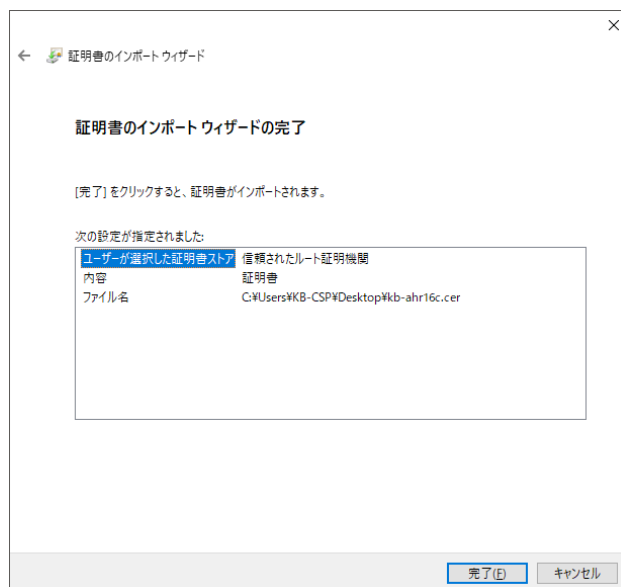


ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

19. 「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択し、「次へ」をクリックします。

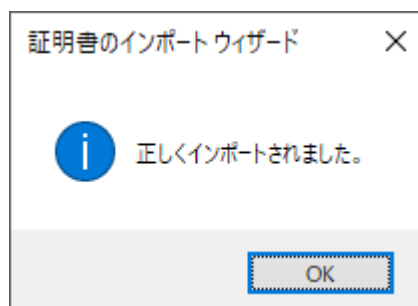
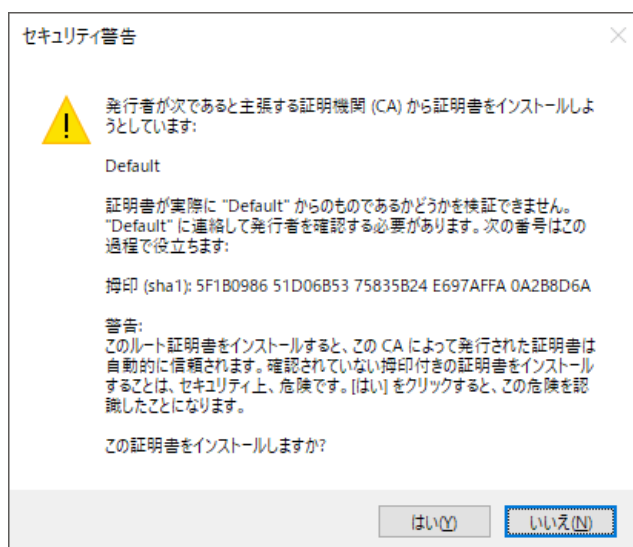


20. 「完了」をクリックします。



ネットワークセキュリティを有効にする(つづき)

21. 表示された確認画面で「はい」をクリックします。

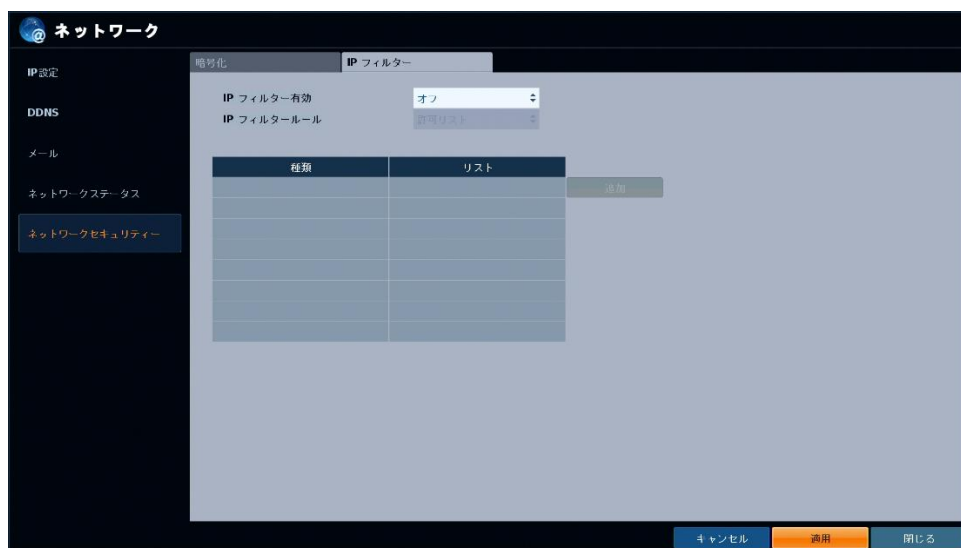


22. すべての設定画面を閉じ、Internet Explorer もすべて終了します。

23. Internet Explorer を再起動後、https にて本機の遠隔接続が可能となります。

3.5.7 アドレスのアクセス制限を設定する

➤ メニュー > システム設定 > ネットワーク > ネットワークセキュリティー > IP フィルター



登録したアドレスのみ本機アクセスできるようにしたり、登録したアドレスは本機にアクセスできないように設定できます。

1. 「IP フィルター有効」を「オン」にします。



2. 「IP フィルタールール」を「許可リスト」または「拒否リスト」から選択します。



- 許可リスト … 登録したアドレスのみ本機に遠隔接続できます。
- 拒否リスト … 登録したアドレスは本機に遠隔接続できなくなります。

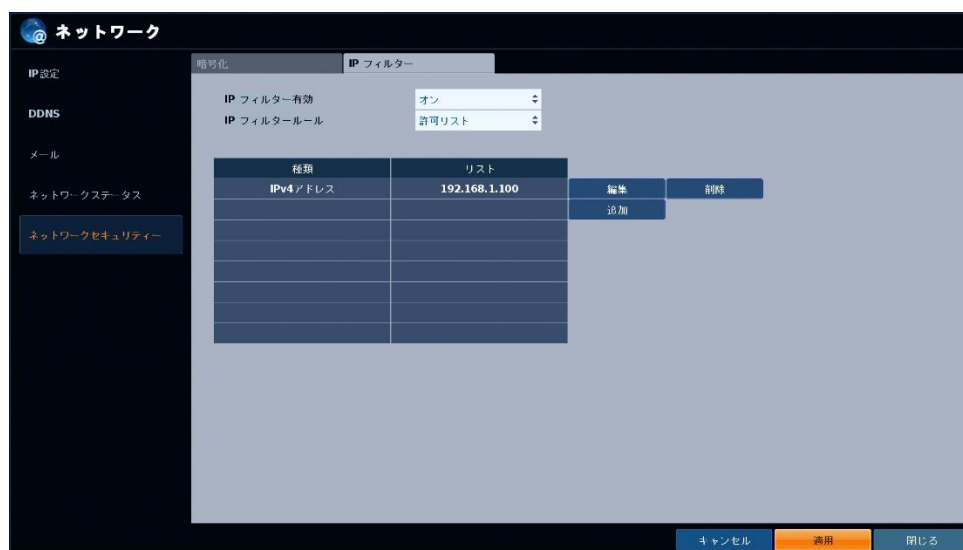
3. 「追加」をクリックし、アドレス情報を入力します。



- 種類 … 登録するアドレスに合わせて、アドレスタイプを選択します。
- アドレス … 制限を設けるアドレスを入力します。

アドレスのアクセス制限を設定する(つづき)


4. 設定後、「OK」をクリックし、「適用」をクリックして完了です。



3.6 システム

3.6.1 日付/時刻を変更する

➤ メニュー > システム設定 > システム > 日付/時刻 > 時刻設定

1. < 日付/時刻 > 時計アイコン  をクリックして、現在の日時・時刻を手動で設定します。
各項目の上下アイコンで値を変更できます。

<< 注意 >>

設定した時間によっては、記録データが消える場合があります。

時刻を変更する場合は、大事なデータはあらかじめバックアップすることをお勧めします。

表示された確認画面で、問題なければ< OK >をクリックしてください。

日付/時刻を変更する(つづき)

2. 設定完了後、< OK >をクリックして、設定を反映させます。
3. < 日付表示形式 > ライブ画面の日付表示形式を選択します。

時刻設定	
日付/時刻	2019-01-15 16:40:22
日付表示形式	年/月/日
時刻表示形式	24時間

4. < 時刻表示形式 > ライブ画面の時刻表示形式を選択します。

時刻設定	
日付/時刻	15-01-2019 16:46:31
日付表示形式	日/月/年
時刻表示形式	24時間

5. 設定変更後は、< 適用 >をクリックします。
適用後、ライブ画面の時間表示が設定した内容で表示されます。


3.6.2 タイムサーバーと時刻同期する

➤ メニュー > システム設定 > システム > 日付/時刻 > NTP

The screenshot shows the 'システム' (System) configuration page with the '時刻設定' (Time Setting) tab selected. The '時刻設定' section includes fields for '日付時刻' (Date/Time) set to '08-29-2016 18:44:24', '日付表示形式' (Date display format) set to '月/日/年', and '時刻表示形式' (Time display format) set to '24時間'. Below this is the 'NTP' section with 'タイムサーバー' (Time server) set to 'pool.ntp.org', '自動時刻同期' (Automatic time synchronization) set to 'オフ' (Off), '同期化周期' (Synchronization cycle) set to '7 日', '同期時刻' (Synchronization time) set to '00:00', and '同期予定時間' (Synchronization scheduled time) set to '設定なし'. At the bottom is the 'タイムゾーン/サマータイム' (Time zone/Summer time) section with 'タイムゾーン' (Time zone) set to 'GMT+09:00 Asia/Tokyo' and 'サマータイム' (Summer time) set to 'オン'. Navigation buttons at the bottom are 'キャンセル' (Cancel), '適用' (Apply), and '閉じる' (Close).

1. < タイムサーバー > ネットワーク時刻同期を行うサーバーアドレスを入力します。

This close-up view of the NTP settings shows the 'タイムサーバー' (Time server) field with the value 'pool.ntp.org'. Other visible fields include '自動時刻同期' (Automatic time synchronization) set to 'オン', '同期の周期' (Synchronization cycle) set to '7 日', '同期時刻' (Synchronization time) set to '00:00', and '次回同期日時' (Next synchronization date/time) set to '22-01-2019 00:00'. A refresh icon is visible to the right of the time server field.

※  をクリックすると、クリックしたタイミングで時刻同期を行います。

2. < 自動時刻同期 > 自動的に NTP サーバーと時刻同期したい場合は、< オン > にします。

This close-up view of the NTP settings shows the '自動時刻同期' (Automatic time synchronization) dropdown menu, which is currently set to 'オン'. Other visible fields include 'タイムサーバー' (Time server) set to 'pool.ntp.org', '同期の周期' (Synchronization cycle) set to '7 日', '同期時刻' (Synchronization time) set to '00:00', and '次回同期日時' (Next synchronization date/time) set to '22-01-2019 00:00'. A refresh icon is visible to the right of the time server field.

タイムサーバーと時刻同期する(つづき)

3. < 同期の周期 > 時刻同期を行う周期を設定します。
4. < 同期時刻 > 時刻同期を行う時間を設定します。

NTP	
タイムサーバー	pool.ntp.org
自動時刻同期	オン
同期の周期	毎日
同期時刻	00:00
次回同期日時	毎日 00:00

例 … 毎日 0:00 と設定した場合、毎日 0:00 に 1 度本機が自動的にタイムサーバーと時刻同期を行います。

<< 注意 >>

本機の設定画面を開いている間は、NTP による時刻同期は行いません。

ライブ画面にて本機操作を行っていない状態でのみ時刻同期を行います。

時刻同期を行っている間は、一時的に記録動作が中断し、同期完了後、記録動作を再開します。

5. 設定後、< 適用 >をクリックします。
適用後、定期的に時刻同期を行います。

3.6.3 タイムゾーン・サマータイムについて

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ システム ＞ 日時/時刻 ＞ タイムゾーン/サマータイム

タイムゾーンおよびサマータイムは初期設定値から変更しないでください。

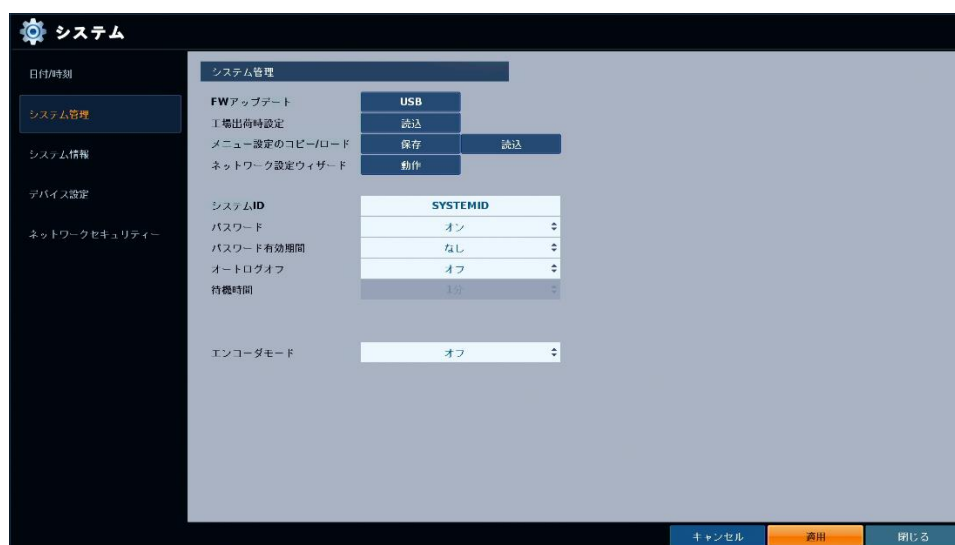
変更すると、時刻ずれの原因となります。

タイムゾーン/ サマータイム	
タイムゾーン	GMT+09:00 Asia/Tokyo ▼
サマータイム	オフ ▼

- タイムゾーン の初期設定 … GMT+09:00 Asia/Tokyo
- サマータイム の初期設定 … オフ

3.6.4 システム管理一覧

➤ メニュー › システム設定 › システム › システム管理



システム管理設定メニューの項目

項目	説明
FW アップデート	本機のファームウェアをアップグレードできます。 →詳細は、「3.6.5 FW をアップデートする(p.3-67)」をご覧ください。
工場出荷時設定	本機の全ての設定を初期化します。 <u>※実行すると、すべての設定が初期状態に戻ります。</u> →詳細は、「3.6.6 全ての設定値を初期化する(p3-68)」をご覧ください。
メニュー設定のコピー/ ロード	〈 コピー 〉をクリックすると、設定内容を USB メモリーに バックアップすることができます。 〈 読み込み 〉をクリックすると、USB メモリーに保存したシステム設定内容を 読み込みます。
ネットワーク設定 ウィザード	本機のネットワーク設定を確認または、変更することができます。
システム ID	本機の名称を入力することができます。
パスワード	検索画面や設定画面に入る際、パスワード入力を求める(オン)または 求めない(オフ)を選択することができます。 <u>※安全に運用するために、必ずく オン >に設定してください。</u>

システム管理一覧(つづき)

システム管理設定メニューの項目

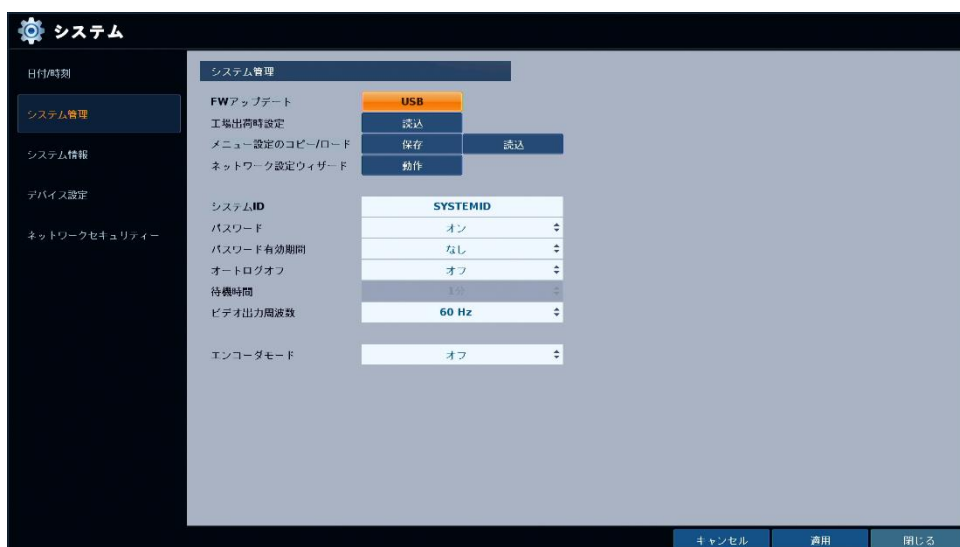
項目	説明
パスワードの有効期間	設定すると、一定期間が経過したときにパスワードの変更を求められます。 (なし / 1ヶ月 / 2ヶ月 / 4ヶ月 / 6ヶ月)
オートログオフ 待機時間	オン にすると、一定期間が経過したときにユーザーがログアウトされます。 オートログオフを行うまでの時間を設定します。 (1分 / 2分 / 3分 / 5分 / 10分) ※< オートログオフ >が< オフ >の場合は、設定できません。
エンコーダモード	本機に HDD を搭載していない状態でも遠隔接続にてカメラからのライブ映像を閲覧できます。 ※本機能を使用する場合は、録画機能が停止します。



表示された確認画面で< OK >をクリックすると、本機が再起動します。
再起動後、有効となります。

3.6.5 FW をアップデートする

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ システム ＞ システム管理 ＞ FW アップデート



1. 本機の FW アップデートデータが入った USB メモリーを接続します。
※FW アップデータは、USB メモリーのトップ階層に保存してください。

2. < FW アップデート >の< USB >をクリックします。



3. < デバイス >に USB メモリーのデバイス名が表示されていることを確認し、< F/W リスト >から新しい FW を選択します。



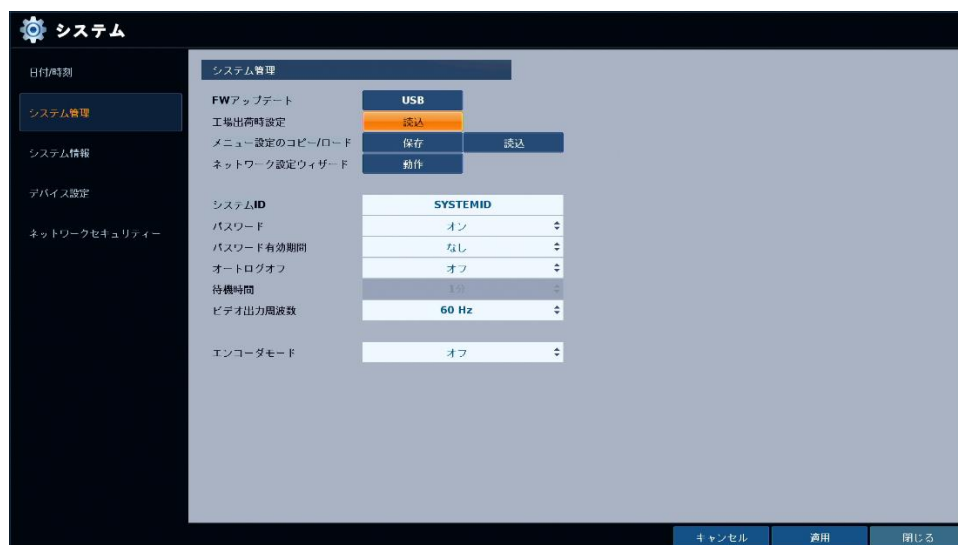
4. 選択後、< アップグレード >をクリックし、表示された確認画面で< OK >をクリックします。
クリック後、自動的にアップデートが始まります。アップデートには数分かかります。

<< 注意 >>

故障の原因となりますのでアップグレード中は、絶対に本機の電源を抜かないでください。
また、アップデート中は数回本機が再起動します。

3.6.6 全ての設定値を初期化する

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ システム ＞ システム管理 ＞ 工場出荷設定

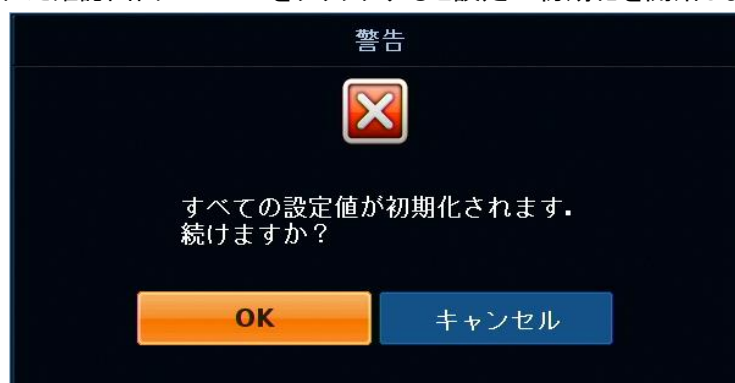


全ての設定値を工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。
パスワードやネットワーク情報もリセットされるのでご注意ください。

1. < 工場出荷時設定 >の< 読込 >をクリックします。



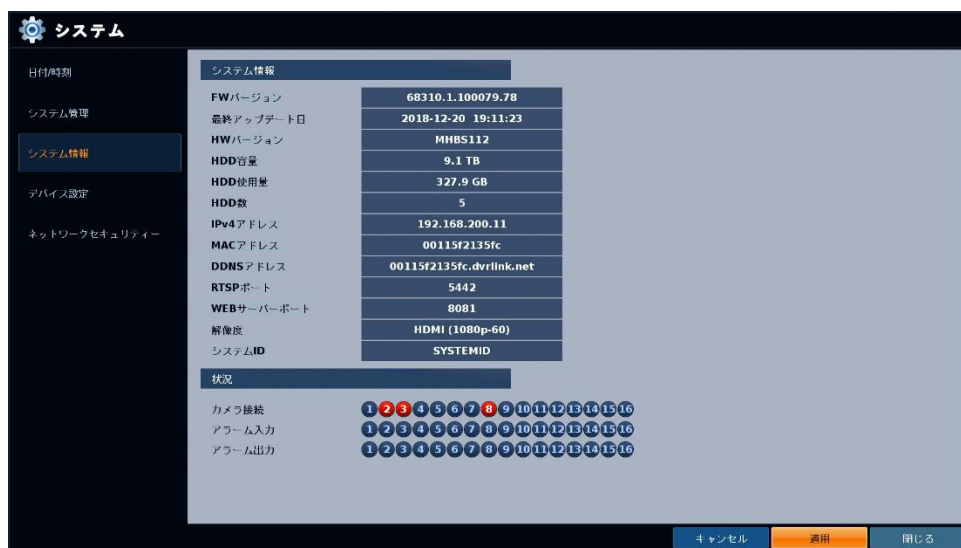
2. クリック後、表示された確認画面で< OK >をクリックすると設定の初期化を開始します。



3. 初期化完了後は、パスワードやネットワーク情報を設定する画面が表示されます。
画面に従って、設定を行ってください。
詳細は、「1.6 初回起動時の設定をする(p.1-24)」をご覧ください。

3.6.7 システム情報一覧

メニュー ＞ システム設定 ＞ システム ＞ システム情報



本機の FW バージョンやアドレス情報などを一覧で確認できます。

システム情報の項目

項目	説明
FW バージョン	本機のファームウェアバージョンを表示します。
最終アップデート日	最後に FW アップデートを行った日時を表示します。
HW バージョン	本機のハードウェアバージョンを表示します。
HDD 容量	HDD の総容量を表示します。
HDD 使用量	HDD の使用中の容量を表示します。
HDD 数	本機に搭載している HDD の数量を表示します。
IPv4 アドレス	本機のローカル IP アドレスを表示します。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスを表示します。
DDNS アドレス	本機の DDNS アドレスを表示します。
RTSP ポート	クライアントソフトから本機にアクセスする際に使用するポートを表示します。
WEB サーバーポート	ウェブブラウザから本機にアクセスする際に使用するポートを表示します。
解像度	メイン映像出力の現在の解像度を表示します。
システム ID	本機の名称を表示します。
カメラ接続	接続中のカメラ CH を赤く表示します。
アラーム入力 (レコーダー)	アラーム入力が発生中の CH を赤く表示します。
アラーム出力 (レコーダー)	アラーム出力が発生中の CH を赤く表示します。

3.6.8 デバイス・リモコン ID を設定する

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 システム 〉 デバイス設定

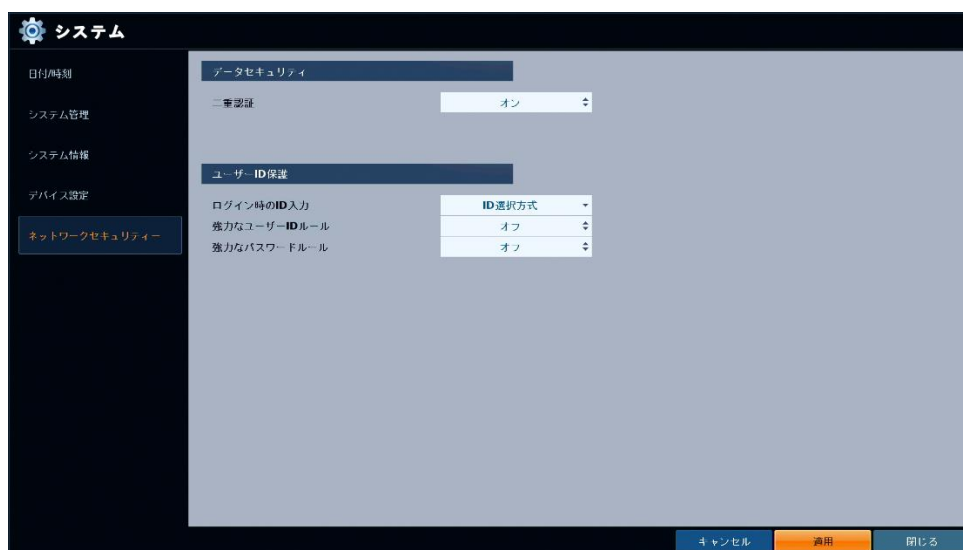
キーボードコントローラーまたはリモコン ID を設定できます。

デバイス設定メニューの項目

項目	説明
システム ID	キーボードコントローラーのシステム ID を設定します。
プロトコル	キーボードコントローラーのプロトコルを設定します。
ボーレート	キーボードコントローラーのボーレート(通信速度)を設定します。
リモコン ID	リモコン ID を設定します。(0～255) ※レコーダーが複数台ある場合は、ID が重複しないようにご注意ください。 ※ここで設定したリモコン ID をリモコンで入力すると、リモコン操作が有効となります。 →詳細は、「1.4.1 リモコン ID を登録する(p.1-10)」をご覧ください。

3.6.9 二重認証を有効にする

➤ メニュー > システム設定 > システム > ネットワークセキュリティ > データセキュリティ



＜MANAGER＞または＜USER＞権限で、検索・再生とバックアップ画面へ移動する際に ADMIN 権限のパスワードを要求します。

本機能を利用する場合は、あらかじめゲストユーザーを作成する必要があります。

ゲストユーザーの作成については、「3.4.1 アカウント情報を追加・編集する(p.3-35)」をご覧ください。

有効にする場合は、＜二重認証＞を＜オン＞に設定し、＜適用＞をクリックします。



1. ゲストユーザーでログインし、＜サーチ＞または＜バックアップ＞をクリックします。



二重認証を有効にする(つづき)

2. ゲストユーザーのログインパスワードを入力し、< OK >をクリックします。



3. 続けて ADMIN 権限のログインパスワードを入力し、< OK >をクリックします。



4. 両アカウントのパスワードを入力後、検索・再生/バックアップ画面が表示されます。

3.6.10 パスワードの設定条件を強化する

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ システム ＞ ネットワークセキュリティ ＞ ユーザーID 保護



ログイン時のユーザーID 選択形式の変更や、パスワードの最低登録文字数など設定条件を変更できます。

1. < ログイン時の ID 入力 >でログイン時などユーザーID の選択形式を選択します。



- ID 選択方式 … プルダウンから登録済みのユーザーID を選択します。



- 直接の入力方式 … 登録済みのユーザーID を手動で入力します。
ID の入力間違いにご注意ください。



パスワードの設定条件を強化する(つづき)

2. < 強力なユーザーID ルール >で< オン >を設定します。

強力なユーザーIDルール

オン

オンにすると、ユーザーID を登録・編集する際に下記条件を満たす必要があります。

- 5 文字以上 10 文字以内の英数字

例 : testuser1

3. < 強力なパスワードルール >で< オン >を設定します。

強力なパスワードルール

オン

オンにすると、パスワードを登録・編集する際に下記条件を満たす必要があります。

- 8 文字以上 16 文字以内の文字数
- 英字(大文字)、英字(小文字)、数字、記号の全てを含む
- 同一文字を、3 回以上使用しない
- ユーザーID と同じ設定値は使用しない

例 : KbDevice@0131

4. < 適用 >をクリックします。

適用後は、新しい設定ルールに従ってユーザーID・パスワードを設定してください。

ユーザーID・パスワードの登録・編集については、「3.4.1 アカウント情報を追加・編集する(p.3-35)」をご覧ください。

3.7 ストレージ

3.7.1 HDD 情報を確認する

【 内蔵ディスク 】

➤ メニュー > システム設定 > ストレージ > HDD 情報 > 内蔵ディスク



ストレージ							
HDD 情報							
HDD 動作							
RAID 設定							
S.M.A.R.T. 情報							
内蔵ディスク							
外部記憶装置							
		開始時刻	終了時刻	状況	容量	モデル	HDD ステータス
全体		2019-01-09 16:33:33	2019-01-17 17:34:24	-	-	-	-
1	ディスク1	-	-	使用中	1.8 TB	TOSHIBA MD03	正常
2	ディスク2	2019-01-09 16:33:33	2019-01-17 17:34:24	使用中	1.8 TB	TOSHIBA DT01	正常
3	ディスク3	-	-	使用中	1.8 TB	TOSHIBA MD03	正常
4	ディスク4	-	-	使用中	1.8 TB	TOSHIBA MD03	正常
5	ディスク5	-	-	使用中	1.8 TB	TOSHIBA MD03	正常

本機に搭載している HDD の情報を確認することができます。

内蔵ディスクの項目

項目	説明
開始時刻	HDD に通電を開始した日時を表示します。
終了時刻	HDD が最後に通電確認をした時刻を表示します。
状況	接続状況を表示します。
容量	HDD の総容量を表示します。
モデル	HDD の品番を表示します。
HDD ステータス	HDD の S.M.A.R.T.状態を表示します。

HDD 情報を確認する(つづき)

【 外部記憶装置 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ ストレージ ＞ HDD 情報 ＞ 外部記録装置



本機に外部から接続している HDD の情報を確認することができます。

※KB-AHR04C では、外部記録装置は利用できません。

外部記憶装置画面での項目は、【 内蔵ディスク 】と同様です。

3.7.2 HDD の上書き/フォーマットを行う

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ストレージ 〉 HDD 動作



HDD の記録保存方法や初期化を行うことができます。

HDD 動作設定メニューの項目

項目	説明
HDD 上書きモード	〈 オン 〉にすると、HDD 使用量が 100%になった際に、最も古いデータを消去しながら記録を続けます。 ※ 上書き中、ライブ画面の HDD 使用量は「OW」と表示されます。 ※〈 オフ 〉に設定すると、HDD 使用量が 100%になった時点で録画を停止します。
記録画像保存期限	〈 時/日/週 〉に設定すると、その期間を過ぎた映像を消去します。 ※ 3ヶ月以上の期間を設定することはできません。
HDD フォーマット	〈 フォーマット 〉をクリックすると、HDD のフォーマットを行います。 実行すると記録データも全て消去されるためご注意ください。 ※重要な映像データなどは、あらかじめバックアップを行ってください。
録画を削除	〈 削除 〉をクリックすると、HDD に記録されている録画データを全て消去します。 ※重要な映像データなどは、あらかじめバックアップを行ってください。

3.7.3 RAID 構築・解除を行う

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ストレージ 〉 RAID 設定

※本機能は、KB-AHR08C または KB-AHR16C のみ対応しております。

KB-AHR04C には本機能は搭載しておりません。あらかじめご了承ください。



HDD の故障時に録画映像を守るための設定を行うことができます。

※当機能を使用するには、内蔵 HDD が 2 枚以上必要になります。

※当機能を使用する際は、すべての録画データを削除されます。重要なデータはあらかじめバックアップしてください。

RAID 設定メニューの項目

項目	説明
モデル	接続中の HDD のモデルを表示します。
容量	接続中の HDD の容量を表示します。
状況	接続中の HDD の動作状態を表示します。
リビルド	接続中の HDD をリビルドするかどうかを表示します。
更新	クリックすると、RAID 構成状況を更新します。
RAID 構築	搭載している HDD を使用して RAID 構築を開始します。 →詳細は、「RAID 構築手順(p.3-79)」をご覧ください。
RAID 解除	構築中の RAID を解除します。 →詳細は、「RAID 解除手順(p.3-80)」をご覧ください。

RAID 構築・解除を行う(つづき)

【 RAID 構築手順 】

以下の手順で、複数の HDD を使用し RAID を構築することができます。

1. 〈 RAID 構築 〉をクリックします。
2. 〈 RAID1(ミラーリング) 〉または〈 RAID5 〉を選択し、〈 OK 〉をクリックします。

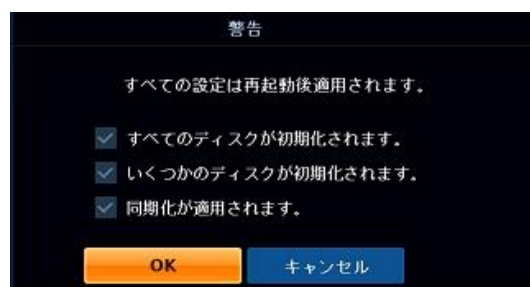


- RAID1 ... 2 枚の HDD に同じデータを同時に書き込みます。実際の容量は半分になります。
- RAID5 ... 複数の HDD が互いに共有し、故障時に他の HDD からデータを復元します。

実際の容量は、「HDD 総数 - 1」枚分となります。

※RAID5 は、HDD を 3 枚以上搭載している時に使用可能です。

3. 「すべての録画データが初期化されます。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら 〈 OK 〉をクリックします。
4. 「すべての設定は再起動後に適用されます。」というメッセージが表示されたら 3 つの項目に全てチェックが入っているのを確認し、〈 OK 〉をクリックします。



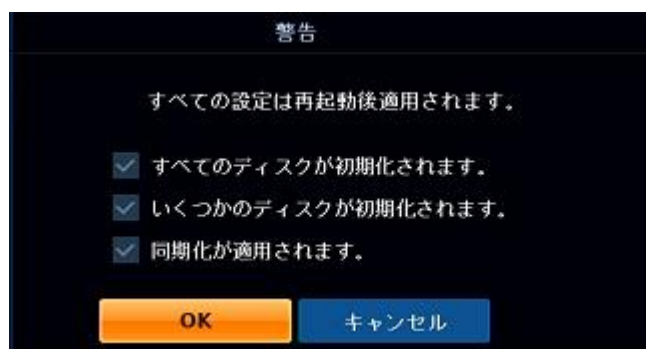
5. 「システムを再起動します。」というメッセージが表示されたら 〈 OK 〉をクリックします。
再起動後、RAID 構築が完了します。

RAID 構築・解除を行う(つづき)

【 RAID 解除手順 】

以下の手順で、構築中の RAID を解除することができます。

1. 〈 RAID 解除 〉をクリックします。
2. 「すべての設定は再起動後適用されます」というメッセージが表示されたら
3つの項目全てにチェックが入っているのを確認し、〈 OK 〉をクリックします。

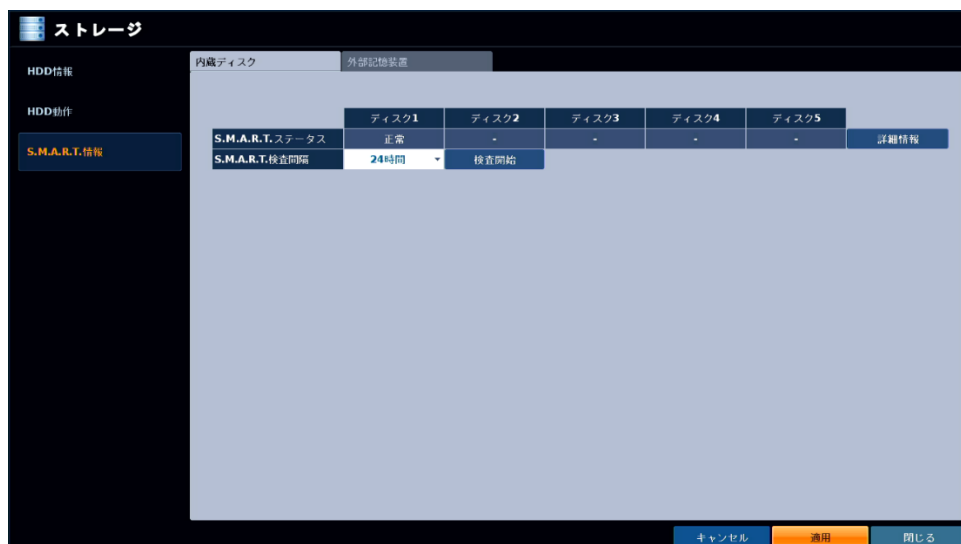


3. 「システムを再起動します。」というメッセージが表示されたら〈 OK 〉をクリックします。
再起動完了後、RAID 解除が完了します。

3.7.4 HDD の S.M.A.R.T 情報を確認する

【 内蔵ディスク 】

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ストレージ 〉 S.M.A.R.T 情報 〉 内蔵ディスク



本機に接続中の HDD に書き込みエラーなどの異常が発生していないかを確認できます。

S.M.A.R.T 情報設定メニューの項目

項目	説明
S.M.A.R.T.ステータス	各 HDD の状態を表示します。 通常 : ディスクは通常の状態です。 チェック : ディスクにエラーがあり、ディスクまたはディスク接続ケーブルのチェックが必要です。 問題が解決しないと、録画できない場合があります。 直ちにディスクの交換をお勧めします。 エラー : ディスクが破損しているか、ディスクまたはケーブルのエラーにより使用できません。直ちにディスクを交換してください。 <div>ディスクの交換については、販売店または当社までお問い合わせください。</div> 〈 詳細情報 〉 をクリックすると、さらに詳細の情報を表示します。
S.M.A.R.T.検査間隔	S.M.A.R.T.チェックを行う間隔を設定します。(6 時間 / 12 時間 / 24 時間) 〈 検査開始 〉 をクリックすると、ただちに S.M.A.R.T.チェックを開始します。

HDD の S.M.A.R.T 情報を確認する(つづき)

【 外部記録装置 】

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 ストレージ 〉 S.M.A.R.T 情報 〉 外部記録装置



本機に外部から接続している HDD に異常がないかを確認することができます。

外部記憶装置画面での項目は、【 内蔵ディスク 】画面と同様です。

3.8 イベント

イベントごとに発報させるアラームなどの動作を設定することができます。

【 機器異常時の動作概要 】

※例 1 HDD に異常が生じた場合・・・

- ライブ画面上に「S.M.A.R.T.HDD ALARM DETECTED !」の文字を表示します。
- 本機フロントパネルの REC ランプが消灯します。
- アラーム出力 / ブザー / メール送信 のうち、設定したいいくつかの動作を行います。

※例 2 ビデオロス(映像断)が生じた場合・・・

- ライブ画面上で、ビデオロスが生じた CH に「ビデオロス」の文字を表示します。
- 全 CH でビデオロスが生じた場合、本機フロントパネルの REC ランプが消灯します。
アラーム出力 / ブザー / メール送信 / イベントプリセット のうち、
設定したいいくつかの動作を行います。

3.8.1 アラーム出力を有効にする

【 アラーム出力 】

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 イベント 〉 アラーム出力 〉 アラーム出力



本機から警報機などへアラーム信号を出力する場合の動作を設定します。

本機のアラーム出力端子の接続については、「1.5.5 外部センサーや警報機を接続する(p.1-18)」をご覧ください。

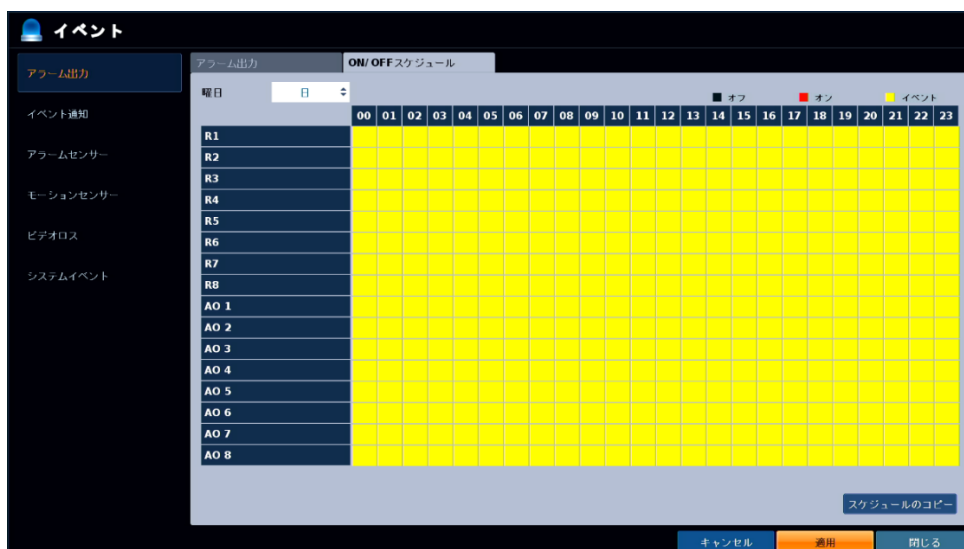
アラーム出力設定メニューの項目

項目	説明
名前	名称が表示されます。
動作	<p>アラームの接点タイプを選択します。</p> <p>N/O(A 接点) : 通常は Open 状態で、アラーム発生時に Close の状態になります。</p> <p>N/C(B 接点) : 通常は Close 状態で、アラーム発生時に Open の状態になります。</p>
持続時間	<p>アラームを出力する時間を設定します。</p> <p>(復帰するまで/5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/キーを押すまで)</p> <p>〈 復帰するまで 〉 を選択すると、イベント状態から復帰するまでアラーム出力を継続します。</p> <p>〈 キーを押すまで 〉 を選択すると、リモコンまたはマウスの何れかのボタンを押すまでアラーム出力を継続します。</p>
テスト	クリックすると、テストとしてアラーム出力信号を出します。

アラーム出力を有効にする(つづき)

【 ON/OFF スケジュール 】

➤ メニュー 〉 システム設定 〉 イベント 〉 アラーム出力 〉 ON/OFF スケジュール



本機のアラーム出力を有効にする時間帯を設定します。

以下の手順で、スケジュール設定を行うことができます。

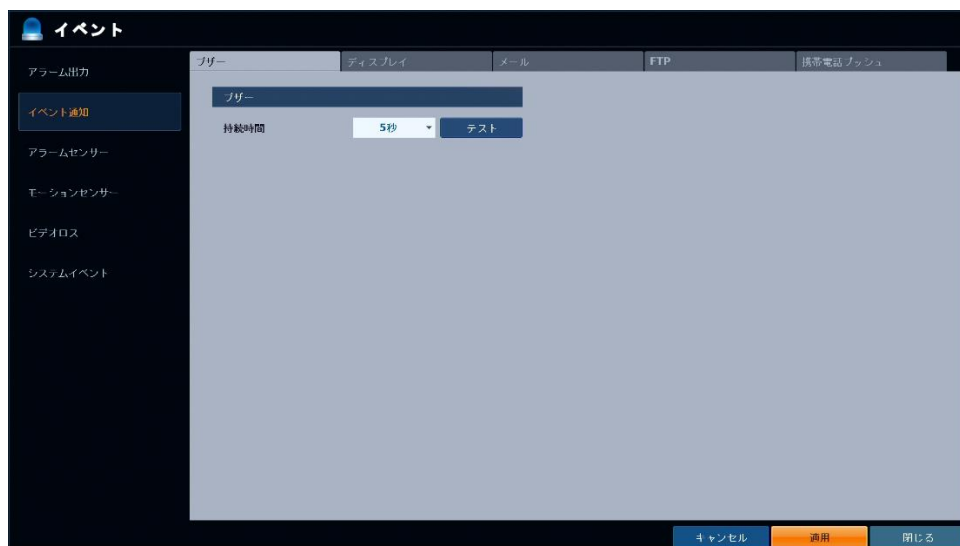
1. マウスのドラッグ & ドロップで、スケジュールを変更するカメラと時間帯を範囲選択します。
2. 任意のアラーム出力モードを選択します。
 - オン : アラーム出力を常に オン に設定します。
 - オフ : アラーム出力を常に オフ に設定します。
 - イベント : イベント発生に応じて、アラーム出力のオン/オフを切り替えます。
※ センサーや HDD イベント、ビデオロスなどのイベントと連動させる場合に、
〈 イベント 〉を選択します。
3. 〈 スケジュールのコピー 〉をクリックすると、現在の設定を選択した別の曜日にコピーすることができます。
※ 曜日ごとに設定する場合は、画面左上の〈 曜日 〉欄をクリックし、任意の曜日を選択します。
4. 設定後〈 OK 〉をクリックし、〈 適用 〉をクリックして完了です。

3.8.2 イベント発生時の各通知手段を設定する

イベント発生時に通知する手段（ブザー / ポップアップ / メール / FTP）を設定できます。

【ブザー】

➤ メニュー > システム設定 > イベント > イベント通知 > ブザー



イベント発生時、ブザーを鳴らす時間の長さを設定できます。

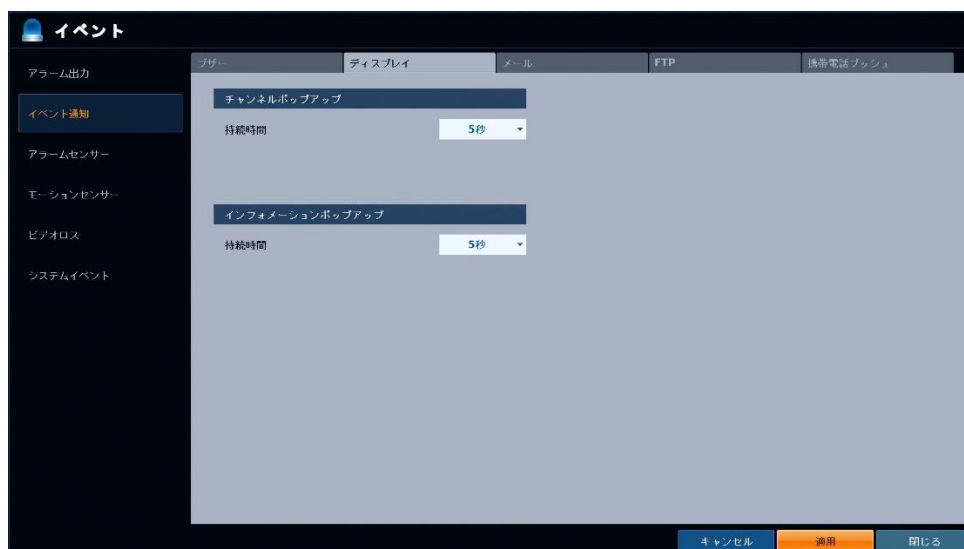
ブザー設定メニューの項目

項目	説明
持続時間	ブザーを鳴らし続ける時間を設定します。 (復帰するまで/5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/キーを押すまで) < 復帰するまで > を選択すると、イベント状態から復帰するまでアラーム出力を継続します。 < キーを押すまで > を選択すると、リモコンまたはマウスの何れかのボタンを押すまでアラーム出力を継続します。 < テスト > をクリックすると、テストとしてブザーを作動させます。

イベント発生時の各通知手段を設定する(つづき)

【 ディスプレイ 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ イベント通知 ＞ ディスプレイ



イベント発生時、特定のカメラをチャンネルポップアップ(一定時間、1画面表示にする)やインフォメーションポップアップ(イベントの内容を画面に表示する)の設定を行うことができます。

ディスプレイ設定メニューの項目

項目	説明
チャンネルポップアップ	イベント発生時、その CH 映像をポップアップする時間を設定します。 (5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/ キーを押すまで) 〈 キーを押すまで 〉を選択すると、リモコンまたはマウスの何れかの ボタンを押すまで 1 画面表示を継続します。
インフォメーション ポップアップ	イベント発生時、画面上に文字を表示する時間を設定します。 (5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/ キーを押すまで) 〈 キーを押すまで 〉を選択すると、リモコンまたはマウスの何れかの ボタンを押すまでインフォメーション表示を継続します。

イベント発生時の各通知手段を設定する(つづき)

【 メール 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ イベント通知 ＞ メール

イベント発生時、指定したアドレスにイベント情報や静止画を送信できます。

メール通知設定メニューの項目

項目	説明
新規メールを追加	<p>＜ 編集 ＞をクリックして、メール送信先アドレスを登録できます。</p> <p>→詳細は、「送信先アドレスを登録・削除する(p.3-89)」をご覧ください。</p>
最小メール送信間隔	<p>メールを送信してから次のメールを送信するまでの間隔を設定します。</p> <p>(0 秒 / 1 分 / 5 分 / 10 分 / 15 分 / 30 分 / 60 分)</p> <p>※ メールサーバーによって、配信周期が短すぎるメールをブロックするものがあります。その場合、この設定によってメール配信の間隔を設定し、通知もれを回避します。</p>
スナップショット イメージを含める	<p>チェックを入れると、メールにイベントの発生した CH の静止画を添付します。</p>

メールのお知らせ時間設定の項目

項目	説明
日 ～ 土	<p>メールを受け取る曜日を選択します。</p> <p>各曜日のボックスをクリックします。</p>
開始 - 終了	<p>メールを受け取る時間帯を設定します。</p>

※ メール受け取り設定手順については、「メール受け取り時間の設定(p.3-90)」をご覧ください。

イベント発生時の各通知手段を設定する(つづき)

【 送信先アドレスを登録・削除する 】

以下の手順で、イベント発生時の送信先アドレスを登録できます。

1. 〈 新規メールを追加 〉欄の〈 編集 〉をクリックします。
2. 〈 メール 〉枠をダブルクリックし、バーチャルキーボードよりアドレスを入力します。
アドレス入力後、〈 追加 〉をクリックします。

The screenshot shows a dark-themed '編集' (Edit) dialog box. At the top, there is a label 'メール' (Email) next to a text input field containing 'kb.test@device.com'. To the right of the input field is an orange button labeled '追加' (Add). Below the input field is a large, empty blue rectangular area labeled 'リスト' (List) on the left. At the bottom of the dialog, there are two blue buttons: '削除' (Delete) on the left and '閉じる' (Close) on the right.

3. 〈 リスト 〉欄に入力したアドレスが追加されていることを確認します。

The screenshot shows the same '編集' (Edit) dialog box as before, but now the 'リスト' (List) area contains a single entry: 'kb.test@device.com'. This entry is highlighted with a yellow background. The 'メール' (Email) input field is now empty. The '追加' (Add) button is still present. The '削除' (Delete) and '閉じる' (Close) buttons remain at the bottom.

4. 登録したアドレスを削除する場合は、〈 リスト 〉欄からアドレスを選択し、〈 削除 〉をクリックします。
5. 設定完了後は、〈 閉じる 〉をクリックし、〈 適用 〉をクリックして完了です。

イベント発生時の各通知手段を設定する(つづき)

【メール受け取りの時間の設定】

以下の手順で、イベントメールを受け取る日時を設定することができます。

1. 各スケジュールの曜日を選択し、クリックします。

スケジュール 1	日	月	火	水	木	金	土	開始 ~ 終了					
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	00 ▾	:	00 ▾	~	00 ▾	:

2. 〈 開始 - 終了 〉欄のメールの受け取りを開始する時間(左)および終了する時間(右)を設定します。

スケジュール 1	日	月	火	水	木	金	土	開始 ~ 終了					
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	01 ▾	:	00 ▾	~	02 ▾	:

3. 〈 適用 〉をクリックし、〈 適用 〉をクリックして完了です。

イベント発生時の各通知手段を設定する(つづき)

【 FTP 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ イベント通知 ＞ FTP

イベント発生時、FTP サーバーにテキストデータを送信できます。

FTP 通知設定メニューの項目

項目	説明
FTP サーバー	テキストデータ保存先の FTP サーバーを登録できます。 ※FTP サーバーを利用する場合は、本機をインターネットに接続しておく必要があります。ネットワークの設定については、「3.5.2 ネットワークアドレスを設定する(p.3-43)」をご覧ください。 ※FTP サーバーの登録手順については、「FTP サーバーを登録・編集する(p.3-92)」をご覧ください。
ディレクトリ	FTP 内の保存先ディレクトリ名の設定を行います。 (手動 / 手動_日付 / システム ID / システム ID_日付) < 手動 >を選択した場合、任意でディレクトリ名を設定します。
ファイル名	保存するテキストデータのファイル名の設定を行います。 (手動 / 手動_日付_時刻 / システム ID / システム ID_日付_時刻) < 手動 >を選択した場合、任意でファイル名を設定します。
最小通知間隔	メールを送信してから次のメールを送信するまでの間隔を設定します。 ※メールサーバーによって、配信周期が短すぎるメールをブロックするものがあります。その場合、この設定によってメール配信間隔を設定し通知漏れを回避します。
Web Link を含める	チェックを入れると、テキストデータにブラウザからアクセスするためのアドレスを添付します。

スナップショット イメージを含める	チェックを入れると、テキストデータにイベントの発生した CH の静止画を添付します。
HELP	クリックすると、FTP 通知設定に関する補足説明を表示します。 〈 終了 〉をクリックすると、閉じます。

【 FTP サーバーを登録・編集する 】

以下の手順で、FTP サーバー情報を設定することができます。

1. 〈 FTP サーバー 〉欄の〈 編集 〉をクリックします。
2. 〈 ホスト名 〉欄をダブルクリックし、バーチャルキーボードよりホスト名を入力します。

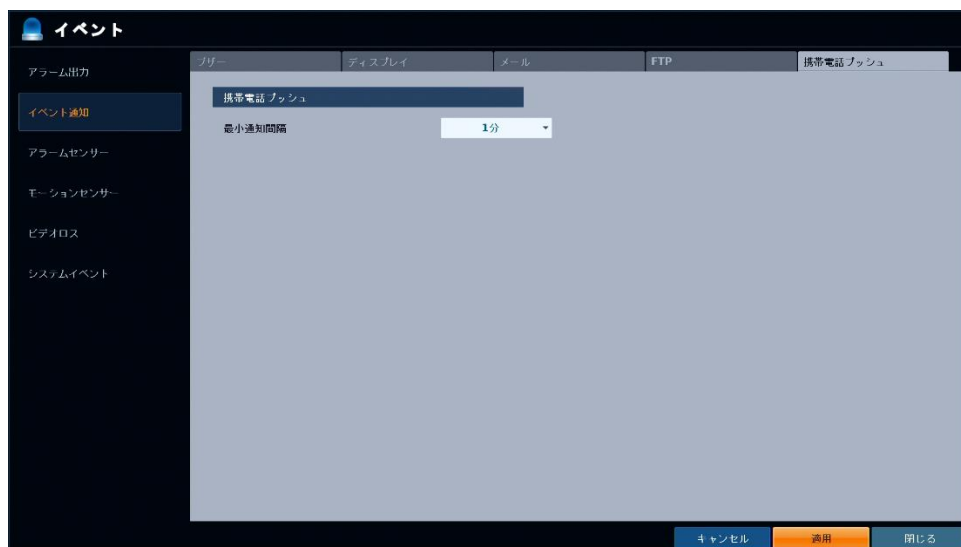
3. 〈 ユーザー名 〉および〈 パスワード 〉欄をダブルクリックし、バーチャルキーボードより設定先の FTP サーバーにアクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。

4. 〈 接続テスト 〉をクリックすると、設定した FTP サーバーへテストアクセスします。
※接続テストエラーと表示されたら、ホスト名など入力した設定値を見直してください。
5. 設定完了後〈 OK 〉をクリックし、〈 適用 〉をクリックして完了です。

イベント発生時の各通知手段を設定する(つづき)

【 携帯電話プッシュ 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ イベント通知 ＞ 携帯電話プッシュ



スマートフォンアプリ「nViewer For Securinet」をインストールし、本機のネットワーク情報が登録済みの場合各イベントが発生時にお使いのスマートフォンにイベント発生通知が送信されます。

「nViewer For Securinet」のインストール方法や登録方法については、「8.6 SEQRINET の利用(p.8-9)」をご覧ください。

携帯電話プッシュ設定メニューの項目

項目	説明
最小通知間隔	イベント発生検知を有効とする最小間隔を選択します。 例：1分に設定した場合、イベント発生を検知した後1分以内に再度発生した同じイベント内容には反応せず、通知を行いません。 アプリからの通知が多すぎる場合にここで調整します。 (0 秒 / 1 分 / 5 分 / 10 分 / 15 分 / 30 分 / 60 分)

3.8.3 外部センサー作動時の動作を設定する


メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ アラームセンサー



外部センサーからアラーム入力信号を検知した場合の動作を設定します。







本機への外部センサー機器の接続については、「1.5.5 外部センサーや警報機を接続する(p.1-18)」をご覧ください。

アラームセンサー設定メニューの項目

項目	説明
AI1～AI16	端子の名称を表示します。
名前	名称を表示します。
動作	<p>アラームの接点タイプを選択します。</p> <p>N/O(A 接点): 通常は Open 状態で、アラーム発生時に Close の状態になります。</p> <p>N/C(B 接点): 通常は Close 状態で、アラーム発生時に Open の状態になります。</p>
連動カメラ	アラーム入力発生時に、録画を行う CH を指定します。
プリセット	<p>アラーム入力発生時に、接続されている PTZ カメラを指定のプリセットに移動させる設定を行います。</p> <p>〈 プリセット 〉にチェックを入れ、  をクリックしてカメラ CH ごとにプリセット位置を指定します。</p>
アラーム出力	<p>アラーム入力発生時に、アラーム出力を行う出力ポートを指定します。</p> <p>N/A はアラーム出力無効です。</p>

外部センサー作動時の動作を設定する(つづき)

アラームセンサー設定メニューの項目(つづき)

項目	説明
	チェックを入れると、アラーム入力検知時にブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、アラーム入力検知時にその CH 映像をポップアップ表示します。
	チェックを入れると、アラーム入力検知時にインフォメーションポップアップを表示します。
	チェックを入れると、アラーム入力検知時にメール通知を行います。
	チェックを入れると、アラーム入力検知時に FTP サーバーに通知を行います。
	チェックを入れると、アラーム入力検知時にお使いのスマートフォンに通知を行います。

各種設定後は、**< 適用 >**をクリックしてください。




3.8.4 モーション検知時の動作を設定する

メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ モーションセンサー







カメラ映像にモーション（動き）が発生した場合の動作を設定することができます。

モーションセンサー設定メニューの項目

項目	説明
カメラ	それぞれの CH のカメラを示します。
無視する時間	<p>モーション検知を有効とする最小間隔を指定します。</p> <p>たとえば 5 秒に設定した場合、モーションを検知した後 5 秒以内に発生したモーションには反応しなくなります。</p> <p>モーション検知の回数が多すぎる場合にここで調整します。</p> <p>(5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒)</p>
アラーム出力	<p>モーション検知時にアラーム出力を行う出力ポートを指定します。</p> <p>N/A はアラーム出力無効です。</p>
プリセット	<p>モーション検知時に接続されている PTZ カメラを指定のプリセットに移動させる設定を行います。</p> <p>〈 プリセット 〉にチェックを入れ、 をクリックしてカメラ CH ごとにプリセット位置を指定します。</p>
	<p>チェックを入れると、モーション検知が発生したときブザーを鳴らします。</p>
	<p>チェックを入れると、モーション検知が発生したときその CH 映像をポップアップ表示します。</p>

モーション検知時の動作を設定する(つづき)

モーションセンサー設定メニューの項目(つづき)

項目	説明
	チェックを入れると、モーション検知時にインフォメーションポップアップを行います。
	チェックを入れると、モーション検知時にメール通知を行います。
	チェックを入れると、モーション検知時に FTP サーバーに通知を行います。
	チェックを入れると、モーション検知時にお使いのスマートフォンに通知を行います。

各種設定後は、**< 適用 >**をクリックしてください。


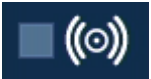

3.8.5 ビデオロス発生時の動作を設定する

メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ ビデオロス



カメラとの接続が途切れ、ビデオロスが発生した場合の動作を設定します。



ビデオロス設定メニューの項目

項目	説明
カメラ	それぞれの CH のカメラを示します。
無視する時間	ビデオロス検知を有効とする最小間隔を指定します。 たとえば 5 秒に設定した場合、ビデオロスを検知した後 5 秒以内に発生したビデオロスには反応しなくなります。 (0 秒 / 5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒)
アラーム出力	ビデオロス発生時、アラーム出力を行う出力ポートを指定します。 N/A はアラーム出力無効です。
プリセット	ビデオロスが発生したときに、接続されている PTZ カメラを指定のプリセットに移動させる設定を行います。 < プリセット >にチェックを入れ、  をクリックしてカメラ CH ごとにプリセット位置を指定します。
	チェックを入れると、ビデオロス検知時にブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、ビデオロス検知時にメール通知を行います。

各種設定後は、< 適用 >をクリックしてください。

ビデオロス発生時の動作を設定する(つづき)

ビデオロス設定メニューの項目(つづき)

項目	説明
	チェックを入れると、ビデオロス検知時に FTP サーバーに通知を行います。
	チェックを入れると、ビデオロス検知時にお使いのスマートフォンに通知を行います。

各種設定後は、**< 適用 >**をクリックしてください。

3.8.6 システムイベント発生時の動作を設定する

【 ディスク 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ システムイベント ＞ ディスク








書き込みエラーなど HDD に関するイベントが発生した場合の動作を設定します。

イベントタイプの項目

項目	説明
上書き開始	古いデータから上書きを開始する場合の動作を設定します。 HDD 上書きモードをく オン 〉に設定している場合に有効となります。
HDD 空き容量なし	HDD の空き容量がなくなった場合の動作を設定します。 HDD 上書きモードをく オフ 〉に設定している場合に有効となります。
HDD 使用量警告	HDD の使用量が一定量を超えた場合の動作を設定します。 たとえば、90%と設定した場合、HDD の記録容量が 90%を超えたときにイベント発生時のアクションを起します。 (50% / 60% / 70% / 80% / 90%)
S.M.A.R.T.エラー	HDD に異常が発生した場合の動作を設定します。
HDD 認識エラー	接続中の HDD が認識できなくなった場合の動作を設定します。

システムイベント発生時の動作を設定する(つづき)

【 ディスク(つづき) 】

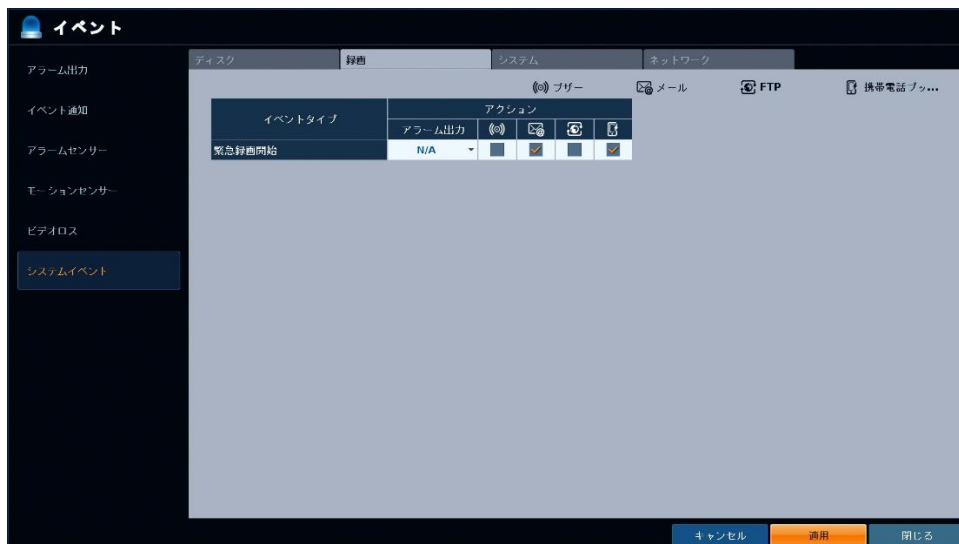
アクションの項目	
項目	説明
アラーム出力	ディスクイベント発生時に、アラーム出力を行う出力ポートを選択します。 < N/A >は、アラーム出力無効となります。
	チェックを入れると、ディスクイベント発生時にブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、ディスクイベント発生時にインフォメーションポップアップを表示します。
	チェックを入れると、ディスクイベント発生時にメール通知を行います。
	チェックを入れると、ディスクイベント発生時に FTP サーバーに通知を行います。
	チェックを入れると、ディスクイベント発生時にお使いのスマートフォンに通知を行います。

各種設定後は、< 適用 >をクリックしてください。

システムイベント発生時の動作を設定する(つづき)

【 録画 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ システムイベント ＞ 録画

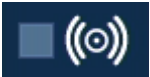


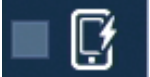


緊急録画を開始した場合の動作を設定します。

イベントタイプの項目

項目	説明
緊急録画開始	手動録画を開始する場合の動作を設定します。

アクションの項目

項目	説明
アラーム出力	緊急録画開始時に、アラーム出力を行う出力ポートを選択します。 < N/A >は、アラーム出力無効となります。
	チェックを入れると、緊急録画開始時にブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、緊急録画開始時にメール通知を行います。
	チェックを入れると、緊急録画開始時に FTP サーバーに通知を行います。
	チェックを入れると、緊急録画開始時にお使いのスマートフォンに通知を行います。

各種設定後、**＜ 適用 ＞**をクリックしてください。

システムイベント発生時の動作を設定する(つづき)

【 システム 】

➤ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ システムイベント ＞ システム








本機の温度警告などシステムに関するイベントが発生した場合の動作を設定します。

イベントタイプの項目

項目	説明
システム起動	本機が起動した場合の動作を設定します。
ログインエラー	パスワードの誤入力によりログインに失敗した場合の動作を設定します。 ※ イベントタイプ項目をクリックし、ログインに何回失敗したらイベントを発生させるかを指定することができます。 (リトライ 1 回 / 2 回 / 3 回 / 4 回 / 5 回)
回転ファン異常	本機に内蔵されている冷却ファンに異常が発生した場合の動作を設定します。 <u>ファン異常が発生した場合は、販売店までお問い合わせください。</u>
内部温度異常	本機内部の一定以上の温度を越えた場合の動作を設定します。

システムイベント発生時の動作を設定する(つづき)

【 システム(つづき) 】

アクションの項目	
項目	説明
アラーム出力	システムイベント発生時に、アラーム出力を行う出力ポートを選択します。 < N/A >は、アラーム出力無効となります。
	チェックを入れると、システムイベント発生時にブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、システムイベント発生時にインフォメーションポップアップを表示します。
	チェックを入れると、システムイベント発生時にメール通知を行います。
	チェックを入れると、システムイベント発生時に FTP サーバーに通知を行います。
	チェックを入れると、システムイベント発生時にお使いのスマートフォンに通知を行います。

各種設定後、< 適用 >をクリックしてください。

システムイベント発生時の動作を設定する(つづき)

【 ネットワーク 】

➤ メニュー > システム設定 > イベント > システムイベント > ネットワーク








ネットワークに関するイベントが発生した場合の動作を設定します。

イベントタイプの項目

項目	説明
ネットワークエラー	<p>本機のネットワーク接続にエラーが発生した場合の動作を設定します。</p> <p>※ 本機のネットワーク設定を行わない場合は、通知を行わない設定にしてください。</p>
クライアントログインエラー	<p>クライアント PC から本機へログインに失敗した場合の動作を設定します。</p> <p>※ 本項目をクリックし、ログインに何回失敗したらイベントを発生させるかを指定することができます。</p> <p>(リトライ 1 回 / 2 回 / 3 回 / 4 回 / 5 回)</p>
DDNS 更新エラー	<p>DDNS アドレスの更新に失敗した場合の動作を設定します。</p> <p>※ 本項目をクリックし、更新に何回失敗したらイベントを発生させるかを指定することができます。</p> <p>(リトライ 1 回 / 2 回 / 3 回 / 4 回 / 5 回)</p>
IP 衝突イベント	<p>同じネットワーク内に IP アドレスが重複している場合の動作を設定します。</p>

システムイベント発生時の動作を設定する(つづき)

【 ネットワーク(つづき) 】

アクションの項目	
項目	説明
アラーム出力	ネットワークイベント発生時に、アラーム出力を行う出力ポートを選択します。 ＜ N/A ＞は、アラーム出力無効となります。
	チェックを入れると、ネットワークイベント発生時にブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、ネットワークイベント発生時にインフォメーションポップアップを表示します。
	チェックを入れると、ネットワークイベント発生時にメール通知を行います。
	チェックを入れると、ネットワークイベント発生時に FTP サーバーに通知を行います。
	チェックを入れると、ネットワークイベント発生時にお使いのスマートフォンに通知を行います。

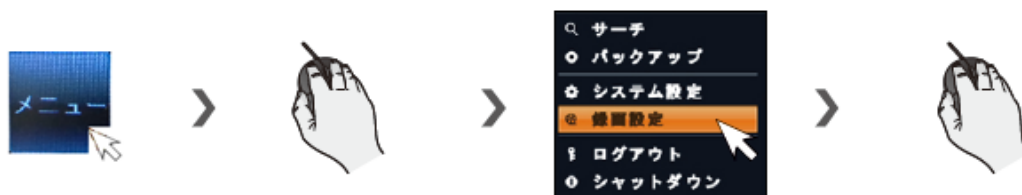
各種設定後、＜ 適用 ＞をクリックしてください。

3.9 録画設定

本機の録画モードや解像度・フレームレートなどを設定することができます。

【 録画設定画面に入るには 】

マウスの使用方法



リモコンの使用方法



【 設定を終えるとき 】

設定値を保存するときは、画面下の「適用」を選択してください。

画面下のアイコン	内容
キャンセル	クリックすると設定値を破棄し、変更前の状態に戻ります。
適用	クリックすると変更した設定値を更新し、保存します。
閉じる	クリックすると設定メニューを閉じてライブ画面に戻ります。

3.9.1 録画モードを選択する

➤ メニュー ＞ 録画設定 ＞ 録画モード設定



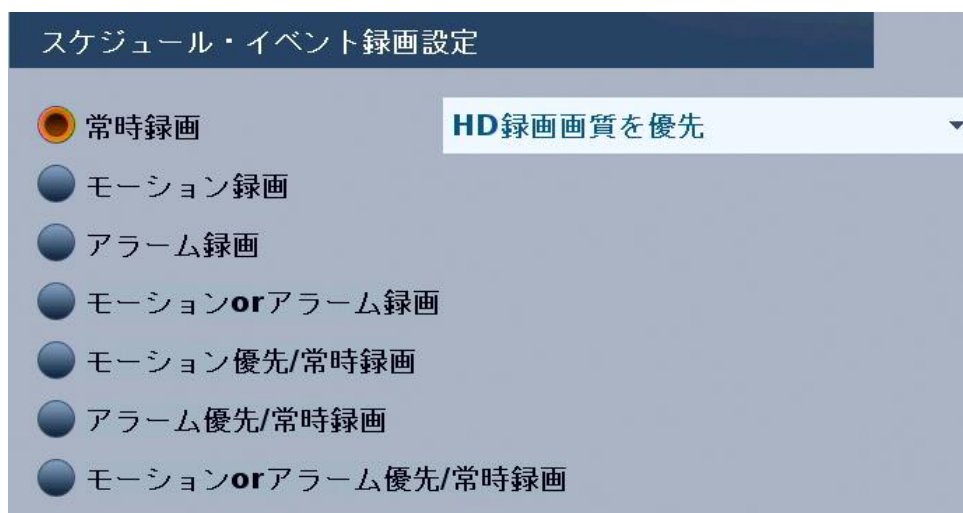
録画モード設定メニューの項目

項目	説明
モード	録画モードを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ かんたん設定 ： 推奨の記録モードの中から選択して録画を行います。（解像度やフレームレートは自動的に設定されます。）・ マニュアル設定 ： 解像度やフレームレートを詳細に設定して録画を行います。（解像度やフレームレートを任意で設定して録画を行います。） ※IP カメラを登録・運用する場合は、マニュアル設定モードを選択してください。
スケジュール イベント録画設定	〈 モード 〉で選択した録画モードによって、設定内容が異なります。 詳細は、【かんたん設定 (p.3-109)】または、【マニュアル設定 (p.3-110)】をご覧ください。
緊急録画時間	緊急録画を開始した際、何分間録画を行うかを設定します。 (手動 / 1 分 / 5 分 / 10 分 / 20 分 / 30 分 / 40 分 / 50 分 / 60 分) ※手動 ： ユーザーが緊急録画を停止するまで録画を継続します。
ビットレート コントロール	ビットレートを設定します。(可変ビットレート / 固定ビットレート) ※設定内容によって本機の記録できる日数が変わります。 詳細は、【 13 章 録画日数表 (13-1 ページ) 】をご覧ください。

録画モードを選択する(つづき)

【 スケジュール・イベント録画設定(かんたん設定) 】

➤ メニュー > 録画設定 > 録画モード > モード(かんたん設定) > スケジュール・イベント録画設定



録画モードにて「かんたん設定」を選択します。

スケジュール・イベント録画設定の項目(かんたん設定)

項目	説明
常時録画 (HD 録画日数を優先)	長期間の録画ができるよう解像度/画質/フレームレートを自動で調整します。
常時録画 (HD 録画画質を優先)	最大解像度/最高画質/最大フレームレートで連続録画(24 時間録画)を行います。
モーション録画	普段は録画を行わず、モーションを検知した場合のみ録画を行います。
アラーム録画	普段は録画を行わず、アラーム入力が発生した場合のみ録画を行います。
モーション or アラーム録画	普段は録画を行わず、モーション検知あるいはアラーム入力が発生した場合のみ録画を行います。
モーション優先/ 常時録画	普段は低解像度/低画質/低フレームレートで録画を行い、モーションを検知した場合に、最大解像度/最高画質/最大フレームレートで録画を行います。
アラーム優先/ 常時録画	普段は低解像度/低画質/低フレームレートで録画を行い、アラーム入力が発生した場合に最大解像度/最高画質/最大フレームレートで録画を行います。
モーション or アラーム 優先/常時録画	普段は低解像度/低画質/低フレームレートで録画を行い、モーション検知あるいはアラーム入力が発生した場合に最大解像度/最高画質/最大フレームレートで録画を行います。

録画モードを選択する(つづき)

【 スケジュール・イベント録画設定(マニュアル設定) 】

➤ メニュー > 録画設定 > 録画モード > モード(マニュアル設定) > スケジュール・イベント録画設定

スケジュール/イベント録画設定	
スケジュール設定	毎日 ▼
プリイベント録画時間	5秒 ▼
ポストイベント録画時間	30秒 ▼

スケジュール/イベント録画設定メニューの項目(マニュアル設定)

項目	説明
スケジュール設定	スケジュールを行う単位を設定します。 毎日 : 毎日同じスケジュールで録画を行います。 曜日 : 1 週間のうち曜日ごとに異なるスケジュールで録画を行います。 ※ スケジュール設定時に、曜日ごとに録画タイミングを設定したい場合は、 「曜日」を必ず選択してください。
プリイベント録画	イベント発生は何秒前からの映像を録画するかを設定します。 ※10 秒または 15 秒を選択した場合、解像度を下げた映像でプリイベント 録画を行います。
ポストイベント録画	イベント発生は何秒後まで映像を録画するかを設定します。

※ マニュアル設定を適用する場合は、これ以降の常時録画・モーション録画・アラーム録画
の設定を行ってください。

3.9.2 常時録画時のパラメータ・スケジュールを設定する

メニュー ＞ 録画設定 ＞ 常時録画

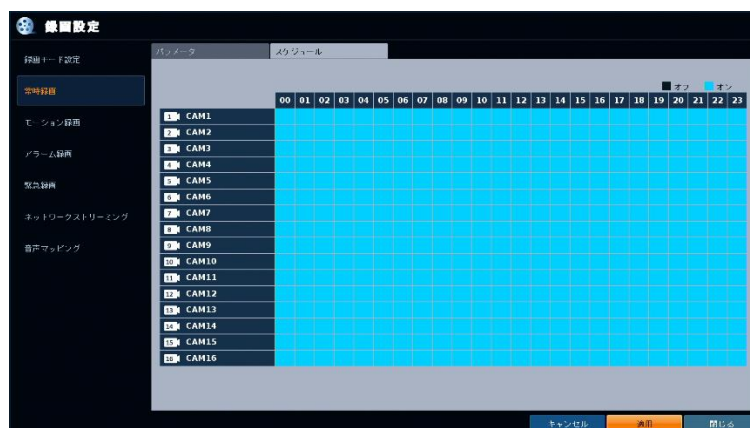


常時録画(24 時間録画)の解像度・フレームレートやスケジュールを設定します。

<< 注意 >>

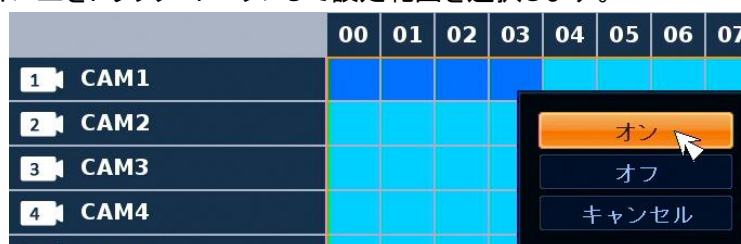
常時録画とその他録画モードを併用して運用する場合は、AHD カメラが接続された CH に対してのみ有効です。
IP カメラを接続している CH は、常時録画とその他録画モードとの併用はできませんのでご注意ください。

1. < スケジュール > タブをクリックします。



常時録画時のパラメータ・スケジュールを設定する(つづき)

2. 各 CH のタイムライン上をドラッグ&ドロップして設定範囲を選択します。



＜ オン ＞を選択すると有効となり、水色で表示されます。(オフは黒色で表示されます。)

初期設定では、全 CH が全ての時間、常時録画機能が有効となっています。

3. ＜ スケジュール設定 ＞が＜ 曜日 ＞である場合、曜日ごとにスケジュールを設定できます。



4. スケジュール設定後、＜ 適用 ＞をクリックします。

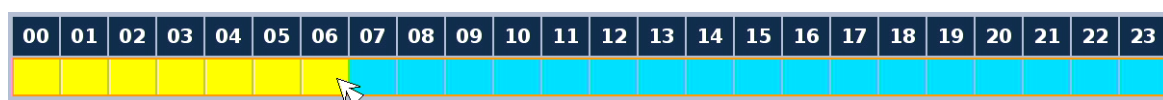
常時録画時のパラメータ・スケジュールを設定する(つづき)

5. 続けて、< パラメータ >タブをクリックします。



6. 画面上のタイムライン上をドラッグ&ドロップして、設定範囲を選択します。

7. パラメータ設定画面で、各 CH 行の項目を設定します。



項目	説明
解像度	録画する画像サイズを指定します。
FPS	フレームレート(1 秒間に何枚の画像を録画するか)を指定します。
画質	録画する画質を指定します。
音声	音声記録を行うかどうかを設定します。
<< 注意 >>	
IP カメラを登録している CH は、音声記録はできません。	
ただし、ライブ画面にてライブ音声を出力することはできます。	
ライブ音声出力の手順については、「3.3.1 スピーカーから音声を出力する (p.3-32)」をご覧ください。	

8. 設定後、< OK >をクリックし、< 適用 >をクリックして完了です。
適用後は、設定されたパラメータ・スケジュールで常時録画を行います。

3.9.3 モーション録画時のパラメータ・スケジュールを設定する

➤ メニュー ＞ 録画設定 ＞ モーション録画

	解像度	FPS	画質	音声
CAM1	1920x1080	7	標準	オフ
CAM2	1280x720	7	標準	オフ
CAM3	1280x720	7	標準	オフ
CAM4	1280x720	7	標準	オフ

動きを検知した際の録画の解像度・フレームレートやスケジュールを設定することができます。

設定手順は、常時録画と同様となります。

詳細は、「3.9.2 常時録画のパラメータ・スケジュールを設定する(p.3-111)」をご覧ください。

3.9.4 アラーム録画時のパラメータ・スケジュールを設定する

➤ メニュー ＞ 録画設定 ＞ アラーム録画

	解像度	FPS	画質	音声
CAM1	1920x1080	7	標準	オフ
CAM2	1280x720	7	標準	オフ
CAM3	1280x720	7	標準	オフ
CAM4	1280x720	7	標準	オフ

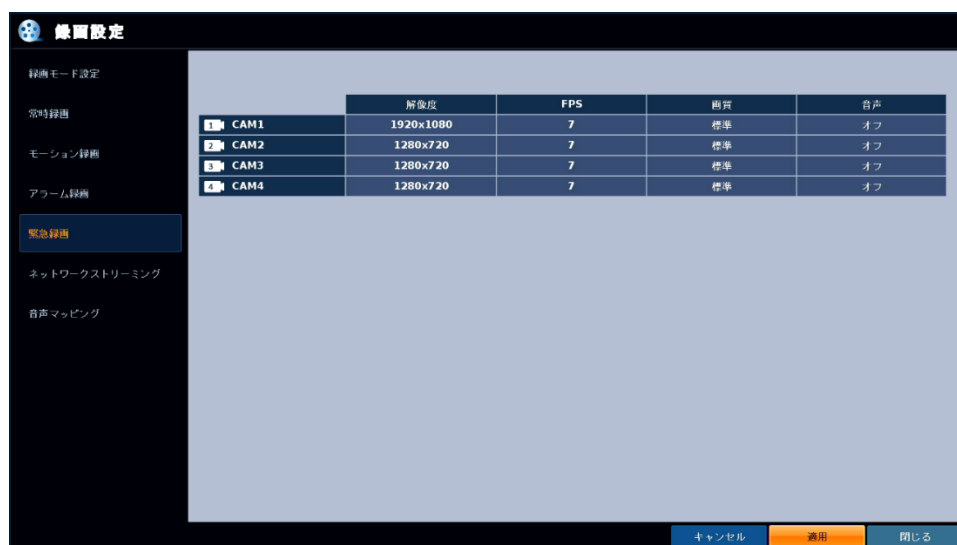
アラーム録画の解像度・フレームレートやスケジュールを設定することができます。

設定手順は、常時録画と同様となります。

詳細は、「3.9.2 常時録画のパラメータ・スケジュールを設定する(p.3-111)」をご覧ください。

3.9.5 緊急録画時のパラメータを設定する

➤ メニュー ＞ 録画設定 ＞ 緊急録画



緊急録画の解像度・フレームレートなどを設定することができます。

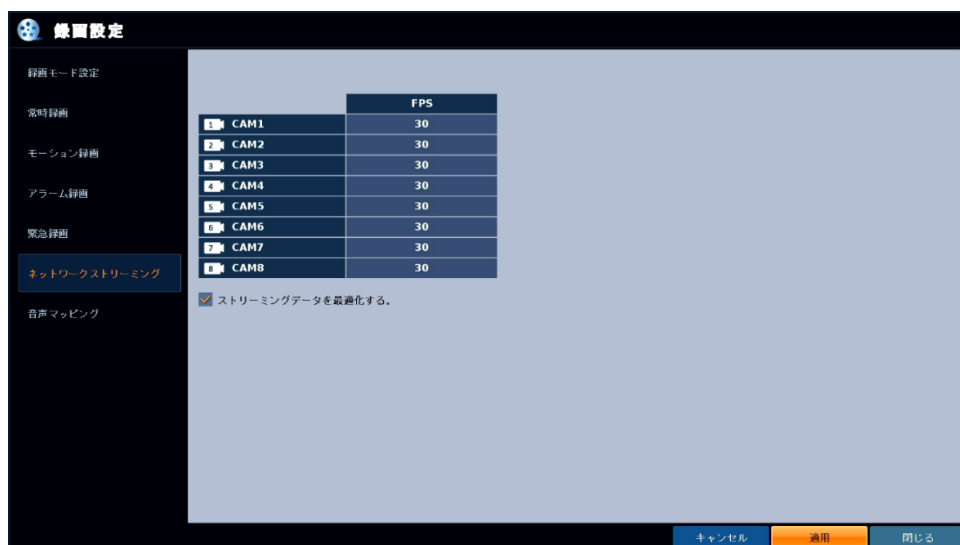
設定手順は、常時録画と同様となります。

詳細は、「3.9.2 常時録画のパラメータ・スケジュールを設定する(p.3-111)」をご覧ください。

※緊急録画設定には、スケジュールを設定する項目はありません。

3.9.6 ネット配信時の FPS を設定する

➤ メニュー ➤ 録画設定 ➤ ネットワークストリーミング



＜ ストリーミングデータを最適化する ＞のチェックを外すと、CH ごとに遠隔配信時のフレームレートを設定できます。



プルダウンをクリックし、配信時の FPS 値を選択し＜ OK ＞をクリックしてください。

例：CAM1－1FPS CAM2～4－30FPS の場合、CAM1 のみ 1FPS、CAM2～4 は 30FPS でネット配信を行います。

設定後は、＜ 適用 ＞をクリックしてください。

3.9.7 音声マッピングを割り当てる

➤ メニュー ➤ 録画設定 ➤ 音声マッピング



接続中のカメラ CH に割り当てる音声入力ポートを設定することができます。

プルダウンをクリックし、カメラ CH に紐付ける音声入力ポートを選択してください。

設定後は、＜ OK ＞をクリックしてください。

<< 注意 >>

IP カメラを登録している CH は、ライブ音声のみ視聴することができますが、マイクによる録音はできません。
あらかじめご了承ください。

4章 検索・再生

本機に記録した映像を検索（サーチ）・再生を行います。

以下のいずれかの方法で、サーチ画面に入ることができます。

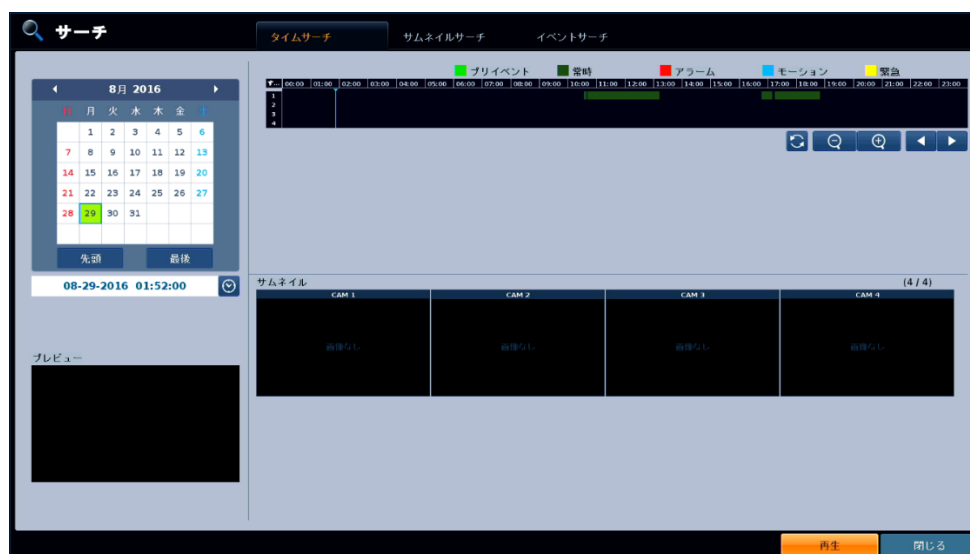


以下の検索方法から選択してください。

- **タイムサーチ** … カレンダーとタイムバーから日時を選択し、映像を検索します。（→p.4-2）
- **サムネイルサーチ** … 1時間ごと/1分ごとなど、映像を一覧表示して検索します。（→p.4-4）
- **イベントサーチ** … アラームやモーションなどのイベントログから、映像を検索します。（→p.4-6）

4.1 タイムサーチ

メニュー > サーチ > タイムサーチ



カレンダーとタイムバーを使用して記録映像を検索します。

1. サーチ画面上方の「タイムサーチ」タブをクリックします。



2. 画面左上のカレンダーから、見たい映像の日付を選択します。
※ 録画映像がある日付は背景が黄色で表示されます。

＜ カレンダーの見方 ＞



タイムサーチ(つづき)




3. カレンダー上で日付を選択し、画面右上にタイムバーが表示されます。
ドラッグ&ドロップでタイムバーを移動させ、見たい映像の時間帯を選択します。

※ タイムバー上では、映像のある時間帯が録画モードごとに色つきで表示されます。

緑 … 常時録画 / 赤 … アラーム録画 / 青 … モーション録画
黄 … 緊急録画 / 黄緑 … プリイベント録画



タイムバーでの操作項目

アイコン	説明
	タイムバーを最新の状態に更新します。
	タイムバーをズームイン / ズームアウトします。
	タイムバーを左右にスクロールします。

※再生日時を細かく設定したい場合

再生する映像の日時が判明している場合は、直接日時を指定して再生を行うことができます。

- ① カレンダー下の時刻入力欄にある  をクリックし、日時指定ウィンドウを表示します。
- ② 上下の矢印のアイコンをクリックし、年/月/日/時/分/秒 を設定します。

日付/時刻

年	月	日	時	分	秒
▲▼	▲▼	▲▼	▲▼	▲▼	▲▼
2015	02	05	19	22	02
▼▲	▼▲	▼▲	▼▲	▼▲	▼▲

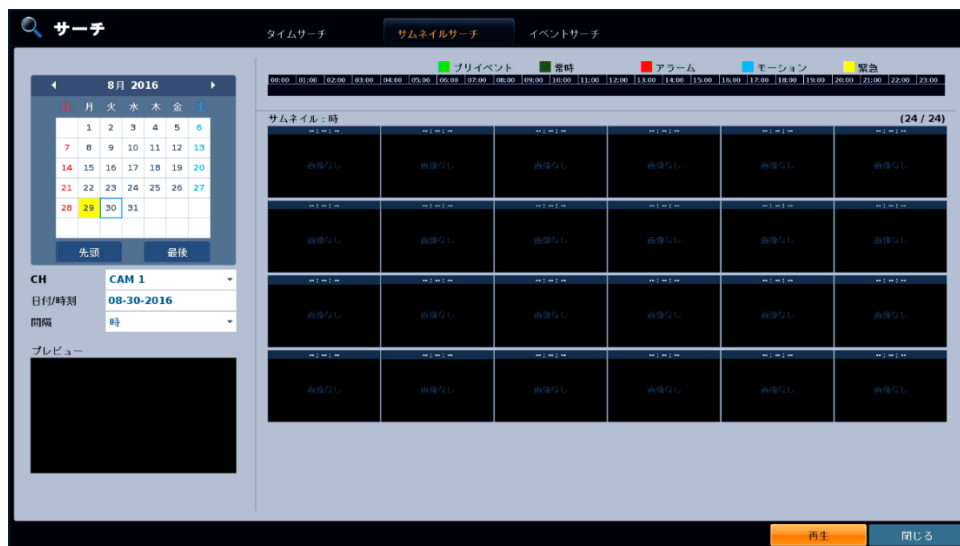
OK

キャンセル

- ③ < OK > をクリックします。
4. 画面右下の< 再生 > をクリックすると、再生画面となり選択した時間からの映像を表示します。
※再生画面の操作方法については、「4.4 再生画面での操作・見方 (p.4-8)」をご覧ください。

4.2 サムネイルサーチ

➤ メニュー ＞ サーチ ＞ サムネイルサーチ



CH ごとに 1 日ごと、1 時間ごと、あるいは 1 分ごとの映像の一覧を表示して検索します。

1. サーチ画面上方の「サムネイルサーチ」タブをクリックします。



2. 画面左上のカレンダーから、見たい映像の日時を選択します。

※ カレンダーの見方については、「4.1 タイムサーチ<カレンダーの見方>(p.4-2)」をご覧ください。

3. カレンダー下の各項目を以下のように設定します。

- CH … 検索対象とするカメラチャンネルを選択します。
- 日付/時刻 … 表示するサムネイルの開始日時を設定します。(設定後は、「OK」をクリックします。)
- 間隔 … 表示する一覧を 1 日ごと/1 時間ごと/1 分ごとにするかを選択します。

CH	CAM 1
日付/時刻	2019-01-21 07H
間隔	分

サムネイルの日時

年	月	日
2016	07	05

OK キャンセル

サムネイルサーチ(つづき)

- 画面右上のタイムバーから、検索する時間帯を選択します。
※ タイムバーの見方については、「4.1 タイムサーチ(p.4-2)」をご覧ください。
- 画面右に映像のサムネイルが表示されるので、その中から再生したいサムネイルをクリックします。
画面左下のプレビューウィンドウに映像が再生されます。



- 画面下の「再生」をクリックすると、再生画面となり選択した時間からの映像を表示します。
※再生画面の操作方法については、「4.5 再生画面での操作・見方(p.4-8)」をご覧ください。

4.3 イベントサーチ


➤ メニュー ＞ サーチ ＞ イベントサーチ



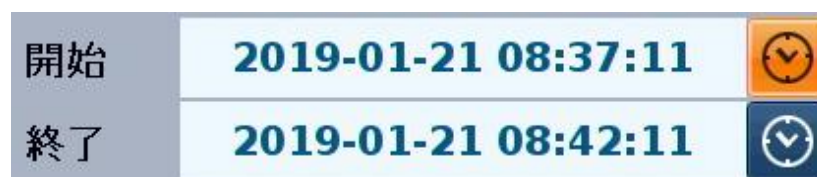
指定した時間帯に発生したイベントログを検索し、その時刻の映像を再生することができます。

1. サーチ画面上方の「 イベントサーチ 」タブをクリックします。

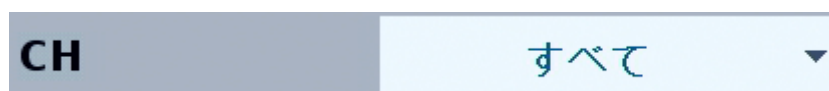


2. 画面左上の「 開始 」の  をクリックし、検索開始点となる日時を指定します。

画面左上の「 終了 」の  をクリックし、検索終了点となる日時を指定します。



3. 画面左上の「 CH 」のプルダウンをクリックし、検索対象とするカメラチャンネルを選択します。



イベントサーチ(つづき)

4. 画面左上の「イベント」欄から検索対象とするイベントを選択します。
 「すべて」のチェックを入れると、全イベント検索を検索できます。
 検索対象を設定後、「サーチ」をクリックします。

- アラーム : アラーム入力を検出したログを検索します。
 - ビデオ : ビデオロスを検出したログを検索します。
 - システム : ログインやシステム起動、システムエラーなどのログを検索します。
 - ネットワーク : 遠隔接続やネットワークエラーなどのログを検索します。
 - モーション : モーション検知が発生したログを検索します。
 - 録画 : 各録画モードで録画を開始したログを検索します。
 - ストレージ : HDD エラーなどが発生したログを検索します。
 - 設定 : レコーダーの設定変更を行ったログを検索します。
5. 検索で表示されたログの中から再生したい映像のものを選択します。
 「並び替え」でイベントログの並びを変更できます。

種類	時間	ログ
システム設定	08-29-2016 18:38:20	ADMINログオン
録画	08-29-2016 18:37:39	CH 01 : 常時録画スタート
ビデオ	08-29-2016 18:37:39	#01ビデオロス復帰
録画	08-29-2016 18:37:32	CH 01 : 常時録画ストップ
ビデオ	08-29-2016 18:37:32	#01ビデオロス検出
システム設定	08-29-2016 18:37:25	ADMINログオフ

6. 画面下の「再生」をクリックすると、再生画面となりイベント発生時の映像を表示します。
 ※再生画面の操作方法については、「4.4 再生画面での操作・見方 (p.4-8)」をご覧ください。

4.4 再生画面での操作・見方

4.4.1 各種アイコンのはたらき

再生画面内では、記録映像や再生・停止アイコンなどさまざまなアイコンが表示されています。
各アイコンと内容については、次ページをご覧ください。

タイムライン

→詳細は、「2.2 タイムラインの見方(p.2-4)」をご覧ください。



再生映像の録画時刻を表示します。

画面表示を切り替えます。

サーチ画面やライブ画面に移動します。

※表示パネル上で右クリックすると、クイックメニューが表示されます。



各種アイコンのはたらき(つづき)

再生画面アイコン

アイコン	説明
	再生画面を最大化します。
	画面の分割表示を切り替えます。 4CH モデル : 最大 4 分割 8CH モデル : 最大 9 分割 16CH モデル : 最大 16 分割 << 注意 >> 録画再生時、1 画面表示から分割表示画面に切替えると、フレーム処理のため 1 コマ進んだ状態で表示されます。また、画面を切替えた際に映像が非表示の状態であっても、再生アイコン  をクリックすることで正常に映像再生を再開します。
	OSD メニューを非表示にします。
	再生中、映像を 5 秒戻します。
	再生中: 巻戻しを行います。 クリックするごとに倍率を変更できます。(x2 / x4 / x8 / x16 / x32 / x64) 一時停止中: コマ戻しを行います。(1 フレームずつ戻します。)
	逆方向再生をします。
	再生中に一時停止をします。
	正方向再生をします。
	再生中: 早送りを行います。 クリックするごとに倍率を変更できます。(x2 / x4 / x8 / x16 / x32 / x64) 一時停止中: コマ送りをを行います。(1 フレームずつ進みます。)
	再生中、映像を 5 秒送ります。
	1 画面表示のとき、デジタルズーム画面に入ります。 ※詳細は、「2.5 映像を拡大表示する(p.2-9)」をご覧ください。
	1 画面表示のとき、カメラのスナップショット(静止画)を保存します。 ※詳細は、「4.4.2 スナップショット保存(p.4-10)」をご覧ください。
	録画映像をバックアップするためのリザーブデータ(予約)を作成します。 ※詳細は、「4.4.3 バックアップ予約をする(p.4-12)」をご覧ください。

4.4.2 スナップショットを保存する

- ライブ画面 > 表示パネル上で右クリック > 静止画
- 再生画面 > 表示パネル上で右クリック > 静止画

ライブ映像や記録映像の1コマを静止画として保存することができます。

※ カメラからの映像がないチャンネルは、スナップショットを行うことはできません。

1. USB メモリーを本機に接続します。
接続箇所については、「1.3 本機各部の名称とはたらき(p.1-4)」をご覧ください。
2. スナップショットを行うCHを選択し、表示パネル上で右クリックします。



3. < 静止画 > をクリックし、静止画取得画面を表示します。



4. < 書込 > をクリックすると、USB メモリーなどに静止画を保存することができます。
< リザーブ > をクリックすると、現在の静止画のリザーブデータとして、保存することができます。
リザーブした静止画を保存する場合は、「5.2 リザーブデータをバックアップする(p5-20)」をご覧ください。

スナップショットを保存する(つづき)

5. 〈 書込 〉をクリックした場合、さらに書込み設定画面が表示されます。



書込設定メニューの項目

項目	説明
デバイス名	USB メモリーなどを接続している場合、外部メモリー名を表示します。
タグ名	バックアップデータの名前を入力します。(必須)
メモ	テキストデータ内にメモとして情報を入力することができます。(任意)
バックアップ	静止画のバックアップを開始します。
デバイス フォーマット後に 書込	バックアップ先のデバイス内をフォーマットし、 その後、静止画のバックアップを開始します。 ※ あらかじめデバイス内に保存されているデータは全て消去されます。
キャンセル	静止画のバックアップを中止します。

6. 〈 デバイス名 〉と〈 タグ名 〉を設定後、〈 バックアップ 〉をクリックします。

7. 「データの書込みが正常に完了しました。」と表示されたら、〈 OK 〉をクリックしバックアップ完了です。



4.4.3 バックアップ予約をする

➤ 再生画面 > リザーブアイコン



➤ 再生画面 > 表示パネル上で右クリック > リザーブ開始

リザーブ設定

タグ	test1	バックアップチャンネル	<input checked="" type="checkbox"/> CH1	<input checked="" type="checkbox"/> CH2	<input checked="" type="checkbox"/> CH3	<input checked="" type="checkbox"/> CH4
開始						
終了						
メモ	test date					
情報		<input checked="" type="checkbox"/> ログ	<input checked="" type="checkbox"/> コーデック			

* データ保存中はすべてのチャンネルがキープされます。

リザーブ 実行 開始 停止 閉じる

映像を再生中、その時点からのバックアップを行いたい場合に、バックアップ予約(リザーブデータ)を作成できます。

1. 記録映像を再生中、バックアップする映像の開始点となるシーンで、〈 一時停止 〉します。

2. 再生画面右下の予約アイコン



をクリックします。

表示パネル上で右クリックし、〈 リザーブ開始 〉からでも設定できます。

CAM1

ズーム

リザーブ開始

静止画

チャンネル位置変更 ▶

バックアップ予約をする(つづき)


3. リザーブ設定画面にて各項目に入力し、〈 開始 〉をクリックします。

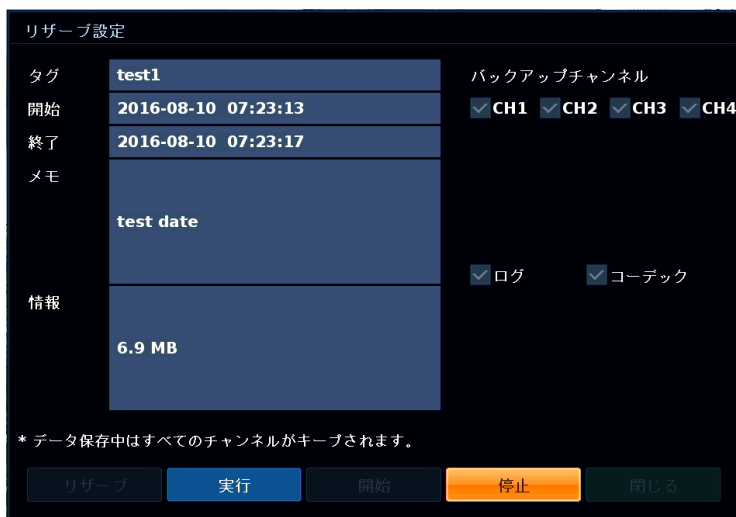
リザーブ設定メニューの項目

項目	説明
タグ	リザーブデータのタイトルを入力します。(必須)
開始	バックアップ映像開始時刻を表示します。
終了	バックアップ映像終了時刻を表示します。
メモ	ブックマークのコメントを入力します。(任意)
情報	バックアップデータの容量を表示します。
バックアップ チャンネル	バックアップを実行するカメラチャンネルを選択します。(必須)
ログ	チェックを入れると、バックアップ時にログのテキストデータを保存します。
コーデック	チェックを入れると、バックアップ時に映像再生に必要なコーデックを保存します。
リザーブ	リザーブデータを登録します。
実行	バックアップを開始/再開します。
開始	開始点において、リザーブを開始します。
停止	終了点において、リザーブを終了します。

※ リザーブデータを作成中は、リザーブ作成アイコンが  と表示されます。

バックアップ予約をする(つづき)

4. リザーブ動作を終了させる場合は、リザーブアイコン  をクリックし、< 停止 >をクリックします。
< 停止 >をクリックすると、< リザーブ >が選択できるようになります。
※クイックメニューから操作する場合は、< リザーブ停止 >をクリックします。
※< 実行 >をクリックすると、リザーブ動作を再開します。



リザーブ設定

タグ	test1	バックアップチャンネル	<input checked="" type="checkbox"/> CH1 <input checked="" type="checkbox"/> CH2 <input checked="" type="checkbox"/> CH3 <input checked="" type="checkbox"/> CH4
開始	2016-08-10 07:23:13		
終了	2016-08-10 07:23:17		
メモ	test date		
情報	6.9 MB	<input checked="" type="checkbox"/> ログ	<input checked="" type="checkbox"/> コーデック

* データ保存中はすべてのチャンネルがキープされます。

- < 開始(終了) >にリザーブ期間が表示されます。
< 情報 >にデータ容量が表示されます。
5. < リザーブ >をクリックし、表示された確認画面で< OK >をクリックしバックアップ予約は完了です。



通知




バックアップデータをリザーブに追加しました。

※ ブックマークした映像を実際に USB メモリーなどに保存するには、「5 章 バックアップ(p.5-1)」をご覧ください。

5章 バックアップ

録画映像を USB メモリーまたは FTP サーバーにバックアップを行います。

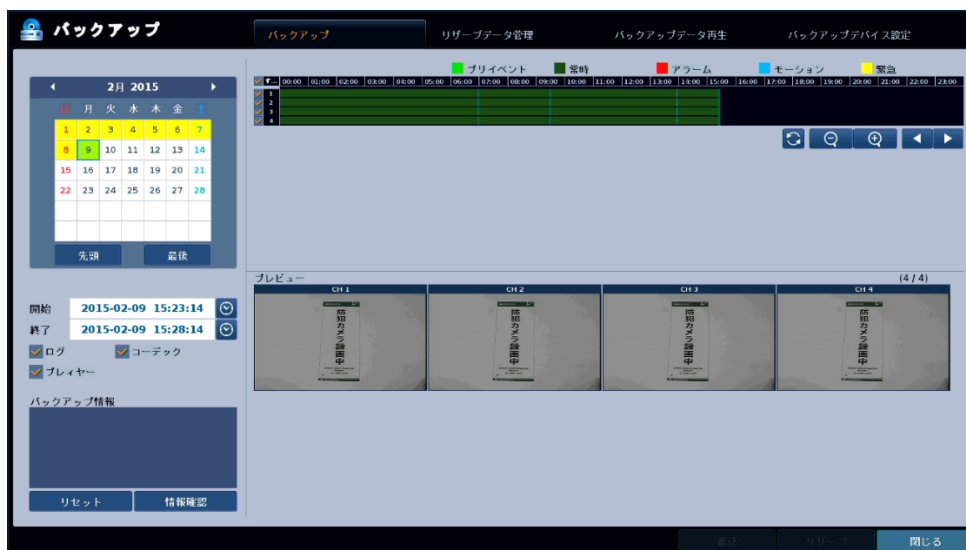
【 バックアップ画面に入るには 】

ライブ画面左下の  をクリックして、〈 バックアップ 〉をクリックします。



5.1 記録映像をバックアップする

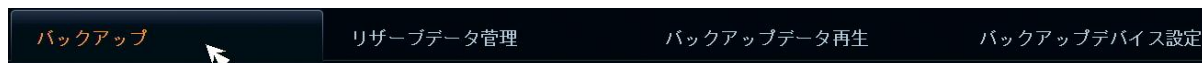
➤ メニュー > バックアップ > バックアップ



開始日時と終了日時を指定してバックアップを行います。

1. USB メモリーを本機に接続します。
接続箇所については、「1.3 本機各部の名称とはたらき(p.1-4)」をご覧ください。

2. バックアップ画面上方の< バックアップ >タブをクリックします。



3. 画面左上のカレンダーから、バックアップする映像の日付を選択します。
※カレンダーの操作については、「4.1 タイムサーチ(p.4-2)」をご覧ください。

4. タイムバーの左側のチェックボックスをクリックし、バックアップを行うカメラチャンネルを選択します。



記録映像をバックアップする(つづき)


5. 画面右上のタイムバーから、映像をバックアップする時間帯をドラッグ&ドロップで範囲選択します。



※ タイムバーの見方・操作については、「4.1 タイムサーチ(p.4-2)」をご覧ください。

※ 1度にバックアップできるデータ容量は、最大 20GB です。

※バックアップ日時を細かく設定したい場合

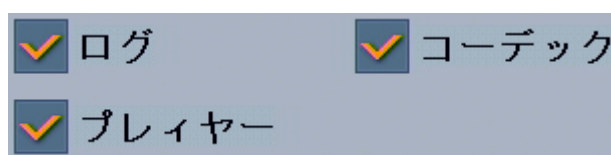
- ① カレンダー下の〈 開始(終了) 〉にある  をクリックし、日時指定ウィンドウを表示します。
- ② 上下の矢印のアイコンをクリックし、年/月/日/時/分/秒 を設定します。

日付/時刻

年	月	日	時	分	秒
2015	02	05	19	22	02

OK キャンセル

- ③ 〈 OK 〉をクリックします。
6. 画面左のチェックボックスで、映像と一緒に保存するデータの設定を行います。



- ログ … チェックを入れると、バックアップ映像のイベントログのテキストデータを保存します。
- プレイヤー … チェックを入れると、バックアップ映像を PC で再生するために必要なプレイヤーを保存します。
- コーデック … チェックを入れると、バックアップ映像を PC で再生するために必要なビデオコーデックを保存します。

記録映像をバックアップする(つづき)

7. 画面左下の〈 情報確認 〉をクリックします。

〈 バックアップ情報 〉欄にバックアップを行うデータの容量を表示します。

8. 画面右下の〈 書込み 〉をクリックします。

※〈 リザーブ 〉をクリックすると、リザーブデータに追加されます。

→詳細は、「5.2 リザーブデータをバックアップする(p.5-6)」をご覧ください。

9. 各項目に設定値を入力します。

- デバイス名 … 保存先のメディアを選択します。
- データ形式 … データの保存形式を選択します。
 - ✓ AVI … 汎用形式です。WindowsMediaPlayerなどで再生できます。
 - ✓ RAW … 独自形式です。再生には専用のソフトが必要です。
 - ✓ RAW(暗号化) … 独自形式に加え、パスワードを設定できます。

パスワード設定欄に再生時のパスワードを入力してください。

- タグ名 … 任意の値を入力してください。
- メモ … 任意の値を入力してください。

記録映像をバックアップする(つづき)

10. < バックアップ >をクリックすると、バックアップを実行します。

< デバイスフォーマット後にバックアップ >をクリックすると、始めに保存先デバイスをフォーマットし、その後、バックアップを行います。

※バックアップ中は、下記項目にご注意ください。

- 全ての操作ができなくなります。
- 本機の電源は絶対に切らないでください。
- 実行中は、USB メモリーを本機から抜き取らないでください。

5.2 リザーブデータをバックアップする

➤ メニュー > バックアップ > リザーブデータ管理

[illegible]

リザーブデータ(バックアップ予約した記録映像または静止画)を USB メモリーに保存します。

※リザーブデータ作成方法は、「4.4.3 バックアップ予約をする(p.4-12)」をご覧ください。

静止画のリザーブデータ作成については、「4.4.2 スナップショットを保存する(p.4-10)」をご覧ください。

1. USB メモリーを本機に接続します。

接続箇所については、「1.3 本機各部の名称とはたらき (p.1-4)」をご覧ください。

2. バックアップ画面上方の< リザーブデータ管理 >タブをクリックします。



3. 画面左下の「AVI(静止画)」で、リザーブデータの表示を切替えます。



4. リストの中からバックアップを行うデータをクリックして選択します。

※ 選択したファイルは、赤色の枠で囲まれます。

5. 画面右下の〈 書込 〉をクリックします。

※ 〈再生〉をクリックすると映像を再生します。

リザーブデータをバックアップする(つづき)

6. 各項目に設定値を入力します。

- デバイス名 … 保存先のメディアを選択します。
- データ形式 … データの保存形式を選択します。
 - ✓ AVI … 汎用形式です。WindowsMediaPlayerなどで再生できます。
 - ✓ RAW … 独自形式です。再生には専用のソフトが必要です。
 - ✓ RAW(暗号化) … 独自形式に加え、パスワードを設定できます。

パスワード設定欄に再生時のパスワードを入力してください。

- タグ名 … 任意の値を入力してください。
- メモ … 任意の値を入力してください。


7. 〈 バックアップ 〉をクリックすると、バックアップを実行します。

〈 デバイスフォーマット後バックアップ 〉をクリックすると、始めに保存先デバイスをフォーマットし、その後、バックアップを行います。

※バックアップ中は、下記項目にご注意ください。

- 全ての操作ができなくなります。
- 本機の電源は絶対に切らないでください。
- 実行中は、USB メモリーを本機から抜き取らないでください。

【 リザーブデータを削除する場合 】

削除したいデータ行の  をクリックすると、選択したデータが削除されます。

5.3 バックアップデータを再生する

➤ メニュー > バックアップ > バックアップデータ再生




USB メモリーにバックアップした映像を再生や、バックアップデータの情報を確認できます。
本機能を使用する場合は、あらかじめバックアップデータが入った USB メモリーを接続しておく必要があります。

1. バックアップ画面上方の< バックアップデータ再生 >タブをクリックします。



2. 画面上の< サーチ >をクリックし、USB メモリー内のバックアップ映像のリストを表示します。
3. リストの中から、再生したいデータをクリックして選択します。
※選択したファイルは赤色の枠で表示されます。

詳細アイコン  をクリックすると、バックアップデータの詳細情報が表示されます。



< 閉じる >をクリックすると、元の画面に戻ります。

バックアップデータを再生する(つづき)

4. 画面右下の〈再生〉をクリックすると映像を再生画面となりバックアップデータを再生します。
再生画面に表示される各アイコンについては、「4.4.1 各種アイコンのはたらき (p.4-8)」をご覧ください。

5.4 FTP サーバーを登録する

➤ メニュー > バックアップ > バックアップデバイス設定



バックアップ映像を FTP サーバーへ保存する際の、保存先 FTP サーバーを設定できます。
各項目に送信先 FTP サーバー情報を設定してください。

バックアップデバイス設定メニューの項目

項目	説明
ホスト名	FTP サーバーのアドレスを入力します。
ポート	FTP サーバーで使用するポート番号を入力します。
ユーザー名	FTP サーバーに登録しているユーザー名を入力します。
パスワード	FTP サーバーに登録しているパスワードを入力します。
ディレクトリ	FTP サーバー内の保存先ディレクトリのパスを入力します。
接続テスト	クリックすると、FTP サーバーへアクセスできるかどうかのテストを行います。

<< 注意 >>

FTP サーバーへのバックアップを行う場合は、本機をインターネットに接続しておく必要があります。
ネットワークの設定については、「3.5.2 ネットワークアドレスを設定する(p.3-43)」をご覧ください。

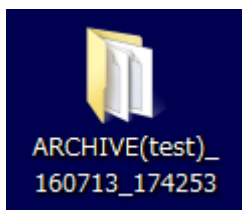
設定後、< 適用 >をクリックして完了です。

5.5 PC でバックアップ映像を再生する

バックアップ映像をお使いの PC で再生できます。

動作確認済み OS は、Windows7 / 8 / 8.1 / 10 です。

バックアップしたメディアを PC で展開すると、以下のようにフォルダが作成されています。



フォルダ名 : ARCHIVE(タグ名)_バックアップ開始日時_バックアップ終了日時

このフォルダ内には、以下の 3 つ(または 2 つ)のフォルダおよびファイルが保存されています。



PLAYER

専用プレイヤーおよびビデオコーデックが保存されています。



arch_info
テキスト ドキュメント
5 KB

ログを保存した場合、この TXT ファイルが保存されています。



ch01(CAM1)_15
0209120828_15
0209120916_00
_12MB_ADMIN

バックアップ映像ファイルです。

ファイル名 :

CH 番号(カメラ名) __開始点の年年月月日日時時分分秒秒

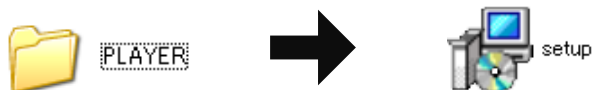
__終了点の年年月月日日時時分分秒秒 __保存回数__

データサイズ __ユーザー名

5.5.1 Windows Media Player で再生する(ビデオコーデックのインストール)

専用のビデオコーデックを PC にインストールすることで、Windows Media Player でバックアップ映像を再生できます。

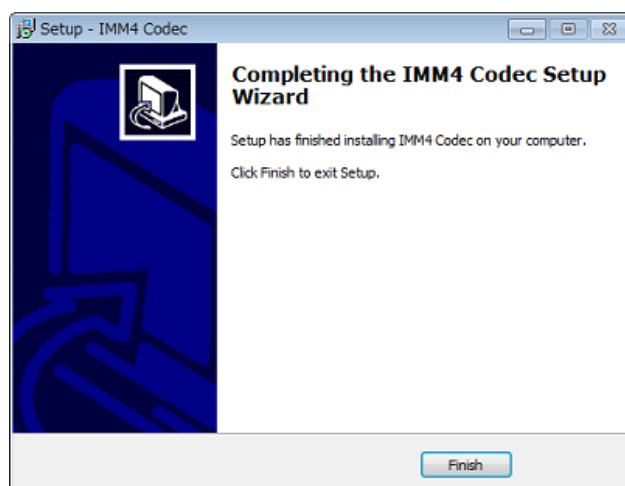
1. 「 Player 」フォルダ内の「 Setup 」ファイルを開きます。



2. 画面の指示に従ってインストールを開始します。



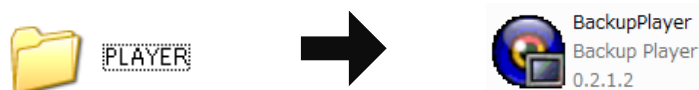
3. インストール完了後、〈 Finish 〉をクリックして完了となります。
完了後、バックアップ映像ファイルが、Windows Media Player で再生可能になります。



5.5.2 専用プレイヤーで再生する

バックアップ時のファイル形式を「RAW」または「RAW(暗号化)」を選択した場合は、専用プレイヤーで再生する必要があります。

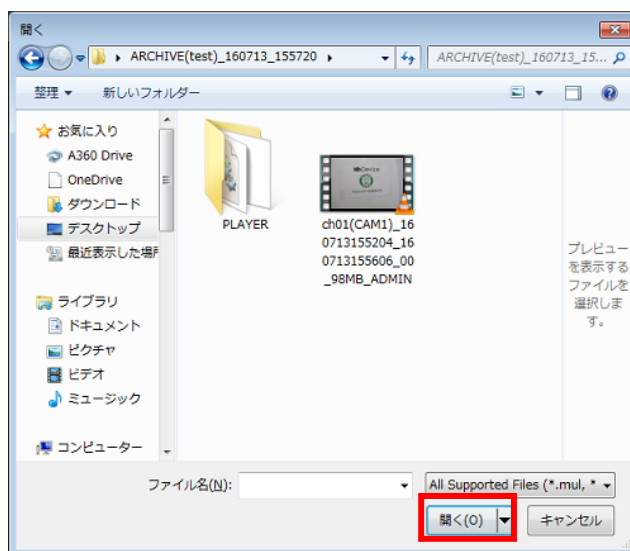
1. 「Player」フォルダ内の「BackupPlayer」を開きます。



2. プレイヤー左下の「ファイルオープン」アイコンをクリックします。

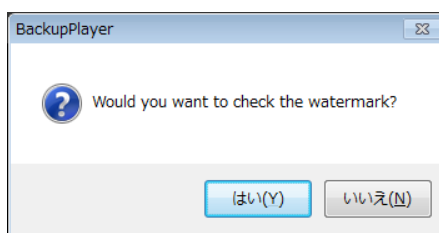


3. バックアップ映像ファイルのあるフォルダを参照し、ファイルを選択して「開く」をクリックします。



専用プレイヤーで再生する(つづき)

4. 以下のウィンドウで、〈 はい 〉をクリックします。



※「RAW(暗号化)」を選択していた場合、再生時にパスワードを要求されます。
確認画面でパスワードを入力し、〈 Confirm 〉をクリックしてください。

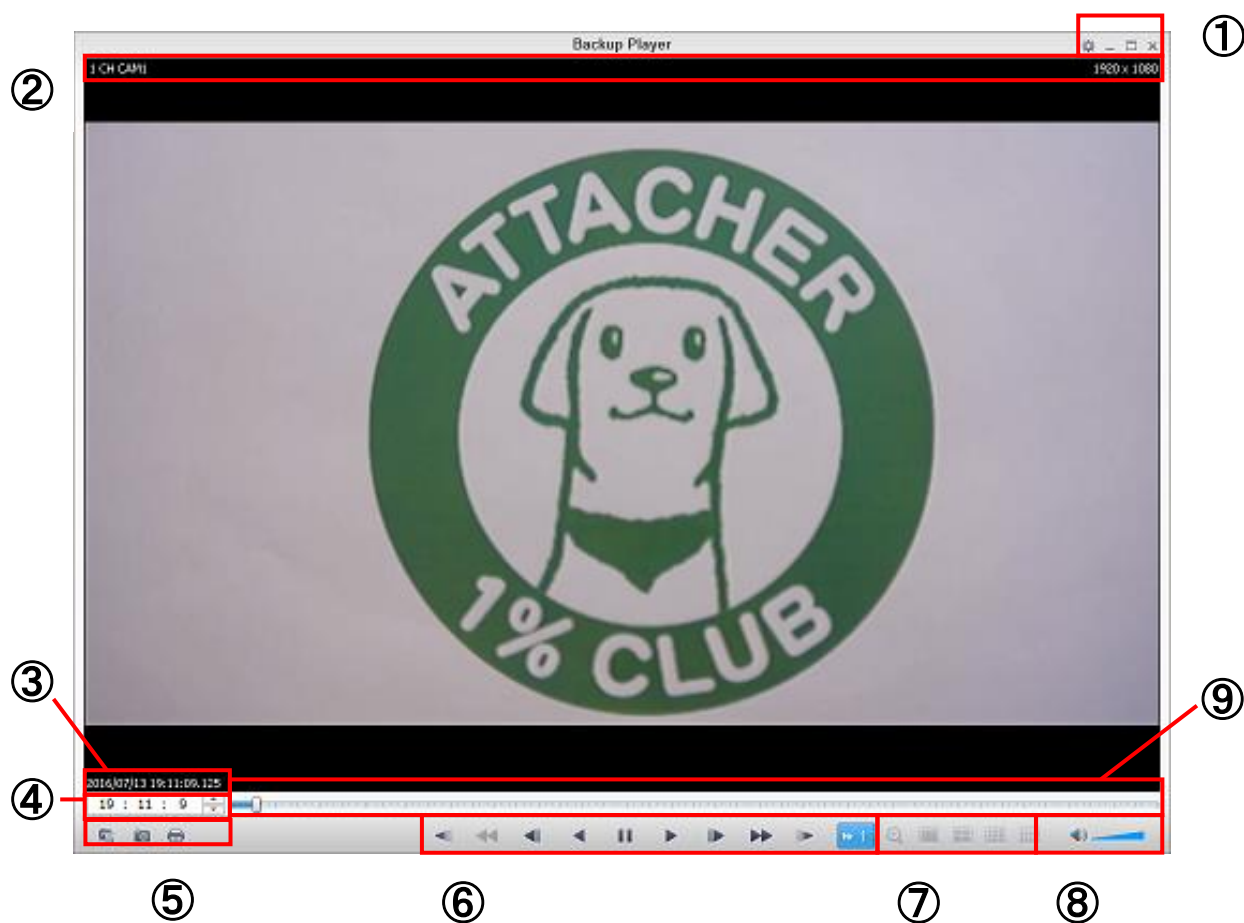


5. バックアップ映像が再生されます。



※ 専用プレイヤーの操作については、「5.5.3 専用プレイヤーでの操作・見方(p.5-15)」をご覧ください。











5.5.3 専用プレイヤーでの操作・見方



番号	名称	説明
①	設定 最小化/閉じる	プレイヤーの設定を行います。 ウィンドウを最小化したり終了したりします。
②	映像情報	解像度等の情報を表示します。
③	再生時刻	再生中の時刻を表示します。
④	タイムバー時刻 ファイルオープン	タイムバーの時刻を表示します。 ファイルを指定して読み込みます。
⑤	スナップショット 印刷	再生中の映像のスナップショットを保存します。 再生中の映像を印刷します。
⑥	操作アイコン	再生映像の早送りや巻戻しを行います。 操作については、「操作アイコンのはたらき(p.5-16)」をご覧ください。
⑦	画面表示	1 画面表示/分割画面表示を切り替えます。
⑧	音量	音量を調整します。
⑨	タイムバー	映像の再生位置を表示します。

専用プレイヤーでの操作・見方(つづき)

【 操作アイコンのはたらき 】


アイコン	説明
	映像を逆方向にスロー再生します。 クリックするごとに倍率を変更できます。(x1/2 / x1/4 / x1/8)
	映像を早巻き戻しします。 クリックするごとに倍率を変更できます。(x2 / x4 / x8 / x16)
	一時停止中、1 秒前の映像に移動します。
	映像を逆再生します。
	映像を一時停止します。
	映像を再生します。
	一時停止中、1 秒後の映像に移動します。
	映像を早送りします。 クリックするごとに倍率を変更できます。(x2 / x4 / x8 / x16)
	映像をスロー再生します。 クリックするごとに倍率を変更できます。(x1/2 / x1/4 / x1/8)
	再生速度を表示します。

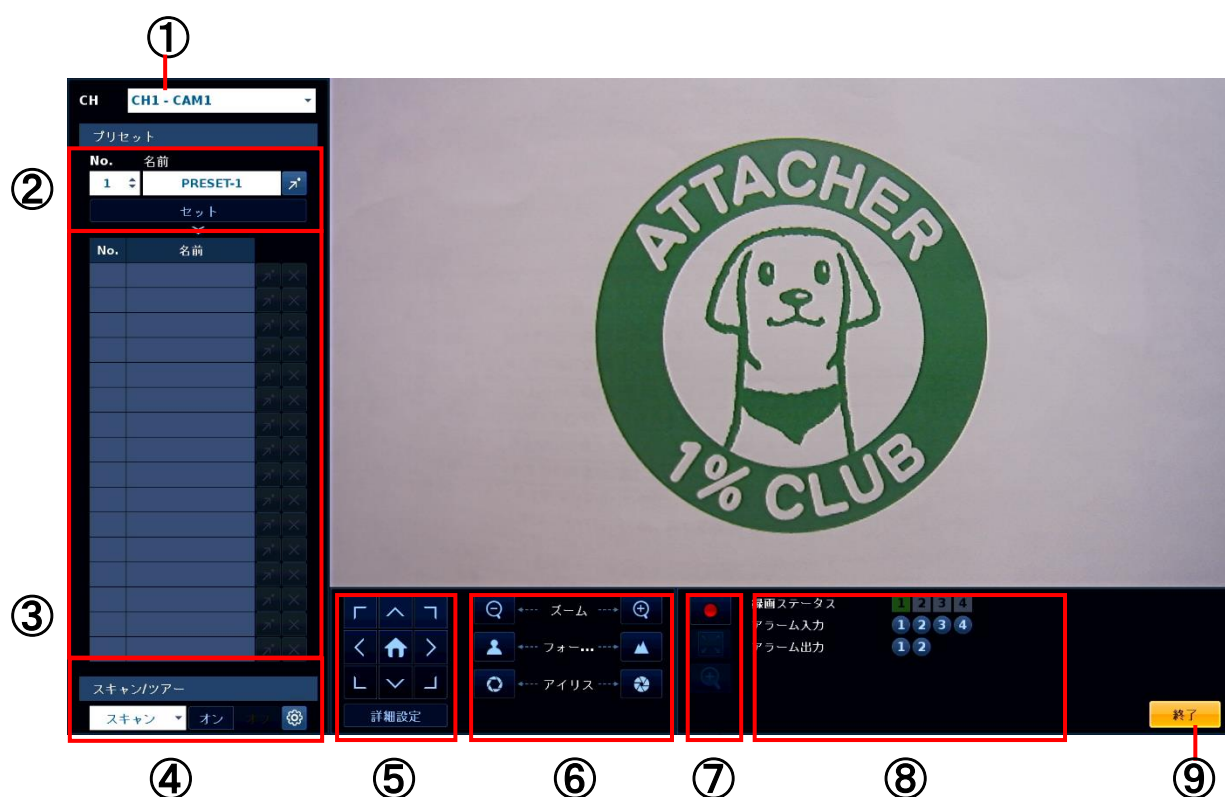
6章 PTZ 操作

PTZ 対応カメラを接続して、本機でカメラの PTZ コントロールを行うことができます。






6.1 PTZ 操作画面に入るには

ライブ画面で PTZ カメラを接続しているカメラチャンネルを 1 画面表示にし、

ステータスバーの  をクリックすることで、PTZ 操作画面に切り替わります。



PTZ 操作設定メニューの項目

番号	名称	説明
①	CH 切換え	PTZ 操作を行うカメラ CH を選択します。
②	プリセット	<p>プリセットの登録 ... プリセット NO.を選択し、名前を入力して〈 セット 〉をクリックすると、下のリストに追加されます。</p> <p>プリセットの移動 ... プリセット NO.を選択し、 をクリックすると登録したプリセットに移動します。</p>
③	プリセットリスト	<p> ... クリックするとそのプリセットに移動します。</p> <p> ... クリックするとそのプリセットを削除します。</p>
④	スキャン/ツアー	<p>スキャンやツアー(自動巡回)の設定および動作をオン/オフします。</p> <p> ... クリックすると、それぞれの設定画面に入ります。</p> <p><u>スキャン</u> : 2つのプリセット間を交互に移動します。 設定画面では2つのプリセット位置を決定し、何秒間停止させるかを選択して〈 OK 〉をクリックします。 〈 OK 〉をクリックするとスキャンを開始します。</p> <p><u>ツアー(自動巡回)</u> : 最大 16 のプリセットを順番に移動します。 設定画面では、上から順に移動させるプリセット位置を決定し、何秒間停止させるかを選択して〈 OK 〉をクリックします。 〈 OK 〉をクリックするとツアーを開始します。</p>
⑤	パン・チルト	<p>パン・チルト方向に移動を行います。</p> <p> カメラのホームポジションに移動します。</p>
	詳細設定	PTZ 速度等の詳細設定画面に入ります。
⑥	ズーム/フォーカス/アイリス	ズーム/フォーカス/アイリスの設定を行います。
⑦	ライブアイコン	ライブ画面と同様、緊急録画や音声出力切換え等を行います。
⑧	ステータス	録画やアラームのステータスを表示します。
⑨	終了	ライブ画面に戻ります。

6.2 AHD カメラの OSD 設定

PTZ 操作画面にて、AHD カメラの OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ) 設定を表示させることができます。
OSD 設定より AHD カメラ本機の設定を変更することができます。

※ UTC 対応の AHD カメラのみ有効となります。

また、ワンケーブルカメラなど、カメラとレコーダーが直接接続されていない場合は、
本機能を使用することはできません。

6.2.1 プロトコルを設定する

本機能を使用する場合、あらかじめ AHD カメラのプロトコルを設定する必要があります。
以下の手順で、カメラのプロトコルを設定します。

1. ライブ画面のメニュー > システム設定 > カメラ > PTZ 設定 の順に進み、設定画面を開きます。



2. 接続中のカメラチャンネルの< プロトコル >欄を選択し、< COAXITRON >に変更します。

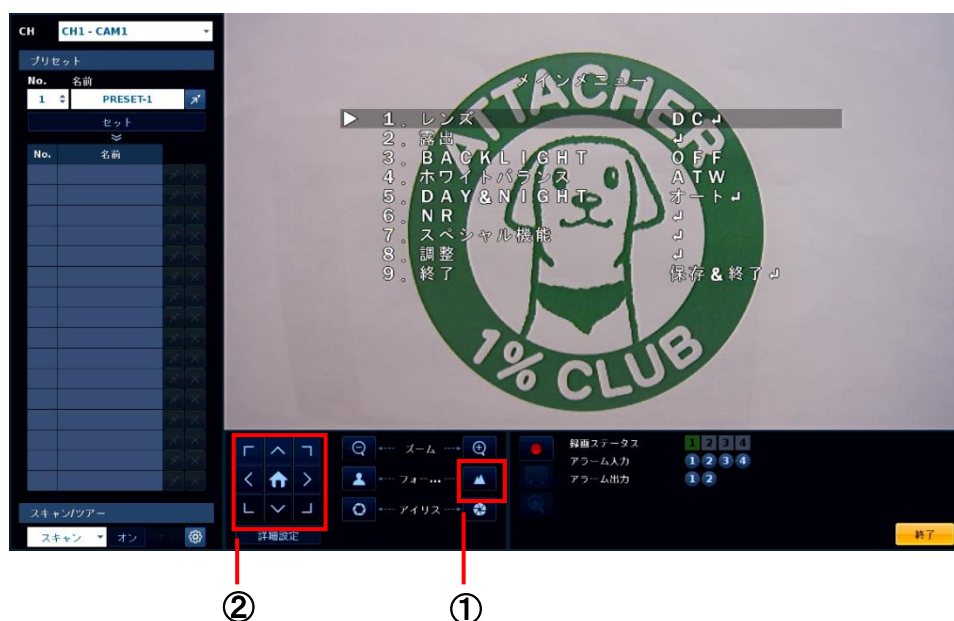
※ 初期設定は、< COAXITRON >となっています。

CH	アドレス	プロトコル	ボーレート
1 CAM1	0	COAXITRON	9600
2 CAM2	0	PELCO-D	9600
3 CAM3	0	PELCO-D	9600
4 CAM4	0	PELCO-D	9600

3. 変更後、画面右下の< 適用 >をクリックし、設定を保存して完了です。

6.2.2 OSD 操作方法

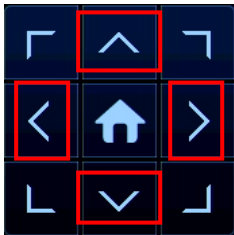
本機から AHD カメラの OSD 操作を行う場合、ボタン対応は以下のようにになっています。



1. OSD メニューを表示させる / 設定値の決定をする 場合は、

フォーカスアイコン  をクリックします。

2. OSD 画面上でカーソルの移動 / 設定値を変更する 場合は、

画角調整アイコン  の上下左右アイコンをクリックします。

※各斜め方向アイコン及び中央のホームアイコンは使用できません。

※ OSD 設定の内容については、AHD カメラの取扱説明書をご覧ください。

7章 PC からの遠隔監視

PC を用いて遠隔地から本機へアクセスします。

PC 側の操作でライブ監視、検索・再生、設定変更などの操作を行うことができます。

※ 接続には、Windows のバージョンに関わらず Internet Explorer を使用してください。

※ Windows10 の場合、標準のブラウザは Edge(エッジ)となっていますので、必ず Internet Explorer に切り替えて遠隔接続を行ってください。

【 推奨 PC のスペック 】

OS	Windows 7 / 8 / 8.1 / 10
CPU	Intel Core i5 2GHz 以上
グラフィックカード	DirectX10 以上、ビデオメモリー1GB 以上
メモリー	4GB 以上
ストレージ空き容量	1GB 以上 (Active X インストール用)
ネットワーク	100BASE-T 以上
解像度	1920 x 1080

7.1 WEB ビューワーからアクセスする

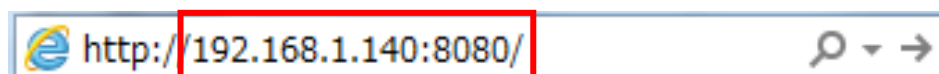
以下の手順で、PC から本機へ遠隔アクセスすることができます。

1. Internet Explorer を開き、アドレスバーに本機のアドレスまたは URL を入力します。
 - IP アドレスを入力する場合 … 本機の IP アドレスを入力します。(ローカル接続時のみ有効)
 - グローバルアドレスを入力する場合 … 本機のグローバル IP アドレスを入力します。
 - URL を入力する場合 … 本機の DDNS 設定で入力したドメイン名を入力します。※詳細は、「3.5.3 DDNS サーバーを登録する(p.3-44)」をご覧ください。

本機の初期 WEB サーバーポート番号は、「8080」なので、アドレスまたはドメインの後に、「:8080」を入力します。

※ WEB サーバーポートを変更した場合は、アドレスまたはドメインの後に「:WEB サーバーポート番号」を入力します。

※ IP アドレスおよび WEB サーバーポートの設定は、「3.5.2 ネットワークアドレスを設定する(p.3-43)」をご覧ください。



IP アドレス : ポート番号

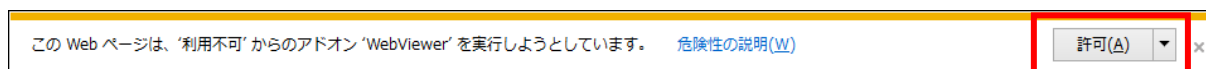
2. 本機に設定したユーザー名およびパスワードを入力します。



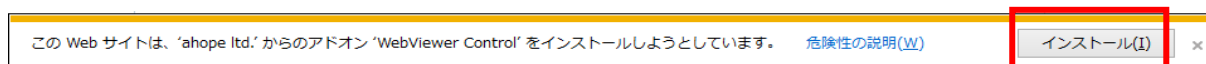
3. 〈 OK 〉をクリックすると、WEB ビューワーが表示されます。

WEBビューワからアクセスする(つづき)

4. PC 画面下に表示されるメッセージの「許可」をクリックします。



5. しばらくすると再度 PC 画面下に表示されるので、「インストール」をクリックします。



6. インストール完了後、ライブ画面が表示されます。



7.2 WEB ビューワーの操作・見方

【 ライブ画面 】

ライブ画面下の操作パネルで、以下の操作をすることができます。

※ ライブ画面のそれぞれのカメラ CH をダブルクリックすることで、1 画面表示にすることができます。
再度ダブルクリックすると分割画面表示に戻ります。



WEB ビューワー操作の項目

番号	名称	説明
①	画面表示切換え	画面表示(1 画面表示/分割画面表示)を切換えます。
②	CH シフト	クリックするごとに 1CH ずつ CH を左にシフトします。
③	全画面表示	カメラ映像を全画面で表示します。 ※ 全画面表示時に「Esc」キーで元の画面に戻ります。
④	マイク入力	PC に接続したマイクからレコーダーへ音声を出力するかどうかを選択します。クリックするたびに ON/OFF が切替わります。
⑤	音声出力	レコーダーの出力音声を PC のスピーカーから出力するかどうかを選択します。クリックするたびに ON/OFF が切替わります。
⑥	チャンネル表示	CH 番号を選択すると、その CH の 1 画面表示に切替わります。
⑦	ライブ映像保存	クリックすると、ライブ映像を PC の HDD へ保存を開始します。 もう一度クリックすると保存を停止します。 ※ 保存先ディレクトリは ⑩ ビューワー設定 で指定します。
⑧	プリンタ出力	ライブ画面をプリンタへ出力し、印刷します。
⑨	スナップショット	ライブ画面のスナップショットを保存します。 ※ 保存先ディレクトリは ⑩ ビューワー設定 で指定します。
⑪	タブ	状態表示タブ/ログ表示タブ/PTZ 操作タブを切換えます。

WEBビューワの操作・見方(つづき)

状態タブの項目

番号	名称	説明
⑫	状態表示	<p>アラーム入力(レコーダー) : レコーダーへのアラーム入力を検知するとアイコンが表示されます。</p> <p>モーション : モーションを検知するとアイコンが表示されます。</p> <p>ビデオロス : ビデオ映像が遮断されるとアイコンが表示されます。</p> <p>録画 : 録画中にアイコンが表示されます。</p> <p>アラーム出力(レコーダー) : レコーダーからアラーム出力を発報中にアイコンが表示されます。</p>
⑬	更新間隔	状態表示を読み込む間隔を設定します。
⑭	更新	クリックすると状態表示を更新します。

〈 ログ 〉タブを選択すると、レコーダーが記録したログリストが表示されます。

状況

ログ

PTZ

①

No.	カメラタイトル	日時	ログ
1		2015,02,09 17:14:40	ライブ: ADMINログオン 192.168.1.22,
2		2015,02,09 16:54:47	ネットワーク: WANポート 接続
3	CAM4	2015,02,09 16:54:32	録画: CH 04 : 常時録画 スタート
4	CAM3	2015,02,09 16:54:32	録画: CH 03 : 常時録画 スタート
5	CAM2	2015,02,09 16:54:32	録画: CH 02 : 常時録画 スタート
6	CAM1	2015,02,09 16:54:32	録画: CH 01 : 常時録画 スタート
7	CAM4	2015,02,09 16:54:32	モーション: # 04モーション 復帰
8	CAM4	2015,02,09 16:54:32	録画: CH 04 : モーション録画 ストップ

②

上へ

下へ

更新 3秒

③

④

更新

ログタブの項目

番号	名称	説明
①	ログリスト	ログリストを新しい順に表示します。
②	ページ送り	前ページを選択すると古いログのページへ、次ページを選択すると新しいログのページへ移動します。
③	更新間隔	ログリストを読み込む間隔を設定します。
④	更新	クリックするとログリストを更新します。

WEB ユーザーの操作・見方(つづき)

〈 PTZ 〉タブを選択すると、レコーダーに接続した PTZ カメラを操作できます。
操作したい PTZ カメラの CH を 1 画面表示にすることで操作可能となります。

PTZ タブの項目

番号	名称	説明
①	プリセット登録	カメラ位置をプリセット番号登録したり、移動したりすることができます。
②	スピード	カメラの移動速度を設定します。 << 注意 >> カメラの OSD メニューを操作する際は、スピードを「1」に設定してください。
③	ズーム	ズームイン/ズームアウトを行います。
④	フォーカス	カメラのフォーカスを調整します。
⑤	アイリス	カメラのアイリスを調整します。
⑥	パン・チルト	カメラのパン・チルト移動を行います。

7.2.1 タイムサーチ

カメラ映像上部の〈 サーチ 〉タブをクリックすると、レコーダーの録画映像を検索・再生画面に切り替わります。



検索画面では、操作パネルが一部変化します。



⑦ [BACKUP PLAYERをダウンロード](#)

タイムサーチタブの操作項目

番号	名称	説明
①	日時	検索する日時を指定します。
②	更新	画面表示を最新の状態に更新します。
③	再生	指定した日時の映像を再生します。
④	バックアップ	PC の HDD へ映像をバックアップします。 表示されるウィンドウで開始時間・終了時間・カメラ CH を選択します。
⑤	タイムライン	映像がある場合、録画モードごとに色別で表示されます。
⑥	タイムバー	ドラッグ & ドロップすることで、再生する映像の時刻を移動することができます。
⑦	PLAYER ダウンロード	PC にバックアップした映像を PC 上で再生するための PLAYER をダウンロードします。



① ② ③ ④ ⑤

番号	名称	説明
①	巻戻し	映像を巻戻します。
②	逆再生	映像を逆方向に再生します。
③	一時停止	映像を一時停止します。
④	再生	映像を順方向に再生します。
⑤	早送り	映像を早送りします。

7.2.2 イベントサーチ

検索・再生画面の< イベント >タブをクリックすると、指定した時間帯で発生したイベントを検索できます。

The screenshot shows the 'イベントサーチ' (Event Search) tab selected. The interface includes a search criteria section with checkboxes for event types (すべて, システム, アラーム, 設定, ビデオ, モーション, 録画, ストレージ, ネットワーク). Below this is a date and time range selector with dropdowns for year, month, day, hour, minute, and second, along with a '降順' (Descending) sort order dropdown and a 'サーチ' (Search) button. The main area is a large table with columns '日付/時刻' (Date/Time) and 'ログ' (Log), currently empty. At the bottom are '上へ' (Up) and '下へ' (Down) navigation buttons.

イベントサーチタブの操作項目

番号	名称	説明
①	イベント選択	検索対象とするイベントを選択します。
②	検索範囲	検索開始点と終了点を指定します。
③	検索順位	検索結果を新しい順で表示するか、古い順で表示するかを選択します。
④	サーチ	クリックすると検索結果を表示します。
⑤	ログリスト	検索結果が表示されます。 項目をクリックすると、その映像が再生されます。
⑥	ページ送り	下へ を選択すると古いログのページへ、上へ を選択すると新しいログのページへ移動します。

7.2.3 本機の設定を行う

カメラ映像上部の〈 設定 〉タブをクリックすると、レコーダーの本機設定を行う画面に切り替わります。

CH	カメラタイトル
すべて	
1	CAM1
2	CAM2
3	CAM3
4	CAM4

設定項目については本機設定と同様です。

詳細は、「3 章 各種設定 (p.3-1)」をご覧ください。

〈 注意 〉

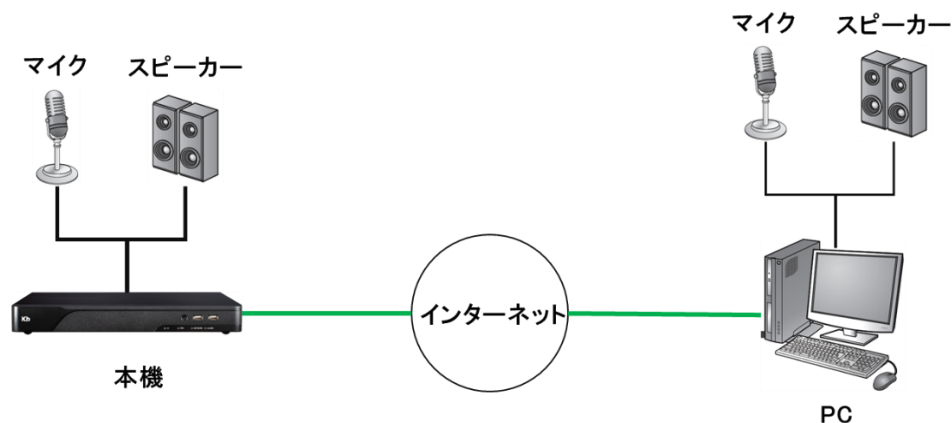
設定画面を開くことができない場合は、ブラウザのキャッシュのクリアを行い再実行してください。
また、本機で設定画面を開いているときは、WEB ビューワーから設定変更することはできません。

7.3 遠隔地のレコーダーと音声通話を行う

お使いの PC にマイクとスピーカーを用意することで、接続先のレコーダーと音声通話ができます。
本項目の機能を使用するには、本機がネットワークに接続できている必要があります。
ネットワーク設定については、「3.5 ネットワーク(p.3-42)」をご覧ください。

1. 下記図を参考に各機器を接続します。

本機への音声機器接続については、「1.5.7 音声機器を接続する(p.1-21)」をご覧ください。



2. レコーダー側にてメニュー > システム設定 > 音声 > 音声 の順にクリックします。



3. < 音声出力タイプ > を選択します。

RCA ... RCA 端子ケーブルを使用してスピーカーから出力する場合

HDMI ... スピーカー内蔵モニターなどの HDMI ケーブルに映像と重畳させて出力する場合

4. < ネットワーク音声送話・受話 > を < オン > にします。


5. 各種設定後、< 適用 > をクリックします。

6. ライブ画面の音声出力アイコン  をクリックし、音声出力 CH を選択します。

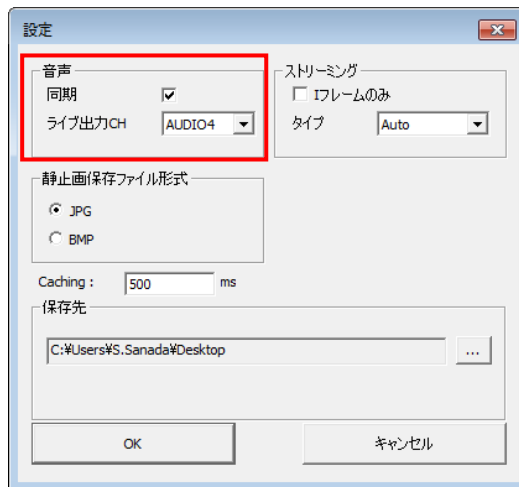
遠隔地のレコーダーと音声通話を行う(つづき)



7. つづいて PC から WEB ビューワーにて本機へアクセスします。



8. 設定アイコン  をクリックし、設定画面を開きます。

9. 「音声」欄の「同期」にチェックを入れ、「ライブ出力 CH」欄で、ライブ画面で音声出力を行う CH を選択します。設定後は、「OK」をクリックしてください。



10. WEB ライブ画面のマイクアイコン  とスピーカーアイコン  を有効にすると通話を開始します。

以上で、マイクへ話した内容が相手側のスピーカーから出力されます。

8章 スマートフォンからの遠隔接続

スマートフォンの専用アプリ「P2P nViewer」をダウンロードすることで、スマートフォンから本機へアクセスし、ライブ映像監視などを行うことができます。

【 スマートフォンの必要スペック 】

- Android（Android は、Google Inc.の登録商品です。）
プロセッサ … 1GHz以上
フラッシュ … 512MB 以上
RAM … 512MB 以上
SD カード … 16GB 以上
OS … Android 4.0 以上
- iPhone（iPhone は、Apple Inc.の登録商品です。）
iPhone5 以上
iPhone OS 9 以上

※ スマートフォン専用アプリ「P2P nViewer」のご利用について（免責事項）

P2P nViewer のご利用の際は下記の内容に同意したうえでご利用ください。

P2P nViewer のご利用はお客様の責任の下でご利用ください。

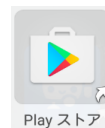
P2P nViewer のダウンロードおよびご利用には通信費が発生する場合がございます。

発生した通信費に関して、当社は一切の責任を負いません。

8.1 P2P nViewer をインストールする

以下の手順でアプリをインストールしてください。

1. メニュー画面から App Store (または Play ストア) を開きます。



2. 検索欄に「P2P nViewer」と入力し、検索します。

🔍 P2PnViewer



3. 「P2P nViewer」をインストールします。

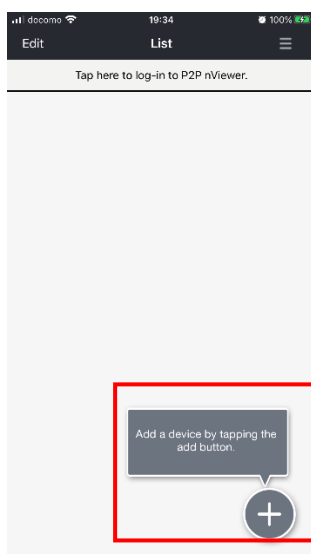


8.2 レコーダー情報を登録する

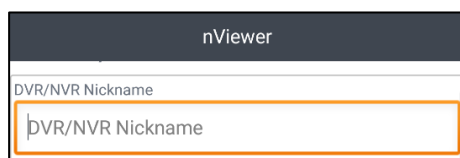
1. 「P2P nViewer」を起動します。



2. 画面右下の「+」をタップします。



3. 「Server Name(任意)」を入力します。



4. 「URL(本機の IP アドレス)」
「HTTP Port(本機の WEB サーバー
ポート)」
「RTSP Port(本機の RTSP ポート)」
をそれぞれ入力します。

URL
IP address or Domain name
HTTP Port
RTSP Port

5. 「DVR/NVR UserID

(本機のユーザー名)」

「DVR/NVR Password

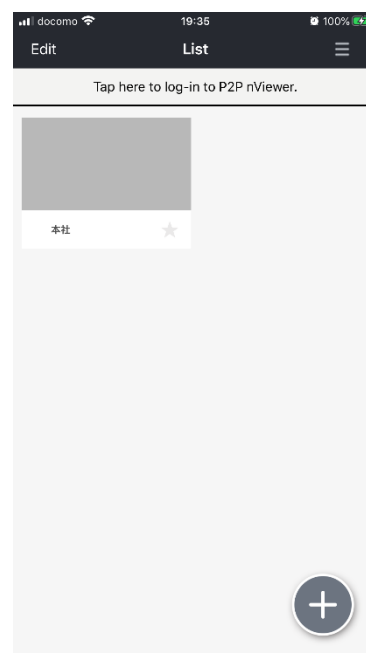
(本機のパスワード)」

をそれぞれ入力し、

「Save」をタップします。

6. 登録した情報が接続先リストに
追加されます。

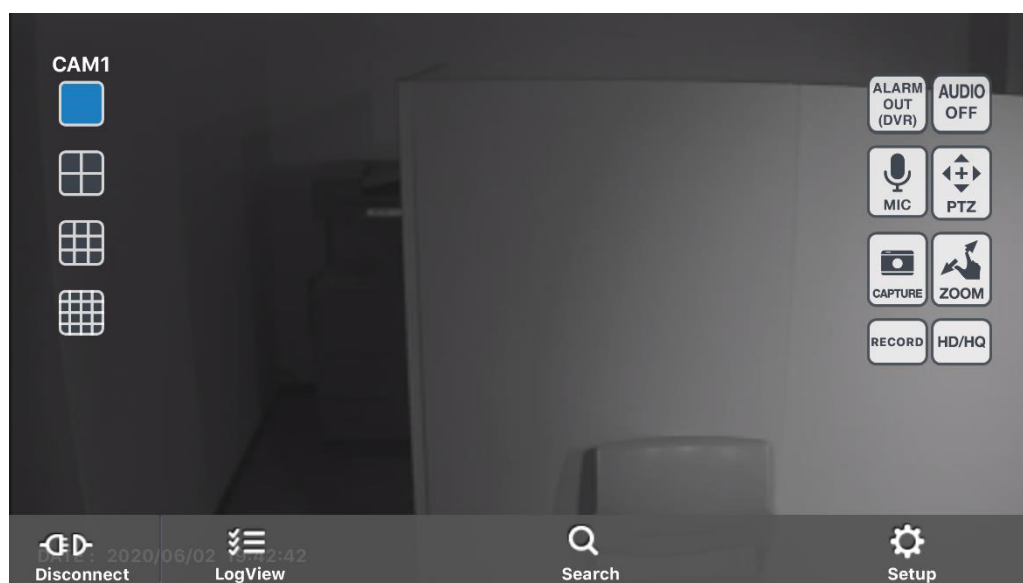
リストからタップすると、本機へ接続します。



8.3 ライブ画面の操作・見方

接続先リストから本機を選択すると本機へ接続し、ライブ画面が表示されます。

ライブ画面をタッチすると、メニュー画面が表示されます。



画面表示アイコン

アイコン	アイコン名	効果・内容
CAM1	カメラタイトル	カメラタイトルを表します。
	画面制御	分割モードを選択します。 表示パネルを左右に指でフリックすると、表示CHを切替えます。
	音声出力	ライブ画面の音声出力のOFF/ONを切替えます。
	PTZ制御	PTZカメラの操作画面を表示します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	デジタルズーム	映像を拡大表示します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	画質	表示画質を変更します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。


ライブ画面の操作・見方(つづき)

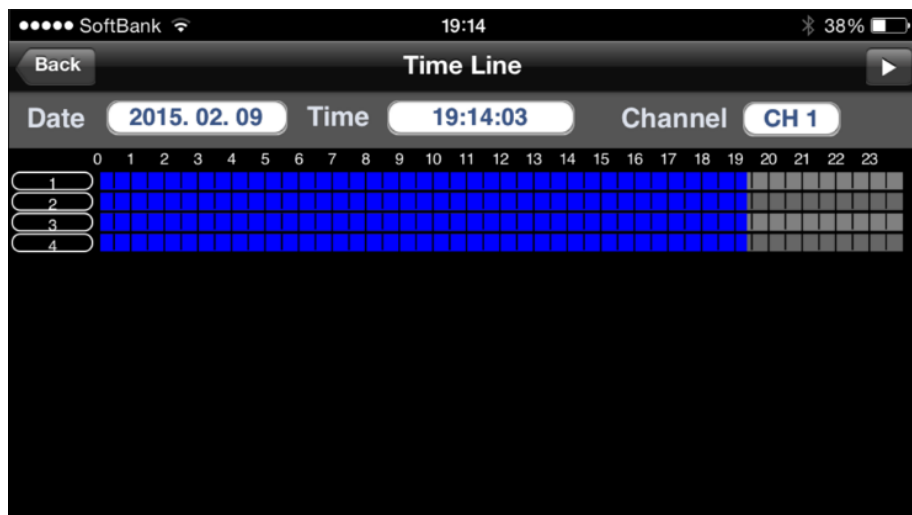
画面表示アイコン


アイコン	アイコン名	効果・内容
	マイク	マイク機能を有効にします。 レコーダーに接続しているスピーカーへ音声を出力します。
	キャプチャー	静止画を取得します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	レコード	ライブ映像および録画映像を動画として保存します。 タップするとお使いのスマートフォンへ録画を開始し、再度タップすると録画を終了します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	接続切断	スマートフォンからの接続を解除します。
	ログ表示	レコーダーの動作ログを表示します。
	タイムサーチ	タイムライン検索を行います。
	セットアップ	接続先のレコーダーのシステム設定を変更します。 設定内容については、「3章 各種設定 (p.3-1)」をご覧ください。

8.4 タイムサーチ

【 iPhone の場合 】

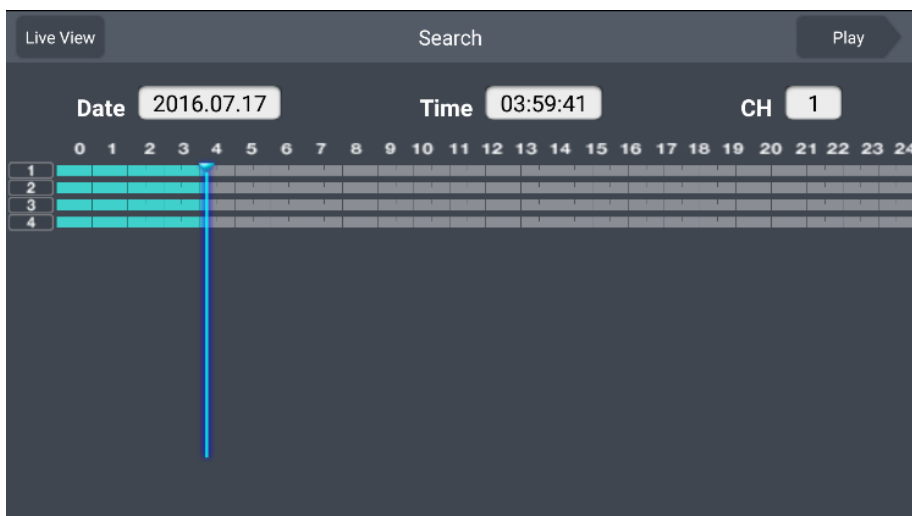
1. ライブ画面で  をタップします。
2. < Date >で日付を選択し、< Time >で時刻を選択します。
3. < Channel >で再生するカメラチャンネルを選択します。



画面右上の  をタップすると、映像が再生されます。

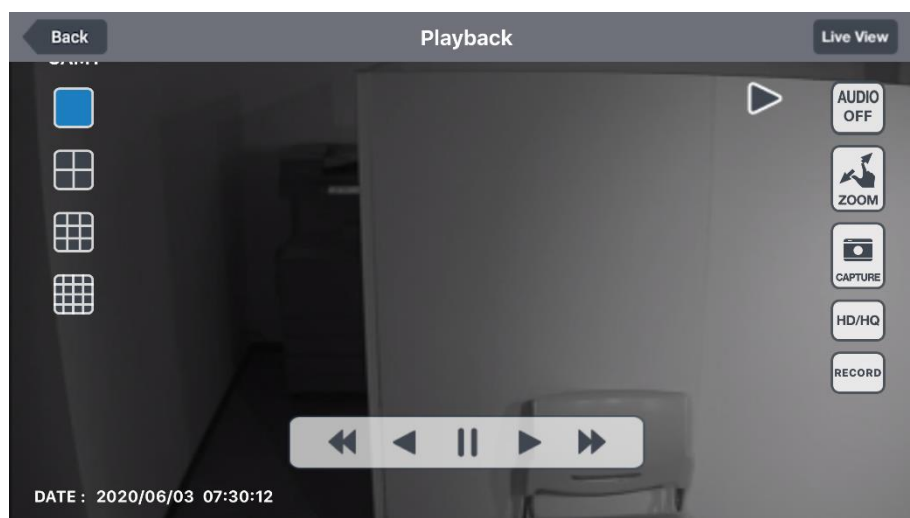
【 Android の場合 】

1. ライブ画面で  をタップします。
2. < Date >で日付を選択し、< Time >で時刻を選択します。
3. < Channel >で再生するカメラチャンネルを選択します。



画面右上の< Play >をタップすると、映像が再生されます。

8.5 再生画面での操作・見方




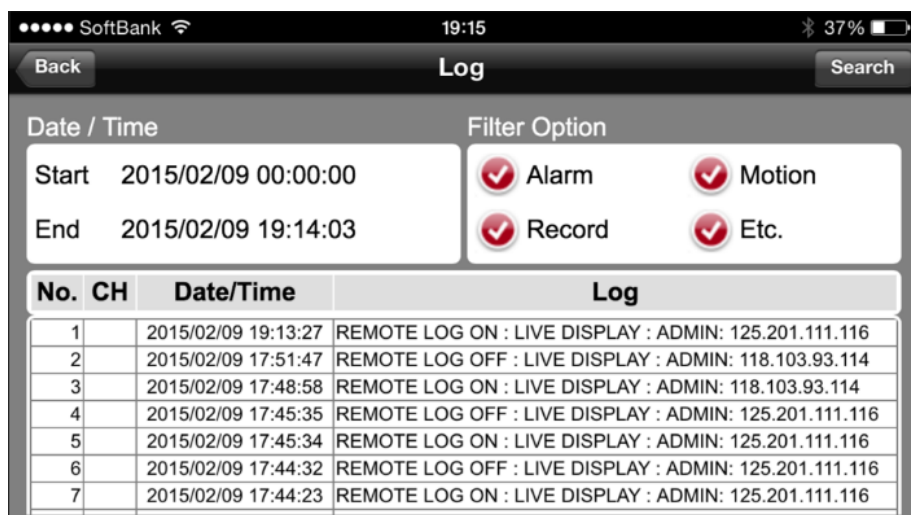
画面表示アイコン

アイコン	アイコン名	効果・内容
CAM1	カメラタイトル	カメラタイトルを表します。
	画面制御	分割モードを選択します。 表示パネルを左右に指でフリックすると、表示CHを切替えます。
	音声出力	録音した音声出力のOFF/ONを切替えます。
	デジタルズーム	映像を拡大表示します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	キャプチャー	静止画を取得します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	レコード	ライブ映像および録画映像を動画として保存します。 タップするとお使いのスマートフォンへ録画を開始し、再度タップすると録画を終了します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	画質	表示画質を変更します。 ※1画面表示のときのみ操作できます。
	一時停止	記録映像を一時停止します。
	(逆)再生	記録映像を再生/逆再生します。
	早戻し/早送り	記録映像を倍速再生/倍速逆再生します。

8.6 イベントログを表示する

【 iPhone の場合 】


1. ライブ画面で  をタップします。
2. < Start / End >で検索範囲の開始点・終了点を選択します。
3. < Filter Option >で検索対象とするイベントを選択します。

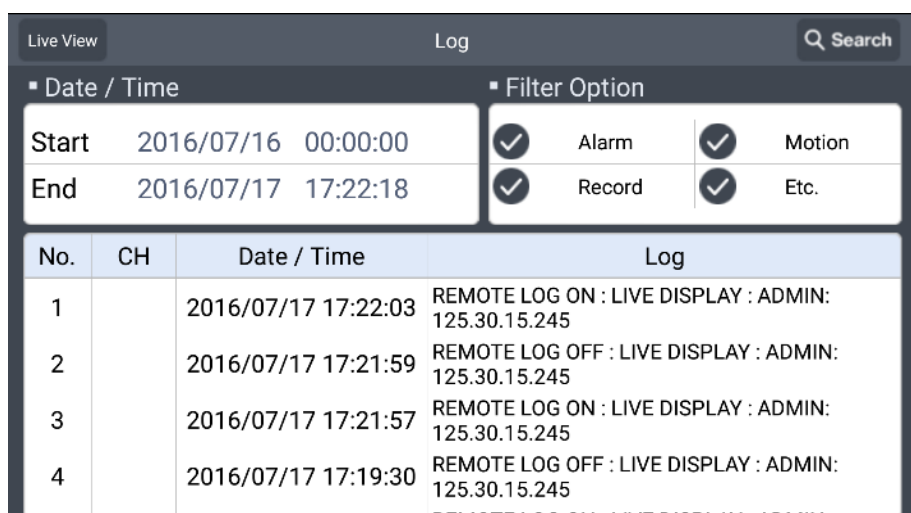


No.	CH	Date/Time	Log
1		2015/02/09 19:13:27	REMOTE LOG ON : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.201.111.116
2		2015/02/09 17:51:47	REMOTE LOG OFF : LIVE DISPLAY : ADMIN: 118.103.93.114
3		2015/02/09 17:48:58	REMOTE LOG ON : LIVE DISPLAY : ADMIN: 118.103.93.114
4		2015/02/09 17:45:35	REMOTE LOG OFF : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.201.111.116
5		2015/02/09 17:45:34	REMOTE LOG ON : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.201.111.116
6		2015/02/09 17:44:32	REMOTE LOG OFF : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.201.111.116
7		2015/02/09 17:44:23	REMOTE LOG ON : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.201.111.116

画面右上の「 Search 」をタップすると、ログリストが表示されます。

【 Android の場合 】

1. ライブ画面で  をタップします。
2. 「 Start 」 「 End 」で検索範囲の開始点・終了点を選択します。
3. 「 Filter Option 」で検索対象とするイベントを選択します。



No.	CH	Date / Time	Log
1		2016/07/17 17:22:03	REMOTE LOG ON : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.30.15.245
2		2016/07/17 17:21:59	REMOTE LOG OFF : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.30.15.245
3		2016/07/17 17:21:57	REMOTE LOG ON : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.30.15.245
4		2016/07/17 17:19:30	REMOTE LOG OFF : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.30.15.245

画面右上の「 Search 」をタップするとログリストが表示されます。

8.7 遠隔地のレコーダーと音声通話を行う

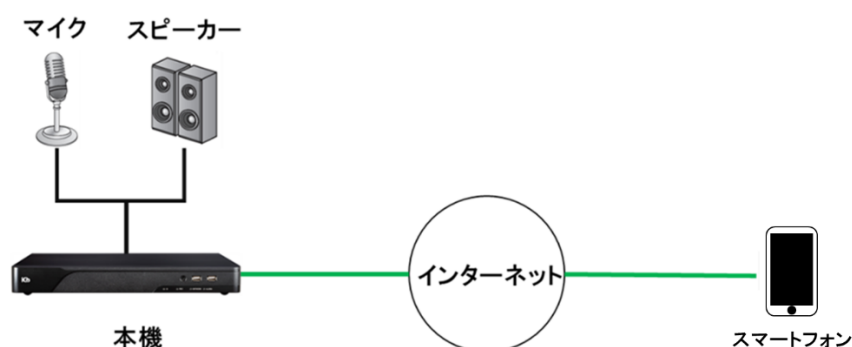
お使いのスマートフォンと接続先のレコーダーとで音声通話ができます。

本項目の機能を使用するには、本機がネットワークに接続できている必要があります。

ネットワーク設定については、「3.5 ネットワーク(p.3-42)」をご覧ください。

1. 下記図を参考に各機器を接続します。

レコーダーへの音声機器接続については、「1.5.7 音声機器を接続する(p.1-21)」をご覧ください。



2. レコーダー側にてメニュー > システム設定 > 音声 > 音声 の順にクリックします。



3. < 音声出力タイプ >を選択します。

- RCA ... RCA 端子ケーブルを使用してスピーカーから出力する場合
- HDMI ... スピーカー内蔵モニターなどの HDMI ケーブルに映像と重畳させて出力する場合

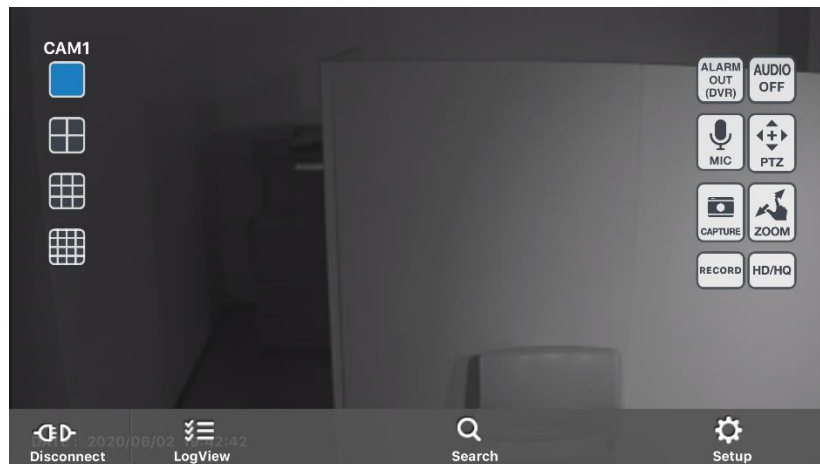
4. < ネットワーク音声送話・受話 >を< オン >にします。


5. 各種設定後、< 適用 >をクリックします。

6. ライブ画面の音声出力アイコン  をクリックし、音声出力 CH を選択します。

遠隔地のレコーダーと音声通話を行う(つづき)

7. つづいて、スマートフォンから P2P nViewer にてレコーダーへアクセスします。



8. マイクアイコン  をタップすると通話を開始します。
以上で、マイクへ話した内容が相手側のスピーカーから出力されます。

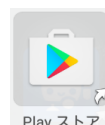
8.8 SEQURINET の利用

本機に表示される QR コードを読み取ることで、本機のアドレス情報登録が容易になります。

8.8.1 SEQURINET をインストール・アカウント登録する

本アプリを使用するにはアカウント登録が必要となります。

1. スマートフォンのメニュー画面から App Store または Play ストアを開きます。



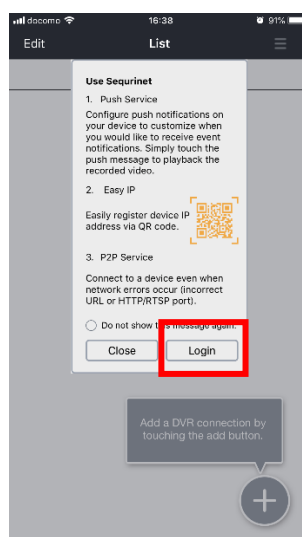
2. 検索欄に「P2P nViewer」と入力し、検索します。



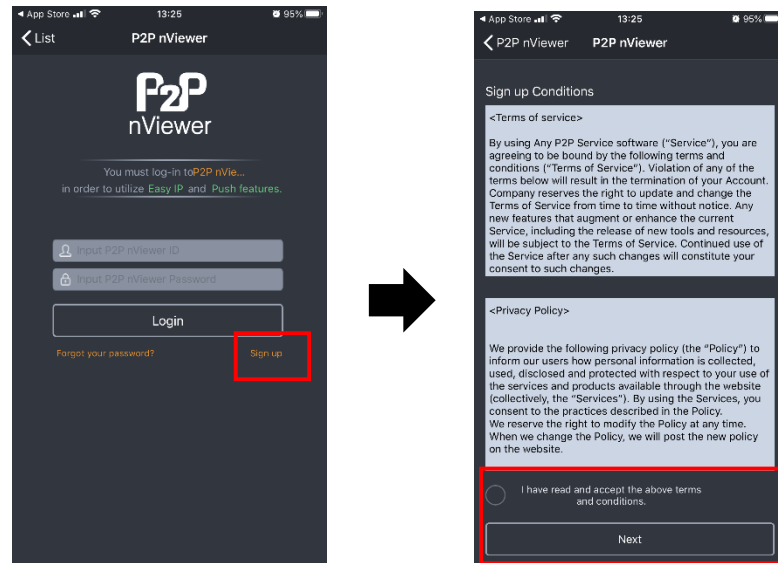
3. アプリをインストールします。



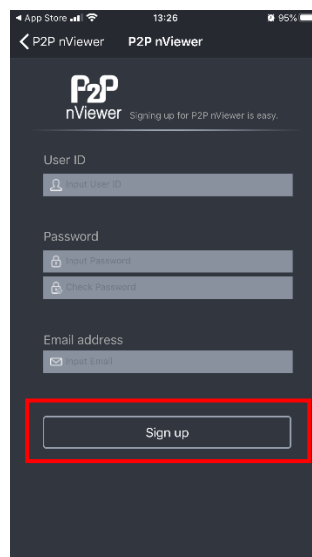
4. アプリを起動させて < Login > をタップします。



5. < Sign up >をタップします。
6. 規約画面下の同意ボタンをタップして< Next >をタップします。



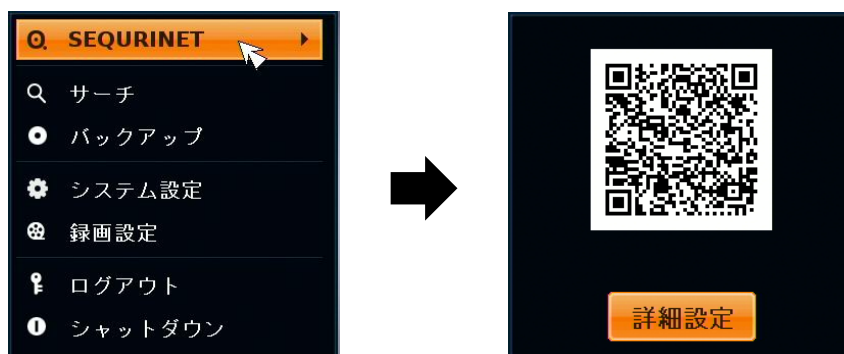
7. 各項目に登録情報を入力し、< Sign up >をタップしてアカウントを登録します。



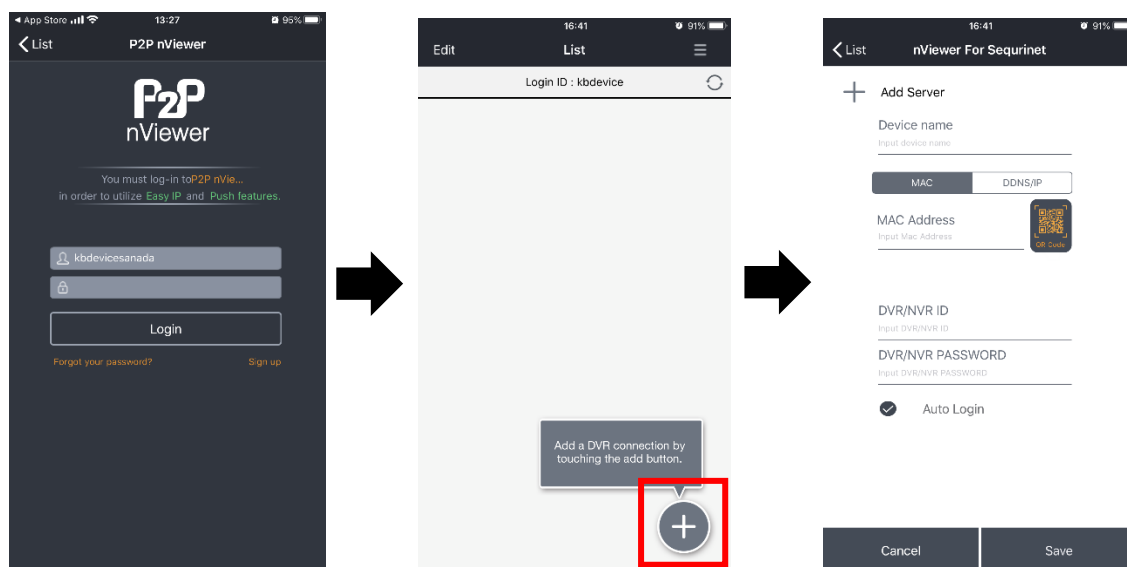
- User ID … ログイン時のユーザーIDを入力します。(必須)
 - Password … ログイン時のパスワードを入力します。(必須)
 - Email address … パスワードを忘れた際のメール送信先アドレスを入力します。(任意)
8. 登録後は、ユーザーIDとパスワードを入力してログインしてください。
レコーダーの登録方法については、次のページをご覧ください。

8.8.2 QRコードから登録を行う

1. レコーダーにてメニュー > SEQRINET の順にクリックし、QRコードを表示します。



2. 「P2P nViewer」を起動し、登録したアカウントでログインします。
3. ログイン後、Add アイコンをタップします。



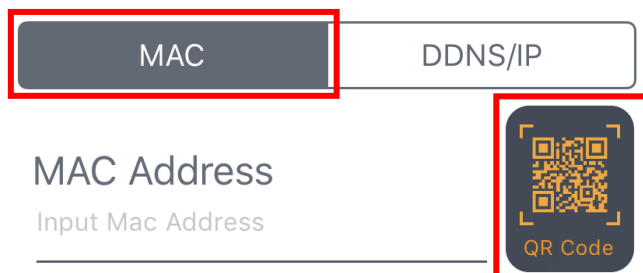
4. < Device name >に登録する機器の名称を入力します。

Device name

Input device name

QRコードから登録を行う(つづき)

5. < MAC >タブをタップし、< QR Code >アイコンをタップします。



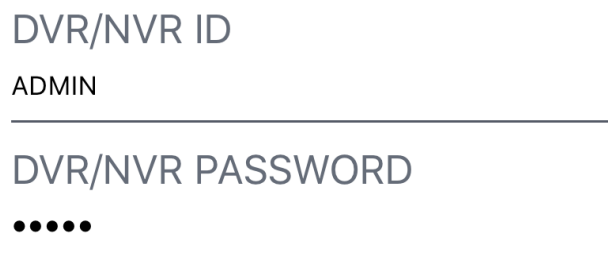
The screenshot shows a registration interface with two tabs at the top: 'MAC' and 'DDNS/IP'. The 'MAC' tab is selected and highlighted with a red box. Below the tabs, there is a section titled 'MAC Address' with the placeholder text 'Input Mac Address'. To the right of this section is a QR code icon, also highlighted with a red box. The QR code icon is labeled 'QR Code'.

6. 手順 1 にて表示した QR コードを読み取ります。
読み取りに成功すると、< MAC Address >に自動的にレコーダーのアドレス情報が入力されます。



The screenshot shows the same registration interface as before. The 'MAC' tab is still selected. The 'MAC Address' field now contains the address information '5ff0 be', which is highlighted with a red box. The QR code icon is still present on the right.

7. レコーダーのユーザーID とログインパスワードを入力します。



The screenshot shows the registration interface with two input fields. The first field is labeled 'DVR/NVR ID' and contains the text 'ADMIN'. The second field is labeled 'DVR/NVR PASSWORD' and contains five dots, indicating a password input field.

8. < Save >をタップすると接続先情報が登録されます。



The screenshot shows a single button labeled 'Save'.

ライブ画面の表示アイコンや、その他操作方法は、「nViewer」と同一です。

9章

トラブルシューティング

症状	確認	対処
電源が入らない	電源コードが本機側およびコンセント側に接続されていますか？	電源コードを正しく接続してください。 →p.1-17をご覧ください。
映像が何も表示されない	本機とモニターが正しく接続できていますか？	本機背面の映像出力端子にモニターを接続してください。 →p.1-14をご覧ください。
	モニターの電源が入っていますか？	モニターの電源を〈オン〉にしてください。
	モニターの入力解像度は当機種に対応していますか？	対応するモニターを用意してください。 →p.1-14をご覧ください。
カメラの映像が表示されない	カメラの電源は入っていますか？	カメラに電源を供給してください。 ワンケーブルカメラの場合は、専用のコントローラを接続してください。
	「カメラマスク」がオンになっていませんか？	カメラマスク設定で、表示するカメラCHを〈オフ〉にしてください。 →p.3-14をご覧ください。
設定画面に入れない	ログイン中のユーザーに設定の権限がありますか？	設定の権限のあるユーザーもしくは管理者でログインしてください。 →p.3-41をご覧ください。
ライブ音声が出ない	カメラおよびマイクの電源は入っていますか？	カメラおよびマイクの電源を確認し、正しく接続してください。 →p.1-21をご覧ください。
	音声出力タイプの設定は正しいですか？	音声出力方式を選んでください。 →p.3-32をご覧ください。
リモコン操作ができない	リモコンIDは正しいですか？	リモコンIDの登録が外れている可能性があります。 レコーダーにリモコンIDを入力してください。 →p.1-10をご覧ください。

症状	確認	対処
マウス操作ができない	マウスがUSB端子に接続できていますか？	マウスを本機前面または本機背面のUSBポートに接続してください。 →p.1-22をご覧ください。
カメラ映像にちらつきが生じる	東日本(50Hz電源地域)でご利用されていますか？	カメラのフリッカレス設定等を確認してください。
録画ができない	ライブ画面でカメラ映像の右上に「C」や「P」などのアイコンは表示されていますか？ アイコン表示がなければ録画が行われていません。	ライブ画面の録画モードアイコンを確認し、録画設定で正しく設定を行ってください。 →p.2-2、p.3-107をご覧ください。
	上書きはONになっていますか？	HDD動作設定で、HDD上書きモードを〈オン〉にしてください。 →p.3-77をご覧ください。
カメラのPTZコントロールができない	カメラがPTZに対応していますか？	カメラの取扱説明書等で仕様を確認してください。
	信号線が正しく配線されていますか？	RS-485端子にPTZカメラの信号線を正しく配線してください。 →p.1-20、p.3-18をご覧ください。
検索再生ができない	ログイン中のユーザーに検索再生の権限がありますか？	検索再生の権限のあるユーザーでログインしてください。 →p.3-41をご覧ください。
ライブ画面中の操作が効かない	ログアウト状態になっていませんか？	ログインしてください。 →p.1-30をご覧ください。
バックアップしたファイルが再生できない	BackupPlayer以外のプレイヤーで再生していませんか？	ビデオコーデックをインストールするか、または専用のBackupPlayerを使用して再生してください。 →p.5-25をご覧ください。
PCから遠隔監視ができない	アドレス等は正しいですか？	ネットワークステータス画面でレコーダーのアドレスを確認してください。 →p.3-47をご覧ください。

10章 製品仕様

品番		KB-AHR04C	KB-AHR08C	KB-AHR16C
本体仕様	カメラ入力数	BNC x 4	BNC x 8	BNC x 16
	カメラ入力信号	AHD / CVBS / IP		
	入力インターフェース	マウス、リモコン		
ハードウェア	電源電圧	DC12V(AC アダプター)		
	消費電力	最大 18W	最大 45W	最大 56W
	外形寸法	300(幅) x 44(高さ) x 315(奥行き) mm (突起物、ゴム足 除く)	430(幅) x 89(高さ) x 367(奥行き) mm (突起物、ゴム足除く)	
	質量	約 3.5kg (HDD1 台のとき)	約 5.5kg (HDD1 台のとき)	約 6.2kg (HDD2 台のとき)
	動作温度(湿度)	0°C ~ 40°C(10% ~ 90% ただし結露なきこと)		
ライブ	メインモニター出力	HDMI 3840x2160、 2560x1600、 2560x1440、 1920x1080、 1280x1024、 1280x720	HDMI 2560x1440、1920x1080、 1280x1024、1280x720	
		VGA 1920x1080、 1280x1024、 1280x720	VGA 1920x1080、1280x1024、1280x720	
	スポットモニター出力	HDMI / VGA : 最大 4 分割(1920 x 1080、1280 x 1024、 1280 x 720) ※メインモニターと 排他利用 BNC(SPOT OUT) :最大 4 分割(1CH ~ 4CH)	HDMI / VGA : 最大 9 分割(1920x 1080、1280x1024、 1280 x 720) ※メインモニターと 排他利用 BNC(SPOTOUT1) :最大 9 分割(1CH ~ 8CH)	HDMI / VGA : 最大 16 分割(1920x 1080、1280x 1024、 1280x720) ※メインモニターと 排他利用 BNC(SPOT OUT1) :最大 4 分割(1CH ~ 8CH)

				BNC (SPOT OUT2) :最大 16 分割 (1CH ～ 16CH)
ライブ	シーケンス表示	○ (最大 4 分割)	○ (最大 9 分割)	○ (最大 16 分割)
	PTZ コントロール	RS-485 (パン・チルト・ズーム、プリセット、UTC、自動巡回)		
	デジタルズーム	○		
	静止画スナップショット	○		
録画	圧縮方式	H.265、H.264	H.264	
	録画モード	常時、モーション、センサー、手動、簡易設定		
	解像度	AHD カメラの場合 2560 × 1440、1920 × 1080、1280 × 720、960 × 480、 704 × 480、704 × 240、352 × 240		
		アナログカメラの場合 960 × 480、704 × 480、704 × 240、352 × 240		
		IP カメラの場合 2560 × 1440、2304 × 1296、1920 × 1080、 1280 × 720、640 × 480、352 × 240、352 × 288		
	録画フレーム数	・400 万画素以下 :最大 15FPS (合計 60FPS) ・200 万画素以下 :最大 30FPS (合計 120FPS)	・400 万画素以下 :最大 15FPS (合計 120FPS) ・200 万画素以下 :最大 30FPS (合計 240FPS)	・400 万画素以下 :最大 15FPS (合計 240FPS) ・200 万画素以下 :最大 30FPS (合計 480FPS)
音声	音声入力	RCA × 4 (LINE レベル)	RCA × 8 (LINE レベル)	RCA × 16 (LINE レベル)
	音声出力	RCA × 1 (LINE レベル) または HDMI (映像に重畳)		
	音声双方向通信	○		
再生	検索モード	タイムサーチ、イベントサーチ、サムネイルサーチ		
	再生速度	最大 64 倍速		
バックアップ	ファイル形式	AVI / 独自形式 (パスワード設定可)		
	保存メディア	USB メモリー、FTP		

イベント/アラーム	接点入力	4 (NC/NO 選択可・ 無電圧接点)	8 (NC/NO 選択可・ 無電圧接点)	16 (NC/NO 選択可・ 無電圧接点)
	接点出力	1 (NC/NO 選択可・ 無電圧接点)	4 (NC/NO 選択可・ 無電圧接点) 4 (NC/NO 選択可・ オープンコレクタ)	8 (NC/NO 選択可・ 無電圧接点) 8 (NC/NO 選択可・ オープンコレクタ)
	モーション検知	○(領域選択可)		
イベント/アラーム	イベント	接点入力、 モーション、 ビデオロス、 上書き開始、 HDD 空き容量なし、 HDD 使用量警告、 SMART エラー、 HDD 認識エラー、 緊急録画開始、 システム起動、 ログインエラー、 ネットワークエラー、 クライアントログイン エラー、 DDNS 更新エラー、 IP 衝突イベント	接点入力、 モーション、 ビデオロス、 上書き開始、 HDD 空き容量なし、 HDD 使用量警告、 SMART エラー、 HDD 認識エラー、 緊急録画開始、 システム起動、 ログインエラー、 回転ファン異常、 内部温度異常、 ネットワークエラー、 クライアントログインエラー、 DDNS 更新エラー、 IP 衝突イベント	
	アクション	接点出力、ブザー、メール送信、プリセット、 CH ポップアップ		

ネットワーク	LAN 端子 (RJ-45)	LAN : 10BASE-T、 100BASE-T、 1000BASE-T	LAN : 10BASE-T、100BASE-T、 1000BASE-T WAN : 10BASE-T、100BASE-T、 1000BASE-T
	クライアントソフト	ライブ、検索・再生、バックアップ、PTZ コントロール、設定	
	WEB ブラウザ	ライブ、検索・再生、バックアップ、PTZ コントロール、設定	
	スマートフォン	iOS 9 以上 / Android 4.0 以上 ライブ監視 / データ検索・再生 / PTZ コントロール 遠隔設定	
	ネットワークストリーム	FPS 制限	
その他	RAID	-	○ (RAID1/RAID5)
	多言語	○	
	ファームウェア更新	USB メモリー	
	ネットワーク時刻同期	○	
	原産国	韓国	

※ 仕様は改良の為、予告無く変更することがございます。

※ 1 …… iPhone は、Apple Inc.の登録商標です。Android は Google Inc.の登録商標です。

【 クライアント PC の推奨スペック 】

OS	Windows 7 / 8 / 8.1 / 10
CPU	Intel Core i5 2GHz 以上
メモリー	4GB 以上
解像度	1920 x 1080
ストレージ空き容量	1GB 以上 (Active X インストール用)
ネットワーク	100BASE-T 以上
グラフィックカード	DirectX10 以上、ビデオメモリー1GB 以上

※ 仕様は改良の為、予告無く変更することがございます。

11章 初期設定リスト

工場出荷時の初期設定値は、以下のようになっています。

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
カメラ	カメラタイプ 設定	カメラタイプ		ANALOG
		モード		自動
		信号タイプ		AHD
		解像度		2MP
		IPカメラ設定		登録なし
	カメラ タイトル			CAM1～CAM 16
	映像 設定	明るさ		45（全CH同様）
		コントラスト		50（全CH同様）
		色合い		50（全CH同様）
		彩度		65（全CH同様）
		シャープネス		2（全CH同様）
		ノイズ		1（全CH同様）
	カメラ マスク設定	CH		オフ（全権限、全CH同様）
		画面表示		接続なし（全権限、全CH同様）
	モーション センサー	有効		オン（全CH同様）
		表示		オフ（全CH同様）
		感度		15/15（全CH同様）
	PTZ設定	アドレス		選択不可（全CH同様）
		プロトコル		COAXITRON（全CH同様）
		ボーレート		選択不可（全CH同様）
	プライバシー マスク	有効		オン（全CH同様）
		マスク表示色		黒（全CH同様）
		エリア設定		未設定（全CH同様）
ディス プレイ	ディス プレイ	カメラタイトル		オン
		イベントアイコン		オン
		全画面表示時の ステータスバー		自動的に隠す

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
ディスプレイ	ディスプレイ	全画面表示時の タイムライン		自動的に隠す
		デジタルズーム時の ワイプ画面		常にオン
		境界線		オン
		境界線の色		グレー
		ユーザー名		オン
		言語		日本語
	モニター	シーケンス切替時間		5秒
		スポット画面切替時間		5秒
	デュアル モニター	表示モード		ディスプレイ複製
		画面タイプ		メインモニター(HDMI/VGA両方)
		モニター解像度		自動(HDMI/VGA両方)
	シー ケンス			DEFAULTのみ登録済み
	スポット 出力	SPOT1-4分割		SPOT OUT CH1のみ登録済み
		SPOT2-16分割 (16CHのみ)		SPOT OUT CH2のみ登録済み
音声	音声	音声出力タイプ		RCA
		初期ライブ音声CH		オフ
		ネットワーク 音声送信		オン
		ネットワーク 音声受信		オン
	ブザー	リモコン		オン
ユーザー	管理			ADMINのみ登録
	グループ 権限	MANAGER		サーチ/システム設定/録画設定/ イベント動作の制御/音声出力 シャットダウン が有効
		USER		イベント動作の制御/音声出力/ シャットダウン が有効
ネット ワーク	IP設定	DHCP		チェックなし
		IPアドレス		255.255.255.255
		ゲートウェイ		0.0.0.0
		サブネットマスク		255.255.255.255
		DNSサーバー1		0.0.0.0

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
ネットワーク	IP設定	DNSサーバー2		0.0.0.0
		自動 ポートアップデート		オン
		自動 ポートステータス		ルーターがUPNPをサポートしていません。
		RTSPポート		5554
		WEBサーバーポート		8080
		ネットワーク 帯域制限		制限なし
	DDNS	DDNS		オン
		DDNSサーバー		dvrlink.net
		レコーダー名		MACアドレス
		ユーザー名		なし
		パスワード		なし
		DVRアドレス		MACアドレス.dvrlink.net
	メール	サーバー		未設定
		ポート		25
		ネットワーク セキュリティ		オフ
		ユーザー		未設定
		パスワード		未設定
		テストメールアドレス		未設定
	ネットワーク セキュリティ	RTSP暗号化有効		オフ
		RTSP暗号化方式		SEED_128
		HTTPS有効		オフ
		HTTP認証方式		基本
		IPフィルター有効		オフ
		IPフィルタールール		未設定
システム	日付/ 時刻	日付/時刻		現在時刻
		日付表示形式		年/月/日
		時刻表示形式		24時間
		タイムサーバー		pool.ntp.org
		自動時刻同期		オフ
		同期化周期		7日
		同期時刻		00:00
		同期予定時間		設定なし。

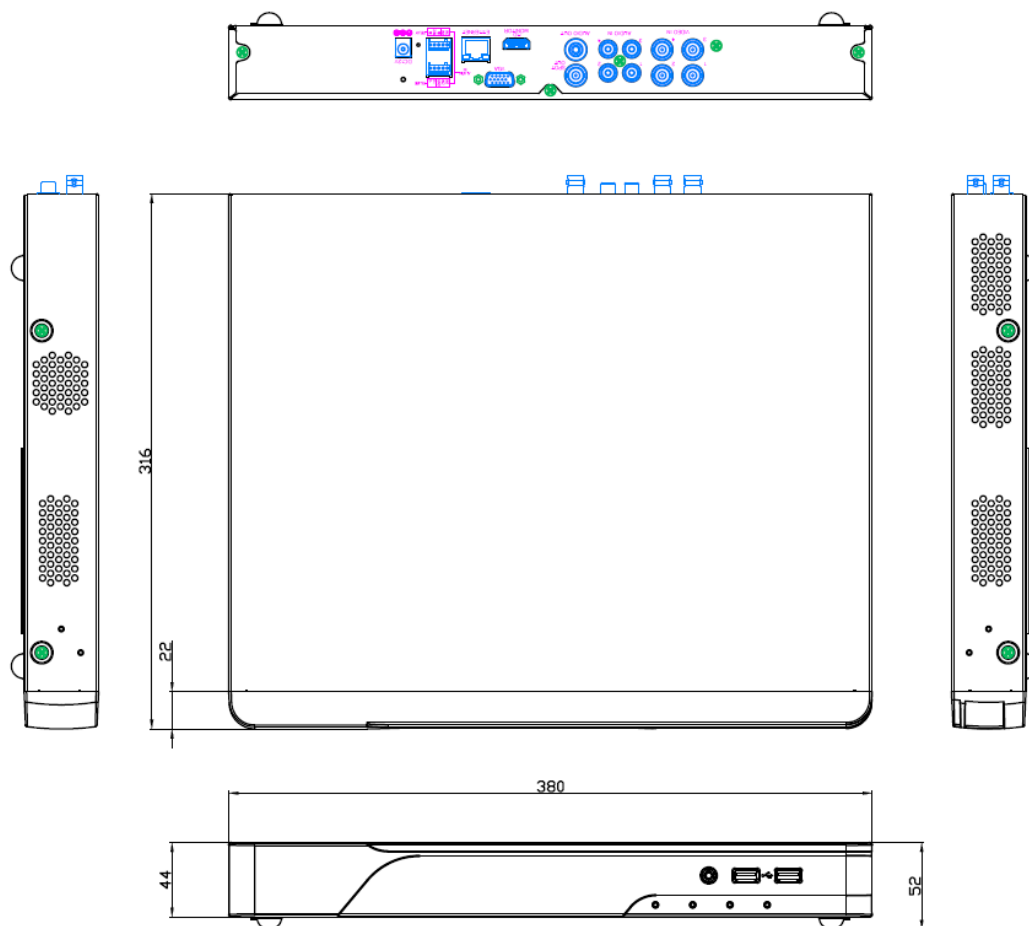
第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
システム	日付/時刻	タイムゾーン		GMT+09:00 Asia/Tokyo
		サマータイム		オフ
	システム 管理	システムID		SYSTEMID
		パスワード		オン
		パスワード有効期間		なし
		オートログオフ		オフ
		待機時間		選択不可
		エンコーダモード		オフ
	デバイス 設定	デバイス	システムID	0
			プロトコル	D-Max
			ボーレート	9600
		リモコンID		0
	ネットワーク セキュリティ	二重認証		オン
		ログイン時のID入力		ID選択方式
		強力なユーザーIDルール		オフ
		強力なパスワードルール		オフ
ストレージ	HDD動作	HDD上書きモード		オン
		記録映像保存期限		オフ
	S.M.A.R.T 情報	S.M.A.R.T検査間隔		24時間 (内蔵ディスク / 外部記憶装置 両方)
イベント	アラーム 出力	名前		R1 ~ R4 AO1 ~ AO16
		動作		N/O : R1、3、5、7/AO1~8 N/C : R2、4、6、8
		持続時間		5秒 (全CH同様)
		ON/OFFスケジュール		すべて イベント
	イベント 通知	ブザー		5秒
		ディスプレイ	チャンネルポップアップ	5秒
			持続時間	
			インフォメーション ポップアップ 持続時間	5秒

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
イベント	イベント 通知	メール	最小メール 送信間隔	1分
			スナップショット イメージを含める	チェックなし
		FTP	ディレクトリ	システムID
			ファイル名	システムID
			最小通知間隔	1分
			Web Linkを 含める	チェックなし
			スナップショット イメージを含める	チェックなし
		携帯電話プッシュ	最小通知間隔	1分
イベント	アラーム センサー	名前		SENSOR1 ~ SENSOR16
		動作		N/O（全CH同様）
		アラーム出力		N/A（全CH同様）
		チェック項目		すべてチェックなし
	モーション センサー	無視する時間		5秒（全CH同様）
		アラーム出力		N/A（全CH同様）
		チェック項目		すべてチェックなし
	ビデオ ロス	無視する時間		早速（全CH同様）
		アラーム出力		N/A（全CH同様）
		チェック項目		すべてチェックなし
	システム イベント	チェック項目		以下の項目にチェック済み <ul style="list-style-type: none"> • S.M.A.R.T.エラー • HDD認識エラー • 回転ファン異常検知 • 内部温度異常 • IP衝突イベント
録画設定	録画モード 設定	モード		マニュアル設定
		スケジュール設定		毎日
		プリイベント録画時間		5秒
		ポストイベント録画時間		30秒
		緊急録画時間		手動
		ビットレート		固定ビットレート

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
録画設定	常時録画	パラメータ	モニター出力 解像度	1920*1080（全時間帯・全CH同様）
			FPS	7（全時間帯・全CH同様）
			画質	高（全時間帯・全CH同様）
			音声	オフ（全時間帯・全CH同様）
		スケジュール		オン（全時間帯・全CH同様）
	モーション 録画	パラメータ	モニター出力 解像度	1920*1080（全時間帯・全CH同様）
			FPS	7（全時間帯・全CH同様）
			画質	高（全時間帯・全CH同様）
			音声	オフ（全時間帯・全CH同様）
		スケジュール		オン（全時間帯・全CH同様）
	アラーム 録画	パラメータ	モニター出力 解像度	1920*1080（全時間帯・全CH同様）
			FPS	7（全時間帯・全CH同様）
			画質	高（全時間帯・全CH同様）
			音声	オフ（全時間帯・全CH同様）
		スケジュール		オン（全時間帯・全CH同様）
	緊急録画	モニター出力解像度		1920*1080（全時間帯・全CH同様）
		FPS		7（全時間帯・全CH同様）
		画質		高（全時間帯・全CH同様）
		音声		オフ（全時間帯・全CH同様）
	ネットワーク ストリーミング	FPS		30(全CH同様)
	音声 マッピング	CAM1 ～ CAM16		CAM1～CAM16：音声1～音声16

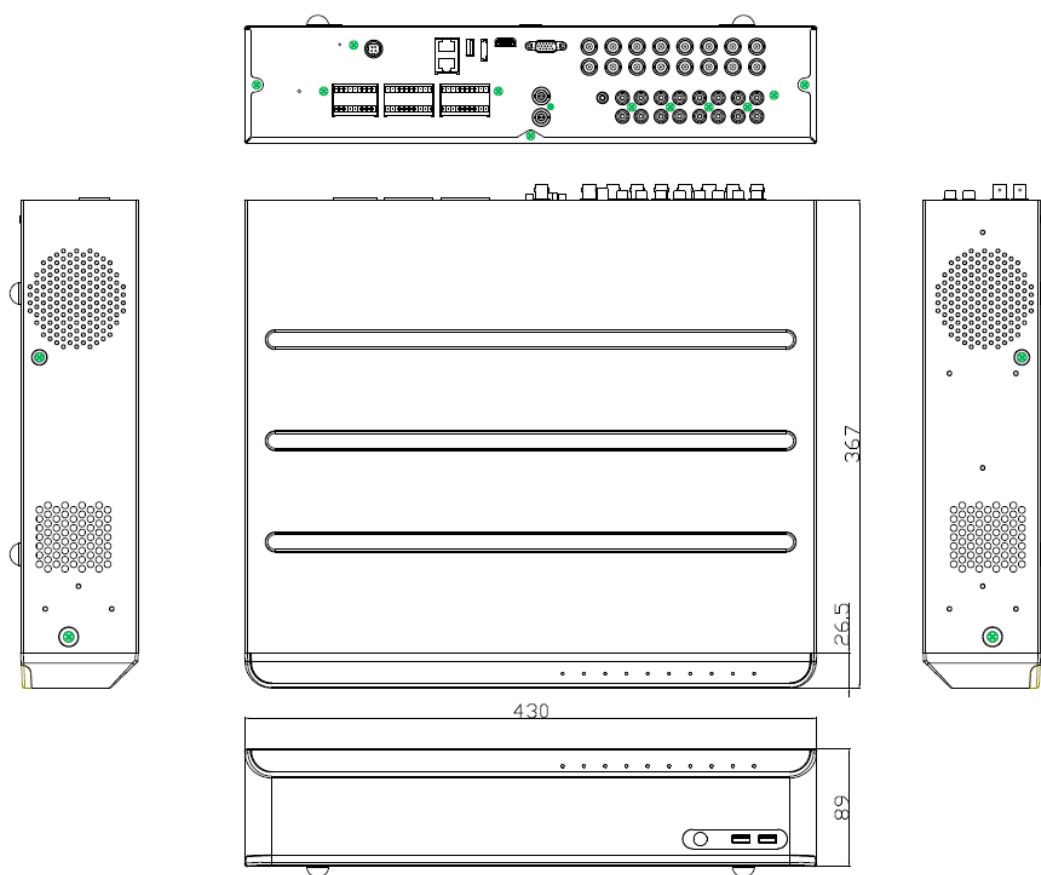
12章 外形寸法図

【 KB-AHR04C 】



単位:mm

【 KB-AHR08C(KB-AHR16C も同様) 】



単位:mm

13章 録画日数表

表の録画日数はあくまで参考値であり、録画日数を保証するものではありません。

ビットレートコントロールの設定によって、記録日数が変わります。

本機の出荷時設定は、「固定ビットレート」に設定されていますので、ご注意ください。

詳細は、【 3.9.1 録画モードを選択する(3-108 ページ) 】をご覧ください。

13.1 KB-AHR04C での日数表

<< 算出条件 >>

HDD 2TB / AHD カメラ 1 台 / 圧縮方式 H.265 / 音声記録なし / 固定ビットレート

※()内の数値は、H.264 での録画日数となります。

単位: 日

解像度	画質	フレームレート					
		1	2	3	7	15	30
1920 x 1080	長時間	433 (346)	244 (195)	233 (186)	216 (173)	202 (161)	151 (121)
	低	306 (245)	164 (131)	153 (122)	135 (108)	124 (99)	91 (73)
	標準	176 (141)	93 (75)	83 (66)	70 (56)	62 (50)	45 (36)
	高	139 (111)	72 (58)	61 (49)	49 (39)	42 (34)	30 (24)
	最高	127 (102)	65 (52)	51 (40)	38 (30)	32 (26)	22 (18)
1280 x 720	長時間	524 (419)	295 (236)	282 (225)	262 (209)	244 (195)	183 (146)
	低	370 (296)	198 (158)	185 (148)	163 (130)	150 (120)	111 (88)
	標準	213 (171)	113 (90)	101 (80)	85 (68)	76 (60)	55 (44)
	高	168 (134)	88 (70)	74 (59)	59 (47)	51 (41)	37 (29)
	最高	154 (123)	79 (63)	61 (49)	46 (37)	39 (31)	27 (22)

KB-AHR04C の日数表(つづき)

<< 算出条件 >>

HDD 2TB / AHD カメラ 1 台 / 圧縮方式 H.265 / 音声記録なし / 固定ビットレート

※()内の数値は、H.264 での録画日数となります。

単位: 日

解像度	画質	フレームレート					
		1	2	3	7	15	30
960 × 480	長時間	663 (530)	374 (299)	357 (285)	331 (265)	309 (247)	232 (185)
	低	469 (375)	251 (201)	234 (187)	206 (165)	190 (152)	140 (112)
	標準	270 (216)	143 (114)	127 (102)	108 (86)	96 (77)	108 (56)
	高	213 (170)	111 (89)	93 (75)	75 (60)	65 (52)	75 (37)
	最高	195 (156)	100 (80)	78 (62)	58 (46)	50 (40)	58 (28)
704 × 480	長時間	773 (619)	436 (349)	416 (333)	387 (309)	361 (288)	270 (216)
	低	547 (437)	293 (234)	273 (218)	241 (193)	221 (177)	164 (131)
	標準	315 (252)	167 (134)	149 (119)	126 (101)	112 (89)	82 (65)
	高	248 (199)	130 (104)	109 (87)	88 (70)	76 (60)	54 (43)
	最高	228 (182)	117 (93)	91 (72)	68 (54)	58 (46)	41 (32)
704 × 240	長時間	956 (764)	539 (431)	514 (411)	478 (382)	446 (356)	334 (267)
	低	676 (540)	362 (289)	338 (270)	298 (238)	274 (219)	202 (162)
	標準	390 (312)	206 (165)	184 (147)	156 (124)	138 (111)	101 (81)
	高	307 (245)	160 (128)	135 (108)	109 (87)	93 (75)	67 (54)
	最高	281 (225)	144 (115)	112 (90)	84 (67)	72 (57)	50 (40)

KB-AHR04C の日数表(つづき)

<< 算出条件 >>

HDD 2TB / AHD カメラ 1 台 / 圧縮方式 H.265 / 音声記録なし / 固定ビットレート

※()内の数値は、H.264 での録画日数となります。

単位: 日

解像度	画質	フレームレート					
		1	2	3	7	15	30
352 x 240	長時間	1048 (838)	591 (473)	564 (451)	524 (419)	489 (391)	367 (293)
	低	741 (593)	397 (317)	370 (296)	327 (261)	300 (240)	222 (177)
	標準	427 (342)	226 (181)	202 (161)	171 (136)	152 (121)	111 (88)
	高	337 (269)	176 (141)	148 (118)	119 (95)	102 (82)	74 (59)
	最高	308 (247)	158 (127)	123 (98)	92 (74)	79 (63)	55 (44)

13.2 KB-AHR08C/16C の日数表

<< 算出条件 >>

HDD 2TB / AHD カメラ 1 台 / 圧縮方式 H.264 / 音声記録なし / 固定ビットレート

単位: 日

解像度	画質	フレームレート					
		1	2	3	7	15	30
1920 x 1080	長時間	406	229	218	203	189	142
	低	287	153	143	126	116	86
	標準	165	87	78	66	59	43
	高	130	68	57	46	39	28
	最高	119	61	47	35	30	21
1280 x 720	長時間	509	287	274	259	237	178
	低	360	193	180	159	146	108
	標準	208	110	98	83	74	54
	高	163	85	72	58	50	36
	最高	150	77	60	45	38	27
960x480	長時間	684	386	368	342	319	239
	低	483	259	241	213	196	145
	標準	279	148	131	111	99	72
	高	219	115	96	78	67	48
	最高	201	103	80	60	51	36
704x480	長時間	838	473	451	419	391	293
	低	593	317	296	261	240	177
	標準	342	181	161	136	121	88
	高	269	141	118	95	82	59
	最高	247	127	98	74	63	44
704x240	長時間	1130	638	608	565	527	395
	低	799	428	399	352	324	239
	標準	461	244	218	184	164	119
	高	363	190	159	128	111	79
	最高	333	171	133	99	85	60
352x240	長時間	1300	734	700	650	606	455
	低	919	492	459	405	372	275
	標準	530	281	250	212	188	139
	高	417	218	183	148	127	91
	最高	383	197	153	114	98	68

保証書

品番		販売店名
シリアルナンバー(S/N)		
お買い上げ年月日		
保証期間	商品お買い上げ後 5 年間	
会社名		
ご住所		
ご担当者		
電話番号		

※お願い: お買い上げ時に必ずご記入ください。本書は大切に保存してください。再発行は致しません。

<保証規定>

1. 本保証は、持ち込みされた機器の修理サービスを提供するものであり、修理に係る費用(オンコール費、出張修理費、施工費)、修理期間の代替器対応をご提供するサービスではありません。但し、同時にメンテナンス契約を締結する際は、その限りではありません。
2. 不具合機器の取り外し、取付け、再設定等は別途費用が発生します。
3. 次の事由による損害の場合は、保証の対象にはなりません。
A 弊社窓口以外に修理を依頼された場合
B 修理に際し、保証書の提示がない場合
C 次に掲げる事由によって生じた本商品の故障または損傷
・不適切な使用(落下、衝撃、冠水、電池液漏れ等)、または維持、管理の不備によって生じた故障または損傷
・使用上の誤り(取扱説明書記載以外の使用)、または純正部品以外の管理の不備によって生じた故障または損傷
・記録媒体の故障または損傷による保存データの損失などの損害。また、修理後に保存データが消去した場合などの損害
・地震・噴火・津波・地盤変動・地盤沈下・風害・水害・その他の天災ならびにガス害・塩害・公害および異常電圧
・火災・落雷・破裂・爆発または外部からの物体の落下・飛来・衝突もしくは倒壊等の偶然かつ外来の事由
D 取付場所の移動、落下等によって生じた本商品の故障または損傷
4. 保証期間について
A 機器販売のみの場合…機器発送日を保証開始日とします。
B 工事を含む場合…工事完了日を保証開始日とします。

<保証条件>

1. 次に該当する故障は保証期間であっても実費にて修理を申し受けます。
A 誤った取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。また故意・不注意による損傷に起因する故障
B 災害など不可抗力による損傷
C 本書上記項目に必要事項の記入がない場合。また本書の提示がない場合
2. 消耗品(赤外線リモコン用電池、時計保持用ボタン電池)は、保証外です。
内蔵 HDD・CF カード・SSD およびファンの故障については、保証対象となります。

※映像データの保証はできません

3. 本製品の故障または損傷に起因して、他の財物(PC、ソフトウェアを含みます)に生じた故障もしくは損傷等の損害は保証の対象にはなりません。
4. 本製品の故障または損傷に起因して、他の財物が使用できなかったことによって生じた損害は保証の対象にはなりません。
5. 故障および損害の認定等について、弊社と使用者の間で見解の相違が生じた場合には、中立的な第三者の意見を求めることがあります。
6. 遠隔地へのお出張修理を依頼される場合は、その出張に要する実費を申し受けます。
7. 本保証は日本国内においてのみ有効です。

<補修用性能部品の保有期間>

弊社では防犯カメラの補修用性能部品の、製造打ち切り後 7 年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。ただし、保有期間内であっても無くなる場合、また期間が終わっても保有している場合がありますので詳しくは修理窓口にお問い合わせください。

<修理不能の場合>

修理不能の場合は、代替器または後継機器によるユニット交換となる場合があります。

<メンテナンスについて>

防犯・監視用途でご使用の場合、定期的メンテナンス(点検・保守)をお勧め致します。詳しくはお買い上げ販売店(又は工事店)にご確認ください。



本社 〒600-8086 京都市下京区松原通東洞院東入本燈籠町 22 番地 2

TEL 075-354-3372 FAX 075-354-3382

※製品の定格及びデザインは改良の為予告無く変更することがあります。